

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
平成24年度(2012年度)												
71	江戸川	1号炉	休炉	H25.3.18	15:00	H25.3.25	12:21					ボイラ出口圧力の低下を確認し推移を観察していたが、さらに低下している。ボイラ灰による閉塞とみられ、炉内圧が正圧になる危険があるため、焼却炉を停止して清
70	大田第一	2号ごみ	停止	H25.3.19	19:20					H25.3.27	12:00	故障発生日時において2号ごみクレーンを手動運転しようとした際、主電源がトリップした。調査の結果、バケット開閉用給電ケーブルの短絡を確認。後日、給電ケーブル
69	目黒	2号ごみ	停止	H25.3.18	14:30					H25.3.30	16:00	2号ごみクレーン横行装置異常警報が多発。調査を行った結果、横行車輪の従動側車輪が傾いていることを発見したため使用中止とした。
68	灰溶融・足	1号炉	休炉	H25.3.14	14:00	H25.3.14	15:30	H25.3.23	18:45	H25.3.25	13:50	排ガス流量等に異常がみられ確認したところ、灰定量供給装置のシュート部と炉蓋とのフランジ部分から水漏れを発見した。炉内への水漏れが懸念されるため停止した。
67	目黒	2号炉	休炉	H25.3.4	4:00	H25.3.8	0:00	H25.3.25	19:00	H25.3.26	15:36	3月4日(月)4:00頃から復水タンクのレベルが減少傾向であることに気が付き、3月5日(火)~7日(木)にかけてブローライン、トラップ、給水・蒸気配管の調査を行うが異常は
66	大田第一	1号ごみ	停止	H25.3.3	18:00					H25.3.6	12:00	1号クレーンの日常点検中、ごみクレーンバケットの2メートル上部の位置に2箇所、ジャバラ部分に1箇所、ワイヤロープのうねりを発見した。
65	多摩川	1号炉	休炉	H25.3.3	5:33	H25.3.3	6:40	H25.3.4	20:46	H25.3.5	10:40	1号給じん装置(2)が前極限で止まったまま動作不能となったため、休炉し補修する。
64	有明	1号炉	休炉	H25.2.7	7:00	H25.2.11	21:10	H25.2.18	17:00	H25.2.19	11:15	復水タンクから水漏れを発見。保温材を撤去したところ亀裂を確認した。共通設備の為、全炉停止して補修を行う。
64	有明	2号炉	休炉	H25.2.7	7:00	H25.2.11	11:01	H25.2.15	17:50	H25.2.16	12:09	
63	多摩川	2号炉	休炉	H25.2.3	20:25	H25.2.3	23:39	H25.2.4	20:00	H25.2.5	10:32	NOx濃度調節弁周辺よりアンモニアガス漏洩を確認したため、休炉し補修する。
62	江戸川	2号炉	休炉	H25.2.3	1:57	H25.2.3	6:48	H25.2.6	15:23	H25.2.7	10:58	2号減温塔下コンベヤが過電流でトリップした。復旧を試みるもコンベヤが内部で干渉している様子で動かず、焼却炉を立ち下げた。
61	灰溶融・足	1号炉	休炉	H25.1.18	2:00	H25.1.18	10:00	H25.1.21	17:50	H25.1.22	22:50	排ガスダクト付着物除去装置の軸受内部のロッド用滑り軸受及び、滑り軸受け押えとクリーナーロッドが固着し作動不能となった。それにより、煙道の確保が困難となった
60	灰溶融・板	2号炉	休炉	H25.1.17	11:20	H25.1.17	11:30					側壁レンガ温度測定用熱電対挿入部分より溶融物と思われるものが漏洩したため休炉した。なお、溶融炉は焼却炉中間点検のためホールド運転中であった。
59	世田谷	2号炉	休炉	H25.1.14	8:00	H25.1.14	10:00	H25.1.25	11:39	H25.1.26	0:16	燃焼溶融炉流下口の壁面等に溶けたスラグが付着し、塊が出来た。解除を試みた
58	江戸川	2号炉	休炉	H24.12.28	12:00	H25.1.5	9:32	H25.1.7	18:00	H25.1.8	13:03	2号炉SGHDレンタンクから脱気器への配管部で蒸気漏れが発生したため、焼却炉を立ち下げる。
57	渋谷		休炉	H24.12.27	18:19	H24.12.28	0:24	H24.12.28	16:29	H24.12.28	23:24	不燃物排出装置(No.2)過電流トリップにて停止。直ちに現場にて手動操作、槌打を実施するが回復の見込みがないため、焼却炉を停止することとした。
56	灰溶融・多	1号炉	休炉	H24.12.25	19:00	H24.12.26	21:30	H25.1.9	7:00	H25.1.10	9:49	日常巡視点検中にスラグ搬出コンベヤ駆動側軸受が破損していることを発見した。軸受の一部破損でスラグ搬出コンベヤは駆動しているものの今後破損が進行し、他部
55	新江東	3号炉	休炉	H24.12.15	5:28	H24.12.15	15:45	H24.12.24	21:34	H24.12.25	13:02	ダイオキシン類除去反応助剤を供給するための助剤定量切り出し装置が故障し、集じん設備に助剤を供給することができないため、焼却炉を立ち下げた。
54	豊島	1号炉 2号炉	休炉	H24.12.9	18:51	H24.12.9	19:19	H24.12.11	13:03	H24.12.11	20:12	機器冷却水配管ストレナが異物により閉塞し、冷却水流量が著しく低下した。このため、タービン発電機がトリップしたため、緊急と判断し焼却炉を停止した。
53	北	1号炉	休炉	H24.12.1	15:30	H24.12.1	19:00	H24.12.5	16:42	H24.12.6	5:48	蒸気式空気予熱器からフラッシュタンクへの蒸気戻り配管において、蒸気漏れが発生した。補修するための系統隔離が運転中は困難なため、焼却炉を立ち下げた。
52	世田谷	1号炉	休炉	H24.11.15	11:49	H24.11.15	12:10	H24.11.16	22:38	H24.11.17	9:50	「砂分級装置故障」警報が発報した。振動モータが過負荷により運転が困難となったため焼却炉を立ち下げた。
51	世田谷	2号炉	休炉	H24.11.11	14:03	H24.11.11	14:53	H24.11.15	22:57	H24.11.16	11:27	No.1不適物搬送コンベヤが故障停止した。現場確認したところ、シュート部に詰まりが発生していた。解除に時間がかかるため、炉を立ち下げた。
50	中防・破碎		休炉	H24.11.8	13:56	H24.11.8	22:52	H24.11.19	2:01	H24.11.19	13:58	る過式集じん機ホッパー部に詰まりが発生。解除に時間がかかり、その間灰搬出が出来ない為焼却炉を立ち下げた。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
49	大田第一	2号ごみ	停止	H24.10.30	17:39					H24.11.1	12:00	2号クレーンの乱巻き解除作業中、クレーンの巻上げ時に本体に引っ掛かりワイヤロープを一本切断した。後日ワイヤロープを交換予定。
48	品川	1号ごみ	停止	H24.10.24	23:00					H24.11.7	17:00	No.1ごみクレーンの自動運転中、漏電警報が多発した。調査の結果、スリップリングにスパーク痕があり、交換が必要であることが判明したため、クレーンの使用を停止
47	千歳	1号炉	休炉	H24.10.24	1:35	H24.10.24	5:35	H24.10.25	21:35	H24.10.26	21:00	No.1ボイラダストコンベヤが過トルクで停止した。正逆転操作を繰り返しても復旧できず、ダストの排出が出来なくなったため、焼却炉を停止した。
46	大田第一	2号炉	休炉	H24.10.23	9:10	H24.10.23	16:00	H24.11.1	17:00	H24.11.2	11:00	現場巡回の際に、2号炉燃焼ストーカシャフトが破断しているのを発見した。燃焼ストーカシャフト補修及び原因調査のため、焼却炉を停止した。
45	世田谷	1号炉	休炉	H24.10.23	8:54	H24.10.23	13:26	H24.11.10	21:10	H24.11.11	10:05	「破砕ごみ搬送装置故障」及び「破砕ごみ解砕機故障」警報が発報した。現場確認したところ、破砕ごみ搬送装置のエプロンが破損して落下し、破砕ごみ解砕機に挟まっ
44	灰溶融・品	1号炉	休炉	H24.10.20	18:49	H24.10.21	11:55			H24.12.11	15:02	溶融空気予熱器ロータリバルブが故障したため点検したところ、自動清掃装置の部品がロータリバルブに噛みこんでいた。内部を確認するため炉を立ち下げた。
43	大田第一	2号炉	休炉	H24.10.18	19:31	H24.10.18	21:10	H24.10.19	16:43	H24.10.20	7:40	2号炉飛灰空気輸送装置故障発報(タンクレベルH)。タンク内の詰まり解除のため、焼却炉を停止した。
42	中防・不燃	第2プラ	停止	H24.10.15	12:30					H24.11.27	9:20	蓄熱燃焼式脱臭装置ケーシング上部からリークがあることを確認したため、D系の処理を停止した。その後内部を調査したところ耐火レンガが脱落していることを確認し
41	世田谷	2号炉	休炉	H24.10.7	21:47	H24.10.7	23:06	H24.10.13	1:48	H24.10.13	13:47	No.1不適物搬送コンベヤが故障停止した。現場確認したところ、シュート部に詰まりが発生していた。解除に時間がかかるため、炉を立ち下げた。
40	目黒	1号ごみ	停止	H24.10.2	12:30					H24.10.14	15:00	1号ごみクレーン、ブレーキ部の電磁接触器付属機器に不具合が発生し、ブレーキの自動解放が困難となったため使用中止とした。
39	豊島	1号炉	休炉	H24.9.28	5:50	H24.9.28	6:57	H24.10.8	20:09	H24.10.9	4:03	炉床流動部の温度が急激に下降し、排ガスCOも併せて連続的に上昇した。このため、焼却炉の連続運転が不可能になったことにより炉を立ち下げた。
38	中防・破砕		休炉	H24.9.15	9:43	H24.9.15	16:58	H24.11.3	2:05	H24.11.3	15:18	No.1焼却灰移送コンベヤショックリレーが動作した。確認したところ、サイクロ減速機の故障と判断した。補修に時間がかかり、その間灰搬出が出来ない為焼却炉を立ち
37	港	2号ごみ	停止	H24.9.15	22:55					H24.11.15	17:00	「No.2ごみクレーン巻上異常(非常上限)」が発報した。現場を確認したところ、バケット油圧シリンダ上部が破損していた。翌日、業者にてNo.1ごみクレーンバケットを付け
36	港	1号ごみ	停止	H24.9.9	21:42					H24.11.15	17:00	「No.1ごみクレーンバケット油圧電動機過負荷」が発報した。現場を確認したところ、給電ケーブルがバケットの爪に引っ掛かっていた。そのため、クレーンを手動で格納
35	目黒	1号炉	休炉	H24.9.2	16:20	H24.9.3	9:00	H24.9.7	19:25	H24.9.8	16:26	1号炉主灰シュートの閉塞が進行し、解除が難しいと判断したため焼却炉の立ち下げを行った。
34	灰溶融・世	1号炉	休炉	H24.8.20	0:41	H24.8.20	0:41	H24.9.4	20:00	H24.9.5	15:30	「No.2プラズマ電源装置チョップユニットスナバモジュール温度高異常」警報が発報し、プラズマが停止した。原因を調査するため休炉した。
33	光が丘	2号炉	休炉	H24.8.19	1:12	H24.8.19	14:22	H24.8.27	1:07	H24.8.27	22:00	「2号炉ボイラー下ロータリーバルブ(1)トリップ」警報が発報した。治具によりロータリーバルブのトリップは解除できたが、シュートの閉塞が見られたため焼却炉を立ち
32	豊島	1号炉	休炉	H24.8.18	23:16	H24.8.18	23:53	H24.8.23	14:05	H24.8.23	23:06	給じん設備のパドル駆動用減速機取付ボルトが破損し取付架台より外れ、駆動用チェーンが脱落した。また、上部縦型電動機の頂部が歩廊躯体と接触し、損傷を受け
31	足立	2号炉	休炉	H24.8.10	9:30	H24.8.10	15:35	H24.8.15	17:58	H24.8.16	11:32	2号炉乾燥ストーカ下コンベヤに未燃物が落ちてきているため、調査のために焼却炉を立ち下げた。
30	光が丘	2号炉	休炉	H24.8.9	0:18	H24.8.9	1:21	H24.8.17	1:11	H24.8.17	21:00	「2号炉ボイラー下ロータリーバルブ(1)トリップ」警報が発報した。解除作業を試みるも復旧しないため、焼却炉を立ち下げた。
29	江戸川	2号炉	休炉	H24.8.3	10:00	H24.8.8	11:00	H24.8.10	19:55	H24.8.11	14:22	2号炉SGHドレンタンクから脱気器への配管部で蒸気漏れが発生したため、焼却炉を立ち下げた。
28	光が丘	1号炉	休炉	H24.7.31	13:00	H24.8.1	19:00	H24.8.14	1:10	H24.8.14	23:00	蒸気式ガス再加熱器の差圧が上昇傾向にある。点検清掃を行うため、焼却炉を立ち下げた。
27	港	1号ごみ	停止	H24.7.28	21:47					H24.8.1	16:00	1号クレーンを手動運転中、3号炉ホッパーで巻上・走行・横行が不能となった。復旧を試みたが、原因が特定できなかったため、走行ブレーキを解除し、2号クレーンにて
26	豊島	1号炉	休炉	H24.7.27	1:57	H24.7.27	9:18	H24.7.27	14:52	H24.7.27	19:08	煙突入口分析計の酸素濃度がホールド状態になり、塩化水素の酸素濃度12%換算値を表示できなくなった。塩化水素の換算前の生数値は、0ppmで問題なかったが、原

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
25	世田谷	1号炉	休炉	H24.7.21	22:02	H24.7.22	11:05	H24.8.15	23:28	H24.8.16	11:36	燃焼溶融炉の流下口をITVカメラで監視していたところ、スラグランスの先端部より水漏れを発見した。補修するため焼却炉を立ち下げた。なお、このまま中間点検に入
24	北	1号炉	休炉	H24.7.21	15:30	H24.7.21	20:20	H24.7.24	12:10	H24.7.25	2:08	焼却炉立ち上げ後の定常運転への移行中に煙突入口4成分計が故障し、排ガスの監視ができなくなった。同成分計の改善を試みたが復旧できず、焼却炉を立ち下げ
23	世田谷	1号炉	休炉	H24.7.9	12:24	H24.7.9	15:40	H24.7.13	11:49	H24.7.13	22:43	破碎ごみ解砕機電流値上限の故障警報が発報した。正逆転にて復旧するが、繰り返し発報し改善しないので、状況確認のため焼却炉を立ち下げた。
22	足立	1号炉	休炉	H24.6.21	10:00	H24.7.1	15:00	H24.7.2	22:41	H24.7.3	15:14	1号炉ヒドラジン濃度低下のため調査したところ、脱酸剤注入ラインの流量低下がみられ、調査のために焼却炉を立ち下げた。
21	世田谷	2号炉	休炉	H24.6.29	20:04	H24.6.29	21:21	H24.7.25	22:37	H24.7.26	11:01	溶融スラグの流下が止まり、燃焼溶融炉壁温度が徐々に低下してきた。その後、ITVカメラで流下口からの水漏れを確認したため、焼却炉を立ち下げた。
20	豊島	1号炉	休炉	H24.6.28	4:28	H24.6.28	5:15	H24.6.28	11:54	H24.6.28	16:05	パンカゲートスロープから剥離した鉄板が給じん機内に引っ掛り、運転継続が不可能になったので焼却炉を立ち下げた。
19	豊島	2号炉	休炉	H24.6.22	21:00	H24.6.22	22:00	H24.6.25	10:43	H24.6.25	21:24	DCS更新後CO濃度が安定せず、自動燃焼制御では抑制不能となり手動操作に切り替えたが、安定燃焼が維持できないため、焼却炉を停止した。
18	光が丘	1号炉	休炉	H24.6.17	3:23	H24.6.19	8:04	H24.6.23	1:13	H24.6.23	23:30	排ガス再加熱器入口温度"低"警報が頻発しており、当該入口圧力が上昇傾向にある。排ガス再加熱器フィンチューブの閉塞が考えられ、閉塞解除のため焼却炉を立ち
17	大田第一	3号炉	休炉	H24.6.18	3:30	H24.6.18	10:28	H24.6.22	16:10	H24.6.23	9:59	No.1ごみクレーンバケットの爪本体が折損し、3号焼却炉内に入った。爪本体の取り出し及び火格子点検のため、焼却炉の立ち下げを行った。
16	渋谷	1号炉	休炉	H24.6.13	23:56	H24.6.14	14:30	H24.6.16	17:59	H24.6.16	23:13	2不燃物移送コンベヤのチェーンの破断を確認した。補修方法を調査していたところ、バケットの落下も確認したことから、焼却炉から不燃物が抜き出せなく、継続運
15	中防・破碎		休炉	H24.6.8	14:30	H24.6.8	21:00	H24.6.19	10:26	H24.6.19	18:50	ごみ供給装置のシャーピンが折れているのを確認した。補修にあたり、スプロケットと取付板が固着しているためシャーピン交換に時間がかかり、その間ごみ供給できな
14	世田谷	2号炉	休炉	H24.6.7	4:51	H24.6.7	4:51	H24.6.9	22:52	H24.6.10	10:43	ガス化炉の流動不良が起こり、ガス化炉上部の温度が上昇した。改善操作を試みた
13	大田第一	タービン	停止	H24.6.6	0:02	H24.6.6	1:40	H24.6.8	17:30	H24.6.9	10:00	タービン入口蒸気圧力の低警報が発報し、タービン発電機がトリップした。原因として、タービン発電機起動盤付き圧力計の圧力検出機構の不具合が考えられる。ま
12	葛飾	2号炉	休炉	H24.6.1	23:27	H24.6.2	0:23	H24.6.14	19:38	H24.6.15	12:47	2号主灰排出装置内部の油圧配管で油漏れが発生し、ストーカ駆動装置の圧力及び油
11	光が丘	1号炉	休炉	H24.5.31	0:58	H24.5.31	5:46	H24.6.4	1:02	H24.6.4	22:35	飛灰の輸送完了の時間設定を超過したため警報が発報した。輸送配管の閉塞が原因とみられ復旧作業を続けたが、槌打作業では復旧できないため焼却炉を立ち下げ
10	板橋	2号炉	休炉	H24.5.30	3:26	H24.5.30	4:56	H24.6.1	15:48	H24.6.2	11:34	誘引ファン制御油ポンプの故障警報が発生した。現場操作で復旧できず、ポンプの電動機が加熱していることを確認した。炉内圧制御に支障をきたす恐れがあるため、
9	目黒	1号炉	休炉	H24.5.17	0:17	H24.5.17	12:38	H24.5.19	18:17	H24.5.20	13:53	1号炉ろ過式集じん器下部のシュートでブリッジが発生し、閉塞解除作業を試みた
8	新江東	3号炉	休炉	H24.5.12	16:44	H24.5.12	17:45	H24.5.31	21:26	H24.6.2	14:40	コンベヤチェーンが破断し、フライトが脱落した。灰の搬送ができないため、焼却炉を立ち下げた。
7	目黒	1号炉	休炉	H24.5.12	15:38	H24.5.12	17:30	H24.5.15	11:28	H24.5.16	2:04	1号炉飛灰圧送配管が閉塞し、解除作業を試みたが解除できないため焼却炉の立ち下げを行なった。その途中、19時10分に制御システムの異常警報が発報して緊急停
6	世田谷	1号炉	休炉	H24.5.12	10:58	H24.5.12	10:56	H24.5.16	3:20	H24.5.16	15:31	ガス化炉の流動不良が起こり、ガス化炉上部の温度が上昇した。改善操作を試みた
5	世田谷	1号炉	休炉	H24.5.11	6:50					H24.5.11	16:54	アンモニア水貯蔵室内でアンモニア濃度"高"警報が発報した。ポータブル測定器でアンモニア気化装置上部での漏洩を確認した。ごみ投入を停止し、アンモニア吹込み
4	港	2号炉	停止	H24.4.18	11:30					H24.4.26	17:00	2号ごみクレーントロリに付いている点検用梯子に電気ケーブルが引っ掛かり、電気ケーブル3本が断線した。通常運転することができないため、2号炉ごみホッパと3号ご
3	板橋	2号炉	休炉	H24.4.16	9:00	H24.4.16	16:47	H24.4.19	22:22	H24.4.20	14:56	2号炉ストーカ下乾燥帯ホッパAシュート部の温度が低いため調査したところ、当該シュート部の閉塞を確認した。閉塞解除のため2号炉焼却炉を立ち下げた。
2	光が丘	1号炉	休炉	H24.4.13	17:00	H24.4.13	19:48	H24.4.17	1:01	H24.4.17	23:30	点検時、ボイラ下シュート(1)の閉塞を確認した。槌打を試みるも復旧できないため焼却炉を立ち下げた。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
1	足立	2号炉	休炉	H24.4.5	11:10	H24.4.5	16:40	H24.4.25	14:58	H24.4.26	7:33	2号炉炉圧制御ダンパの開度不良により、炉内圧力の自動制御が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。翌日から予定していた中間点検にこのまま入る。
71	中央	1号炉	休炉	H24.3.30	15:30	H24.3.31	17:22	H24.4.3	15:23	H24.4.4	12:23	1号灰コンベヤから灰が排出されていないことを発見し、灰押し装置および主灰シュートの閉塞を確認した。閉塞解除のため、焼却炉を立ち下げた。
70	世田谷	1号炉	休炉	H24.3.30	12:20	H24.3.30	16:50	H24.4.4	22:47	H24.4.5	11:09	燃焼溶融炉流下口の壁面等に溶けたスラグが付着し、塊が出来た。解除を試みたが、その後も塊の上にスラグが堆積し、徐々に閉塞してきたため、運転継続が困難と
58	灰溶融・世	1号炉	休炉	H24.1.7	10:30	H24.1.7	10:31			H24.4.26	19:00	灰溶融炉下部の炉体と炉底電極間に炎を発見した。調査、補修のため停止した。
平成23年度(2011年度)												
71	中央	1号炉	休炉	H24.3.30	15:30	H24.3.31	17:22					1号灰コンベヤから灰が排出されていないことを発見し、灰押し装置および主灰シュートの閉塞を確認した。閉塞解除のため、焼却炉を立ち下げた。
70	世田谷	1号炉	休炉	H24.3.30	12:20	H24.3.30	16:50					燃焼溶融炉流下口の壁面等に溶けたスラグが付着し、塊が出来た。解除を試みたが、その後も塊の上にスラグが堆積し、徐々に閉塞してきたため、運転継続が困難と
69	中央	1号炉	休炉	H24.3.26	23:11	H24.3.27	1:13	H24.3.29	13:38	H24.3.30	10:31	「1号ボイラ灰搬出装置 異常」が発報し、現場で異物(スプレー缶、クリンカ)詰りが確認され、除去作業を行ったが、スクリュウコンベヤの正転・逆転が行えないため、焼却
68	有明	共通	-	H24.3.26	0:37			H24.3.26	11:57	H24.3.26	12:18	3月26日(月)0時37分にタービン発電機界磁喪失したためタービントリップが発生した。その後、0時52分から1時40分にかけて4回立ち上げを試みるが即AVR故障が発
67	有明	1号炉	休炉	H24.3.13	14:19	H24.3.13	15:10	H24.3.16	18:50	H24.3.17	13:11	1号炉SGH戻り配管の脱気器入口付近エルボ配管から蒸気漏れを発見した。脱気器は共通設備であり、当該漏れ箇所は、元弁と脱機器の間に位置するため、全炉停止
66	有明	1号炉	休炉	H24.3.7	16:30	H24.3.8	15:00	H24.3.12	18:00	H24.3.13	12:55	1号炉の2パス3パスのNo.2ボイラ下シュートに灰が詰まった。解除の為、焼却炉を停止する。
65	灰溶融・品	2号炉	休炉	H24.2.16	13:00	H24.2.17	23:38			H24.2.24	15:58	2号細粒灰計量器に湿灰が混入し、計量不能となったため休炉した。
64	葛飾	2号炉	休炉	H24.1.23	10:00	H24.1.25	9:00	H24.2.6	20:56	H24.2.7	13:20	減湿水槽からの水漏れが発見されたため、外部からの補修を試みたが状況が改善されなかった。当該部補修のため、焼却炉を立ち下げた。
63	多摩川	1号炉	休炉	H24.1.22	21:41	H24.1.23	1:16	H24.1.23	19:27	H24.1.24	7:11	主灰搬出ゲート上段故障が発生した。上段ゲートが開状態のまま、閉とならず、復旧できないため、焼却炉を立ち下げた。
62	千歳	1号炉	休炉	H24.1.22	22:02	H24.1.23	8:08	H24.1.23	15:28	H24.1.24	1:59	平成23年12月29日の誘引ファン回転数制御装置の故障時にデジタル調節計の交換を行ったが、周波数変換器の不具合が判明した。年末で部品調達に時間がかかるた
61	江戸川	2号炉	休炉	H24.1.17	7:30	H24.1.17	8:10	H24.1.18	18:37	H24.1.19	13:28	立ち上げ運転時に、脱気器入口逆止弁本体とふたのガスケット部から、蒸気漏れがあり、2号炉を立ち下げた。
60	豊島	2号炉	休炉	H24.1.16	11:00	H24.1.16	12:15	H24.1.24	23:00	H24.1.25	5:15	焼却炉本体とS-3ノズル支持用鋼材貫通部の隙間から、火の粉や燃焼ガスの漏洩を確認した。耐火材が損傷していると考えられるため、焼却炉を立ち下げて確認を行
59	目黒	2号炉	休炉	H24.1.9	22:45	H24.1.9	23:37	H24.1.10	14:19	H24.1.11	7:41	2号主灰シュートにクリンカが落下した。これにより2号主灰シュート水冷ジャケットへの給水配管が破損した。補修を検討したが、クリンカがその後も落下しており、また深
58	灰溶融・世	1号炉	休炉	H24.1.7	10:30	H24.1.7	10:31					灰溶融炉下部の炉体と炉底電極間に炎を発見した。調査、補修のため停止した。
57	有明	1号炉	休炉	H24.1.4	7:00	H24.1.5	17:10	H24.1.11	18:00	H24.1.12	13:14	2パス3パスのNo.2側ボイラ下シュートに灰が詰まった。解除の為、焼却炉を停止する。
56	世田谷	2号炉	休炉	H24.1.4	14:10	H24.1.4	16:00	H24.1.6	23:36	H24.1.7	11:04	シーリングゲートが開かなくなりごみの投入ができなくなったので立ち下げた。
55	品川	共通	停止	H23.12.27	13:00					H23.12.29	15:00	12月27日、No.2ごみクレーン手動運転している際、トリップが多発した。動作を注視するとバケット開閉時にトリップすることが判明した。
54	千歳	1号炉	休炉	H23.12.29	5:45	H23.12.29	7:20	H23.12.29	20:20	H23.12.30	2:39	誘引ファン回転数制御装置の故障により、誘引ファンの制御ができなくなったため、焼却炉を立ち下げた。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
53	世田谷	1号炉	休炉	H23.12.26	6:12	H23.12.26	9:55	H24.1.5	22:35	H24.1.6	11:16	「不燃物排出装置 故障」警報が発報した。解除を試みたが、解除に時間がかかるため焼却炉を立ち下げた。
52	江戸川	1号炉	休炉	H23.12.13	10:30	H23.12.19	16:46	H23.12.21	17:54	H23.12.2	13:41	1号 2ボイラ給水ポンプの吐出弁フランジ部より水漏れ発見。補修のため立ち下げた。
51	世田谷	2号炉	休炉	H23.12.17	0:00	H23.12.17	5:49	H23.12.29	22:54	H23.12.30	11:29	2ガス化炉下排出部温度が上昇し、流動不良になった為、調査をする必要があり、焼却炉を立下げた。
50	世田谷	1号炉	休炉	H23.12.16	22:30	H23.12.16	22:33	H23.12.22	22:36	H23.12.23	12:53	2ガス化炉下排出部温度が上昇し、流動不良になった為、調査をする必要があり、焼却炉を立下げた。
49	灰溶融・世	1号炉	休炉	H23.12.7	11:18	H23.12.7	11:18			H23.12.9	15:00	「細粒灰計量ホッパ重量PV下限」警報が発報した。現場を確認したところ、細粒灰貯槽切出装置のスクリュウコンベアのシャフトが折損し回転不能となっていたため灰溶
48	品川	2号炉	休炉	H23.12.1	10:00	H23.12.5	18:00	H23.12.13	15:28	H23.12.14	14:16	12月1日運転係より、2号ろ過式集じん器第1室の飛灰の出が悪いとの報告があり、槌打等で閉塞解消を試みた。改善しなかったため、12月3日に第1室を閉鎖して槌打作
47	大田第一	2号炉	休炉	H23.12.3	6:49	H23.12.3	12:45	H23.12.6	17:35	H23.12.7	15:05	2号炉飛灰空気輸送装置故障発報(ブロータンク圧力高及びタンクレベルH)。輸送配管及びタンク内の詰まり解除のため、焼却炉を停止した。
46	世田谷	1号炉	休炉	H23.11.25	15:50	H23.11.25	18:16	H23.12.2	23:01	H23.12.3	10:55	「砂循環エレベータ電流値上限」警報が発報し、現場を確認したところ、砂循環エレベータからガス化炉への配管に砂の詰りがあった。解除を試みたが、解除に時間が
45	千歳	1号炉	休炉	H23.11.4	17:00	H23.11.20	17:00	H23.11.21	16:02	H23.11.22	13:26	蒸気式空気予熱器から復水タンクへの復水戻り管にドレン漏洩が発生し、その後漏れ量に増加傾向が見られたため、焼却炉を停止した。
44	墨田	1号炉	休炉	H23.11.17	18:27	H23.11.17	22:12	H23.11.19	15:27	H23.11.20	13:06	No.1減温塔ダスト搬出装置異常(スクレーパコンベヤ過負荷)多発。減温塔内部及び、ノズルの調査を行うため焼却炉を立ち下げた。
43	葛飾	1号炉	休炉	H23.11.15	11:10	H23.11.15	11:26	H23.11.17	19:46	H23.11.18	11:31	1号焼却炉後燃焼ストーカー上に鋼材(長さ約4m)を発見したので炉を停止して撤去する。
42	光が丘	2号炉	休炉	H23.11.9	18:20	H23.11.9	23:00	H23.11.18	1:00	H23.11.19	7:47	2号ろ過式集じん機入口ガス温度“L”発報。減温水流量が調整できないので焼却炉を立下げた。
41	光が丘	1号炉	-	H23.11.9	1:08	H23.11.9	3:36			H23.11.9	23:00	「1号ボイラ下ロータリーバルブ(1)」警報が発報した。現場にて復旧作業を試みたが解除できなかったため、焼却炉を立ち下げた。
40	灰溶融・中	3号炉	休炉	H23.11.8	13:00	H23.11.9	11:15					押込み用空気ファンの軸振動計の値が、運転管理値の上限に近い為、振動点検を各軸受けて行った結果、運転限界を超えている事が分かり、故障停止とした。現在、灰溶融炉は1炉運転中で、次回4号炉が立ち上げ予定のため、3号炉はこのま
39	世田谷	1号炉	休炉	H23.11.3	5:52	H23.11.3	12:45	H23.11.4	22:36	H23.11.5	9:25	「砂循環エレベータ故障」警報が発報し、現場を確認したところ、砂循環エレベータからガス化炉への配管に砂の詰りがあった。解除を試みたが、解除に時間がかかるため焼
38	杉並	2号炉	休炉	H23.10.18	9:00	H23.10.18	17:00	H23.10.21	14:00	H23.10.22	20:00	運転委託の点検でシュートが閉塞しているとの報告があったので、職員にて再点検を行った結果、閉塞と判明したので安全作業要領に基づく解除作業を行うために炉を
37	灰溶融・世	1号炉	休炉	H23.10.13	17:14	H23.10.13	17:14			H23.11.2	5:00	通常の傾動作業後に現場を点検したところ、炉体点検蓋より水漏れがあった。補修するために休炉とした。
36	江戸川	2号炉	休炉	H23.10.10	9:30	H23.10.10	12:00	H23.10.13	17:13	H23.10.14	11:30	ボイラドラム付レベル発信器用弁弁の弁箱(ボディ)の破孔部より少量の白煙(蒸気洩れ)を発見した。弁交換のため2号焼却炉を立ち下げた。
35	世田谷	2号炉	休炉	H23.9.27	17:22	H23.9.27	18:37	H23.10.3	22:57	H23.10.4	11:30	スラグランスが流下口内に入ったまま抜けなくなった。引き抜きを試みたが、復旧に時間がかかるため焼却炉を立下げた。
34	葛飾	1号炉	休炉	H23.9.21	3:46	H23.9.21	15:30					第1ボイラダストコンベヤのショックリレーが多発し、ボイラダストの排出が出来なくなった。復旧を試みたが状況が改善しなかったため、焼却炉を立ち下げた。なお、このま
33	葛飾	1号炉	休炉	H23.9.17	3:56	H23.9.17	5:24	H23.9.19	20:39	H23.9.20	11:27	主灰排出装置で渋滞が発生し、当該装置出口シュートブリッジによる灰の堆積が予想されたため、焼却炉を立ち下げた。
32	世田谷	1号炉	休炉	H23.9.8	13:50	H23.9.8	17:31	H23.9.10	0:25	H23.9.10	12:07	砂循環エレベータからガス化炉への配管に砂の詰りがあった。砂を解除したところ針金等が配管の途中に引っかかっていた。
31	世田谷	1号炉	休炉	H23.9.6	20:23	H23.9.6	22:56	H23.9.7	14:20	H23.9.7	20:03	破碎ごみフラップダンパ上部でごみが詰まって、ごみが焼却炉に投入できなくなった。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
30	中防・破砕		休炉	H23.9.4	16:33	H23.9.4	18:00	H23.9.13	2:00	H23.9.13	15:05	不燃物抜出装置Aのサーマルレ-動作したので原因を調査したところ、電動機が焼付いた状態になっていた。
29	多摩川	2号炉	休炉	H23.8.30	4:12	H23.8.30	5:55	H23.9.2	18:57	H23.9.3	12:27	搬送側コンベヤチェーンが立上り部にてレール押さえの上に乗り上げコンベヤが作動しなくなった。
28	港	3号炉	休炉	H23.7.28	21:20	H23.7.29	12:50	H23.8.5	21:00	H23.8.6	9:52	飛灰搬送用切替コンベヤが故障停止した。調査の結果、反応蒸発塔内噴霧ノズルからの水噴霧量過多により、集合コンベヤから混練装置まで飛灰が固着していたので、
27	中防・破砕		休炉	H23.7.27	11:00	H23.7.28	15:00	H23.8.17	3:00	H23.8.17	15:00	砂分級装置のショックレ-が作動したので異物を除去したが、除去しきれずに残った異物が障害となって砂循環が維持できなくなったため立ち下げた。
26	足立	2号炉	休炉	H23.7.25	11:30	H23.7.25	20:37	H23.7.29	17:27	H23.7.30	9:34	2号 2自工場主灰コンベヤがトリップしたため、解除作業を行ったところ乾燥帯部分のものと思われる火格子が発見された。補修作業を行うため焼却炉を立ち下げた。
25	光が丘	1号炉	休炉	H23.7.18	0:35	H23.7.19	13:30	H23.7.25	1:05	H23.7.25	23:05	「1号ガス再加熱器差圧”高”」警報が発報した。ガス再加熱器下のフィンチューブ間への異物の詰りが推測され、異物を除去するために焼却炉を立ち下げた。
24	有明	1号炉	休炉	H23.7.7	12:10	H23.7.7	12:50	H23.7.22	8:18	H23.7.22	14:04	ボイラ下シュートの灰詰まりもしくはロータリーバルブの噛みこみによりロータリーバルブが停止した。
23	足立	2号炉	休炉	H23.6.28	21:03	H23.6.29	23:00	H23.6.30	17:54	H23.7.1	2:20	2号焼却炉のストブロー、飛灰装置、減温塔、集塵機の制御を調整する中央監視盤PLCの異常アラームが多発し、減温塔のエアと水の噴霧不具合等が生じた。
22	有明	1号炉	休炉	H23.6.22	18:26	H23.6.22	19:10	H23.6.23	20:00	H23.6.24	14:15	ロータリーバルブに耐火物が噛み込んだことによりロータリーバルブが停止した。
21	千歳	共通	停止	H23.6.21	4:34					H23.6.21	20:30	2号ごみクレーンが積替中に6番ゲート(A-6)付近で自動停止し電源が落ち、再投入が出来ず、運転不能となった。
20	光が丘	1号炉	休炉	H23.6.11	23:25	H23.6.12	10:00	H23.6.16	1:25	H23.6.16	18:07	「1号炉シフティング異常」警報が発報した。灰の堆積を推測し、シュート部を槌打するも解消できないため焼却炉を立ち下げた。
19	足立	共通	停止	H23.1.19	15:35	H23.5.30	19:07	H23.6.1	15:27	H23.6.1	19:21	1月19日に発生した比率差動継電器の誤動作による蒸気タービン発電機重故障について、調査の結果交換を行うことになった。
18	有明	共通	休炉	H23.5.28	4:00	H23.5.28	8:00	H23.5.30	20:00	H23.5.31	10:45	高圧蒸気溜め上部入口弁フランジ部、及び抽気蒸気溜めマンホールより蒸気漏れ発見。1号炉をシーケンスにより立ち下げた。
17	目黒	共通	休炉	H23.5.28	7:51	H23.5.28	9:08	H23.5.30	19:13	H23.5.31	14:50	計装用分岐盤(BL 16盤)のMCB52LF112(一般計装用電源)の漏電によりMCBがトリップしたため、ごみクレーン、灰クレーン、ITVモニタ、アンモニア注入ポンプが停止し
16	葛飾	共通	停止	H23.5.24	20:30					H23.5.25	3:38	手動運転によるごみバンカ内のごみ積替え作業中に、1ごみクレーンの異常が発生した。そのまま格納を行い点検を行ったところ、バケットシェルの1本が破断してい
15	杉並	1号炉	-	H23.5.25	4:15	H23.5.25	4:15			H23.5.25	10:15	塩化水素除去設備の補機冷却液ポンプBが故障停止し塩化水素除去設備がバイパスに切り替わったため緊急立ち下げを行った。
14	葛飾	共通	停止	H23.5.23	2:36					H23.5.27	18:00	ごみバンカ監視カメラの映像から 2ごみクレーンの異常が確認されたので、クレーン操作室にて格納を行い点検を行ったところ、バケットシェルの1本が破断していた。当時は自動運
13	多摩川	1号炉	-	H23.5.13	21:26	H23.5.13	22:47	H23.5.14	14:34	H23.5.15	1:12	ゴミバンカーゲート7落口スロープの鉄板が脱落し、投入されコンベヤに引っかかった。
12	灰溶融・世	1号炉	休炉	H23.5.8	12:57	H23.5.8	12:57	<b>4.5ヶ月</b>		H23.9.26	21:00	灰溶融炉炉底電極部に赤熱が見られたので確認するため休炉した。
11	墨田	共通	停止	H23.3.22	15:00	H23.4.28	10:00	H23.5.1	13:00	H23.5.1	14:20	タービン出力に制限がかかり、正常に上昇しなかった。蒸気加減弁内部の不具合が考えられるので、点検のためタービンを立ち下げた。
10	大田第一	1号炉	休炉	H23.5.1	18:01	H23.5.1	22:22	H23.5.26	15:40	H23.5.27	9:27	1号炉飛灰空気輸送装置故障発報(輸送弁故障及びタンクレベルH)。輸送弁動作状況確認及びタンク内の詰まり解除のため、焼却炉を停止した。
9	渋谷	1号炉	休炉	H23.4.28	16:10	H23.4.28	22:00	H23.5.9	20:06	H23.5.10	7:52	蒸気式ガス再加熱器(SGH)への蒸気流入量が著しく増加した。また、純水補給量も増加したことにより、SGH内部の異常が予見されたため、焼却炉を停止した。
8	杉並	1号炉	-	H23.4.26	9:00	H23.4.26	9:06	H23.4.26	11:38	H23.4.26	13:30	1号灰コンベヤ チェーン貼り調整用軸受の不良を発見したため立ち下げた。
7	多摩川	2号炉	休炉	H23.4.23	2:03	H23.4.25	10:00	H23.5.21	10:00	H23.5.22	1:54	「集じん器出口ガスばいじん濃度上上限」警報が発報した。点検の結果、計器の誤作動がないことを確認し、調査のために焼却炉を立ち下げた。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
6	有明	共通	停止	H23.4.19	7:08	H23.4.19	8:09	H23.4.19	19:33	H23.4.19	20:20	蒸気タービン発電機AVR故障の為、発電機トリップした。発電機室励磁機盤内AVR故障、復帰ボタンを押してタービン起動シーケンスを開始したが再びAVR故障で発電
5	江戸川	1号炉	休炉	H23.4.18	15:00	H23.4.22	10:00	H23.4.27	18:04	H23.4.28	12:10	ボイラ出口圧力の低下(ボイラ内圧損が上昇)を確認し推移を観察していたが、ボイラ出口圧力がさらに低下しているため、焼却炉を停止し、清掃を実施する。
4	世田谷	1号炉	休炉	H23.4.13	22:20	H23.4.14	0:37	H23.4.24	22:46	H23.4.25	10:48	ボイラ下ダスト排出コンベヤ故障が発報した。正転・逆転運転を試みるも復旧しないため、焼却炉を立上げて内部点検する。
2	足立	共通	停止	H23.4.3	18:30	H23.4.5	5:00	H23.4.5	16:00	H23.4.5	18:50	点検時に、タービン暖気用調節弁ドレン配管フランジより蒸気漏れがあることを発見した。増し締めを行ったが、漏れがとまらないためタービン発電機を立ち下げた。
3	世田谷	1号炉	休炉	H23.4.1	11:30	H23.4.1	17:02	H23.4.11	22:50	H23.4.12	11:14	ガス化炉の流動不良が起り、流動層圧力の変動が大きくなった。改善操作を試みたが流動不良が解消しないため焼却炉を立ち下げた。
1	品川	2号炉	休炉	H23.3.28	12:20	H23.4.1	15:30	H23.4.6	22:26	H23.4.7	14:11	3月28日運転係より、2号ろ過式集じん器第1室の灰の出が悪いとの報告があり、翌29日より第1室を閉鎖して解除を試みたが復帰しないので炉を立ち下げた。
平成22年度(2010年度)												
88	足立	2号炉	休炉	H23.3.28	14:20	H23.3.29	18:44	H23.3.30	21:37	H23.3.31	14:43	燃焼ストーカ下シュート部で煙が出ているのを発見した。ごみ投入を停止して点検窓より炉内を確認したところ、後燃焼ストーカ上に脱落した火格子が確認された。補修
87	足立	1号炉	休炉	H23.3.23	8:00	H23.3.26	12:00					蒸発量に比べてボイラ給水量の増加が確認された。また、通常運転時より純水使用量の増加も確認された。ボイラ給水系統の点検を実施したが異常が見つからなかつ
86	葛飾	2号炉	休炉	H23.3.22	10:30	H23.3.22	11:05	H23.3.28	19:55	H23.3.29	11:16	ボイラドラム付き圧力計取出し配管中、止弁の1次側継手部より蒸気漏れを発見した。増し締めしたが漏れが止まらないため焼却炉を立ち下げた。
85	有明	2号炉	休炉	H23.3.12	15:00	H23.3.19	10:00	H23.3.23	20:00	H23.3.24	15:46	ボイラ下シュートの温度計指示が低いことに気づき、ボイラ灰によるシュートの閉塞と判断した。以後、下流側ダストコンベアの点検口より搬出される灰の量を観察しつつ
84	江戸川	2号炉	休炉	H23.3.2	10:00	H23.3.15	14:17	H23.3.27	17:18	H23.3.28	17:45	ボイラ出口圧力の低下(ボイラ内圧損が上昇)を確認後、推移を観察していたがさらにボイラ出口圧力が低下したため、焼却炉を停止した。
83	灰溶融・多	1号炉	休炉	H23.3.14	10:43	H23.3.14	13:30					「集じん器一括故障」警報が発報し、ダスト排出装置が停止した。現場確認するとダスト排出装置の軸受破損がスクレーパ部に異物噛込みが推測されたので灰溶融炉を
82	品川	2号炉	休炉	H23.2.23	2:25	H23.3.12	17:00	H23.3.16	15:59	H23.3.17	12:51	3燃焼ストーカ上のごみ層厚がストーカ上流側より高くなったので計器の点検及び導圧管をエアバ-ジしたが正常値であった。また、導圧管より炉内を覗くとストーカ下ホッパ内
81	灰溶融・多	1号炉	休炉	H23.3.4	11:00	H23.3.4	17:30			H23.3.8	16:00	灰溶融炉中央制御室にて監視中、後燃焼室ブッシャの不動作を発見し点検したところ、後進工程になっていたが動いていないことを確認した。ダスト・塩塊等の影響によ
80	灰溶融・品	2号炉	休炉	H23.2.23	8:45	H23.2.23	15:30	H23.3.7		H23.3.8	20:30	溶融排ガス集じん器の「ロータスクレーパ」電流値上限」警報が発報した。点検するとホッパ
79	中央	1号炉	休炉	H23.2.22	18:17	H23.2.22	22:17	H23.2.25	10:46	H23.2.26	8:38	「ボイラ灰搬出装置故障」警報が発報したので点検すると、ボイラ下ホッパシュートで灰詰まりを確認した。シュートを槌打するも解除しないため焼却炉を立ち下げた。
78	灰溶融・品	1号炉	休炉	H23.2.1	0:50	H23.2.1	9:10			H23.2.9	14:33	灰溶融炉スラグ室(B)の壁面にスラグが付着してしまい、出滓するスラグが水砕水槽に導けなくなったため灰溶融炉を停止した。
77	多摩川	1号炉	休炉	H23.1.21	2:06	H23.1.21	6:33	H23.1.22	19:18	H23.1.23	8:00	給じん装置上面スクレーパ用カバーが脱落したため、休炉し補修する。
76	世田谷	2号炉	休炉	H23.1.15	20:50	H23.1.16	4:34	H23.1.22	22:00	H23.1.23	11:20	ガス化炉の流動不良が起り、流動層温度の低下が発生した。改善操作を試みたが流動不良が解消しないため、調査、補修するため焼却炉を立ち下げた。
75	杉並	1号炉	休炉	H23.1.12	9:00	H23.1.15	22:00	H23.1.22	18:00	H23.1.24	0:40	炉内圧力が上昇し、誘引ファンの負荷が増大した。焼却量の減量運転及びボイラ
74	新江東	2号炉	休炉	H23.1.11	1:00	H23.1.11	4:22	H23.1.19	17:14	H23.1.20	11:16	主灰シュートブリッジの警報が発報したため、ブリッジ解除装置で復旧を試みたが、解除できないため焼却炉を立ち下げた。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
73	渋谷	1号炉	休炉	H23.1.1	12:48	H23.1.1	13:54	H23.1.2	21:05	H23.1.3	10:55	「不燃物排出装置 2機器異常」警報が発報し過電流にてトリップした。解除するため2軸スクリーコンベアを正転、逆転運転したが解除不可能のため焼却炉を立ち下げ
72	灰溶融・葛	2号炉	休炉	H23.12.24	13:24	H22.12.24	16:34	H23.1.16	21:00	H23.1.19	8:30	「主電極昇降装置電気故障」警報が多発した。主電極昇降装置点検のため、2号灰溶融炉を立ち下げた。
71	世田谷	2号炉	休炉	H22.12.21	13:00	H22.12.21	22:00	H23.1.3	22:47	H23.1.4	11:08	点検時、砂分級装置ケーシング部より砂漏れを発見した。調査・補修するため焼却炉を立ち下げた。
70	品川	2号炉	休炉	H22.12.12	0:39	H22.12.19	18:00	H22.12.22	18:34	H22.12.23	15:18	「集じん器1スクリーコンベア電流値PV上限」警報が多発した。灰搬出量が少量であったため槌打を実施していたが、通常搬出量に戻らなかったため焼却炉を立ち下げた。
69	大田第二	2号炉	休炉	H22.12.19	12:09	H22.12.19	16:10	H22.12.21	12:58	H22.12.22	8:00	飛灰空気輸送装置「ブロータンク圧力 高」の警報が発報した。点検の結果、ブロータンク内部で灰詰りが発生しており、詰りを解除するため焼却炉を停止した。
68	品川	1号炉	休炉	H22.12.11	14:15	H22.12.14	15:32	H22.12.18	16:12	H22.12.19	12:17	「1号集じん器2スクリーコンベア電流値PV上限」警報が発報した。槌打を実施したがコンベアからの灰搬出が確認できなくなったため焼却炉を立ち下げた。
67	世田谷	2号炉	休炉	H22.11.29	21:13	H22.11.29	23:01	H22.12.8	22:37	H22.12.9	11:27	「砂循環エレベータ故障」警報が発報した。砂循環エレベータを再起動するも閉塞箇所があるため、炉内に砂供給ができないので焼却炉を立ち下げた。
66	光が丘	2号炉	休炉	H22.11.29	0:30	H22.11.29	2:00	H22.12.9	1:00	H22.12.9	21:10	「ボイラ下ロータリーバルブ(1)トリップ」警報が発報した。現場にて復旧作業を試みたが解除できないため、焼却炉を立ち下げた。
65	千歳	1号炉	休炉	H22.11.27	10:30	H22.11.27	15:00	H22.11.30	10:33	H22.12.1	4:15	燃焼ストーカ用駆動装置ロッドシールボックスの下部ケーシングに亀裂が生じ、炉内からの煙等が漏えいのため焼却炉を立ち下げた。
64	光が丘	1号炉	休炉	H22.11.15	17:00	H22.11.24	8:00	H22.12.4	1:03	H22.12.4	20:05	蒸気式ガス再加熱器入口排ガス温度が、管理値を下回るため調査を行ってきたが、原因を特定できない。よって、内部点検するため焼却炉を立ち下げた。
63	ガス化・世田	1号炉	休炉	H22.11.22	13:00	H22.11.23	20:20	H22.11.30	22:52	H22.12.1	12:30	炉内散気管への炉体ケーシング接続部から空気漏れを発見した。補修するため焼却炉を立ち下げた。
62	中防・破碎		休炉	H22.11.16	9:00	H22.11.23	15:15	H22.11.26	19:02	H22.11.27	4:18	循環ファンの軸受部からの異音発生について経過観察していたところ、交換の判断により焼却炉を立ち下げた。
61	品川	2号炉	休炉	H22.11.18	9:25	H22.11.19	16:35	H22.11.26	15:24	H22.11.27	14:19	「2号集じん器1スクリーコンベア電流値PV上限」警報が多発した。コンベアからの灰搬出がないため、槌打を実施したが改善しないので焼却炉を立ち下げた。
60	杉並	2号炉	休炉	H22.11.16	0:05	H22.11.16	1:15	H22.11.19	18:00	H22.11.20	22:30	「減温塔ダスト搬出コンベア過負荷」にて停止した。正転・逆転運転を繰返し試みたが復旧しないため焼却炉を立ち下げた。以後、マニュアルに従い減温塔点検用マン
59	灰溶融・葛	2号炉	休炉	H22.11.14	23:09	H22.11.14	23:09			H22.12.15	4:44	出滓状態の点検時、スラグ出滓口下部シュート付近の水砕水槽天板(編鋼板)の一部が赤熱していたため、通電を停止した。なお、水膜装置等点検するため灰溶融炉を
58	灰溶融・中	1号炉	休炉	H22.11.4	23:50	H22.11.5	3:55			H22.11.25	13:15	電極継足装置にて、補助電極を継足し後、装置が故障し電極から取り外せなくなり補修するため休炉した。
57	豊島	2号炉	休炉	H22.11.4	8:18	H22.11.4	13:56					焼却炉内壁面に付着したクリンカが剥離し、そのまま流動層上に横たわり流動不良が発生した。ごみの供給を停止してクリンカの破壊を試みたが砂の流動が復旧せず、
56	ガス化・世田	2号炉	休炉	H22.10.27	22:52	H22.10.28	1:22	H22.11.1	22:54	H22.11.2	11:28	「ボイラ下ダスト排出コンベア故障」警報が発報した。正転・逆転運転を試みるも復旧しないため、焼却炉を休炉して内部点検する。
55	ガス化・世田	1号炉	休炉	H22.10.25	18:39	H22.10.26	18:00	H22.11.10	22:54	H22.11.11	11:42	「減温塔ロータリースクレーバ過トルク」警報が発報した。調整し、ロータリースクレーバが運転可能となったが、灰の搬出がないため焼却炉を休炉して内部点検を行う。
54	有明	1号炉	休炉	H22.10.22	16:44	H22.10.22	20:50	H22.10.23	14:25	H22.10.23	17:27	「主灰シュートブリッジ」警報が発報し、灰冷却水槽からの灰搬出状況を確認後、主灰シュートブリッジ解除装置を作動させたが復旧しないため、焼却炉を立ち下げた。
53	渋谷	1号炉	休炉	H22.9.17	9:30	H22.10.24	22:00	H22.10.26	13:06	H22.10.26	20:08	脱気器へ導かれる蒸気式ガス再加熱器用ドレン配管より蒸気漏れを発見した。パイプラインに切換え、減圧用オリフイス下流側配管に破孔(4mm程度)した漏れ箇所を確認した。
52	ガス化・世田	2号炉	休炉	H22.10.19	18:30	H22.10.19	19:28	H22.10.25	22:45	H22.10.26	10:26	「砂循環エレベータ故障」警報が発報した。点検すると砂循環エレベータの駆動用電動機の軸受が破損し運転不能により、補修するため焼却炉を立ち下げた。
51	品川	2号炉	休炉	H22.10.6	0:31	H22.10.12	12:00	H22.10.20	20:58	H22.10.21	18:00	「ろ過式集じん器集じんダスト搬出装置故障」警報が発報した。コンベアからの灰搬出がないため、槌打等の処置を試みたが回復しないので、焼却炉を立ち下げた。
50	中防・破碎		休炉	H22.10.7	18:00	H22.10.7	18:01	H22.10.11	11:55	H22.10.11	20:00	砂循環装置バケットコンベアの駆動部軸受が破損し、補修するため焼却炉を立ち下げた。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
49	豊島	2号炉	休炉	H22.10.5	11:23	H22.10.5	12:50	H22.10.12	11:46	H22.10.12	19:43	焼却炉内壁面に付着したクリンカが剥離し、そのまま流動層上に横たわり流動不良が発生した。ごみの供給を停止してクリンカの破壊を試みたが砂の流動が復旧せず、
48	杉並	1号炉	休炉	H22.10.5	8:00	H22.10.5	10:00	H22.11.1	14:00	H22.11.4	0:00	現状において、ボイラ缶水伝導度が下がり、また通常運転時より純水使用量の増加が確認された。ボイラ給水システムの点検を強化したが異常が見つからなかったため、新たに設置したボイラ下シュート表面の温度計指示値が低いことに気づき、ボイラ灰によるシュートの閉塞と判断した。以後、下流側ダストコンベアの点検口より搬出され
47	有明	2号炉	休炉	H22.9.18	11:00	H22.10.4	11:15					「ボイラ下ロータリーバルブトリップ」警報が発報し停止した。点検口から確認したところ、ロータリーバルブに噛み込みがあり、復旧するため焼却炉を立ち下げた。
46	中防・破碎		休炉	H22.9.26	20:07	H22.9.27	0:27	H22.9.29	5:23	H22.9.29	16:50	巡回点検にて、ボイラ下シュートの触手で表面温度が低いことに気づき、ボイラ灰によるシュートの閉塞と判断した。以後、下流側ダストコンベアの点検口より搬出される
45	有明	1号炉	休炉	H22.9.18	11:00	H22.9.25	11:15	H22.10.2	20:00	H22.10.3	15:44	巡回点検にて、タービン入口蒸気流量発信器取出口元弁の1次側フランジ部から蒸気漏れを発見した。直営にて増締めを実施したが蒸気漏れが止まらないため、補助燃バーナ流量不足により安定運転ができないため、焼却炉を停止し助燃バーナ部を点検清掃する。
44	有明	T/G	停止	H22.9.21	15:30	H22.9.22	10:00	H22.9.22	12:00	H22.9.22	13:44	ボイラ側壁部より漏水が確認された。ラッキング及び保温材を外し、漏水箇所を特定して修理する必要があるため焼却炉を立ち下げた。
43	ガス化・世	2号炉	休炉	H22.9.20	0:54	H22.9.20	13:14	H22.9.24	22:43	H22.9.25	11:44	焼却炉内壁面に付着したクリンカが剥離し、そのまま流動層上に横たわり流動不良が発生した。ごみの供給を停止してクリンカの破壊を試みたが砂の流動が復旧せず、
42	品川	1号炉	休炉	H22.9.20	18:00	H22.9.20	19:00	H22.10.7	15:39	H22.10.8	11:12	ろ過式集じん器ホッパ下フライトコンベアが振動しているのを発見した。駆動側コンベアケース内の灰詰まりを解除するも、ホッパより灰の落下が見られず詰まりと判断し、
41	豊島	2号炉	休炉	H22.9.13	8:22	H22.9.13	16:40	H22.9.23	10:59	H22.9.23	19:45	主蒸気止弁取付フランジより蒸気漏れを確認したので蒸気タービンを立ち下げた。なお、蒸気漏れ補修のため1号炉を10日(金)16:32 立ち下げ開始した。
40	光が丘	1号炉	休炉	H22.9.13	11:10	H22.9.13	18:00					「減温塔ロータリースレーバ制御盤故障」警報が発報した。槌打及びサーマル設定を3.5A 3.8Aに変更して、正転逆転を繰り返し操作したが動かさず復帰できないので焼却炉を
39	品川	T/G	-	H22.9.8	20:45	H22.9.8	21:20	H22.9.13	13:31	H22.9.13	14:37	「2号溶融集じん入口排ガス圧力 低」が発報したので、現場にてダクト等ハンマリングを実施したが復旧しなかった。排ガス減温塔周辺の閉塞が考えられ、解除するため
38	品川	1号炉	休炉	H22.9.3	2:29	H22.9.3	7:32	H22.9.6	19:38	H22.9.7	14:31	「灰供給装置故障」警報が発報し、現場にて点検後運転を再開すると過負荷で停止してしまう。灰供給装置の運転継続ができないため灰溶融炉を立ち下げた。なお、この
37	灰溶融・足	2号炉	休炉	H22.8.19	16:30	H22.8.20	15:00			H22.8.25	5:08	直流電源装置の整流器基盤が故障し、直流電源の電圧が低下しプラント機器の各制御装置が停止した。その影響でタービン発電機及び1・2号炉のIDFがインターロック
36	灰溶融・葛	2号炉	休炉	H22.8.19	7:05	H22.8.19	15:00					
35	有明	1号炉	-	H22.8.17	7:34	H22.8.17	8:26	H22.8.17	12:00	H22.8.17	13:16	
35	有明	2号炉	-	H22.8.17	7:34	H22.8.17	9:17	H22.8.17	15:16	H22.8.17	15:30	
34	千歳	ごみク	停止	H22.8.16	15:30					H22.8.17	11:45	NO.1ごみクレーン巻上げワイヤーロープ(4本中、1本)が断線したため使用を中止する。NO.2ごみクレーンの巻上げ電動機用電磁式ブレーキが過熱したため使用を一
34	千歳	ごみク	停止	H22.8.17	2:38					H22.8.17	11:45	
33	中防・破碎	1号炉	休炉	H22.8.9	4:00	H22.8.9	6:54	H22.8.10	18:01	H22.8.11	0:08	流動床炉「炉下圧力」が低下したため砂供給ラインを点検すると、砂投入弁付近で針金が絡みつき、炉への砂投入ができない状態のため焼却炉を立ち下げた。
32	大田第一	1号炉	休炉	H22.7.14	9:00	H22.7.14	15:00	H22.7.21	17:08	H22.7.22	10:03	「後燃焼ストーカ異常」警報が発報した。ストーカのストロークが低下(190 85mm)し始め、調査するも回復が見込めないため焼却炉を立ち下げた。
31	灰溶融・品	2号炉	休炉	H22.7.13	16:02	H22.7.13	20:10			H22.7.22	23:00	溶融排ガス冷却器のロータリースレーバが過負荷で停止した。クリンカ等による噛みこみと思われ、解除するため灰溶融炉を停止した。
30	灰溶融・世	1号炉	休炉	H22.7.12	22:45	H22.7.13	3:34			H22.7.15	15:00	「細粒灰貯槽切出装置過トルク」警報が発報した。切出装置のスクリーコンベアのシャフトが折損し回転不能となったため灰溶融炉を停止した。
29	灰溶融・足	1号炉	休炉	H22.7.11	15:04	H22.7.11	18:40			H22.7.16	6:00	当該コンベヤが「電流値高」でトリップした。現場を確認したところ、駆動部分でバケットコンベヤの噛み込みによる変形と主務チェーンの破断を発見した。補修のため灰溶
28	江戸川	1号炉	休炉	H22.7.12	18:57	H22.7.12	19:26	H22.7.13	18:56	H22.7.14	11:52	「給じん装置サイクルオーバー」の警報により現場確認したところ、油圧駆動シリンダのロッドが折損しており、ごみの供給が不能となったため、焼却炉を立ち下げた。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				日	時	日	時	日	時	日	時	
27	ガス化・世	2号炉	休炉	H22.7.4	8:35	H22.7.4	9:41	H22.7.6	21:12	H22.7.7	9:42	リモートI/O盤(分散型制御システム(DCS)と現場計装計器との中継器)の一部からの信号がロック状態となり、制御不能となったため休炉した。
26	ガス化・世	1号炉	休炉	H22.7.2	15:00	H22.7.2	21:20					ITV監視中、流下口の冷却用冷却水が漏洩しているのを発見した。継続運転ができないため休炉した。なお、このまま中間点検に入る。
25	板橋	1号炉	休炉	H22.7.1	21:21	H22.7.2	17:40					輻射部ダストコンベアのトルクリミッタが作動し過負荷で停止した。インチング運転等の処置を講じたが復旧に至らず、運転中に作業を行うことは困難と判断し、焼却炉を
24	大田第一	1号炉	休炉	H22.6.30	8:15	H22.6.30	11:00	H22.7.6	10:13	H22.7.7	5:35	ボイラ下ホッパ部熱電対の温度指示値が下がり傾向のため点検をしたところ、ボイラ1~2パス下ホッパ及びダストシュート部でブリッジが発生した。ブリッジ解除するため
23	墨田	1号炉	休炉	H22.6.24	13:00	H22.6.24	15:30					1主灰シュートブリッジが発生したため、ホッパブリッジ解除装置による復旧を試みた。解除作業を続けたが復旧は見込めないと判断し焼却炉を立ち下げた。なお、この
22	豊島	2号炉	休炉	H22.6.23	15:00	H22.6.23	17:43	H22.7.1	10:58	H22.7.1	18:36	不燃物抜出装置(2-2系)から不燃物等を抜き出せなくなった。片系の運転では支障が生じるため解除を試みたが、当該装置上部危急ゲート付近まで砂詰まりがあり、炉
21	ガス化・世	2号炉	休炉	H22.6.18	13:50	H22.6.19	13:22	H22.6.24	20:18	H22.6.25	10:00	ガス化溶融炉の炉内圧力制御が不安定になり、継続運転ができないため立ち下げた。
20	葛飾	2号炉	休炉	H22.6.15	10:00	H22.6.18	20:00	H22.6.23	21:18	H22.6.24	12:52	乾燥ストーカ駆動用ロッド貫通部シール用ジャバラの焼損により、燃焼空気が漏れ出した。耐火材等により補修を試みたが効果がなく、噴出し量が多くなったため焼却炉を
19	灰溶融・品	1号炉	休炉	H22.6.12	22:42	H22.6.13	10:00			H22.6.18	20:08	1破碎スラグ搬送コンベアのチェーンが破断し停止した。復旧させるまで時間を要するため、1号灰溶融炉を停止した。
18	ガス化・世	2号炉	休炉	H22.6.12	23:03	H22.6.13	4:00	H22.6.15	21:10	H22.6.16	8:35	「砂循環エレベータ電流値上限」警報が発報した。現場確認したところ、砂供給装置フラップダンパ上部の投入用切替ダンパ付近で砂が詰まっていた。詰まりを解除するた
17	中防・破碎		休炉	H22.6.4	15:00	H22.6.4	15:30	H22.6.6	12:38	H22.6.6	21:27	脱酸剤薬液配管中、脱気器への注入口付近でピンホールにより蒸気漏れが発生したので休炉した。
16	品川	1号炉	休炉	H22.5.29	22:00	H22.5.29	23:08	H22.6.8	15:45	H22.6.9	12:56	炉内監視中、主灰シュートから煙が多く発生してきたので現場確認したところ、炉後壁ガラス窓(炉前覗き窓近く)まで灰が堆積しているのを確認した。主灰シュートダンパの切替
15	光が丘	2号炉	休炉	H22.5.17	10:00	H22.5.21	8:00	H22.5.27	1:00	H22.5.27	20:00	火格子下ホッパ上部より灰が漏洩しているのを、調査・補修するため焼却炉を立ち下げた。
14	灰溶融・品	1号炉	休炉	H22.5.17	22:10	H22.5.19	9:30			H22.6.10	19:05	灰溶融炉の炉体冷却用循環冷却水の熱交換が不具合で、圧力が上昇気味となり汽水分離器用シールタンクより蒸気が噴出した。復水器ファン回転数の設定変更等試みた
13	灰溶融・足	2号炉	休炉	H22.5.18	12:24	H22.5.18	16:31			H22.5.21	16:15	2破碎スラグ搬送コンベアが「電流値高」でトリップした。現場を確認したところ、弛んだコンベア主務チェーンの片側がコンベア内に絡まっているのを発見した。補修のため灰溶融炉を休炉した。
12	灰溶融・中	2号炉	休炉	H22.4.28	20:04	H22.4.28	20:06					炉室監視モニタにて発光を確認し現場調査したところ、プラズマ直流電源用バスダクト焼損とその近辺に水砕水の漏水を確認した。休炉しこのまま定期点検補修工事に入り、その期間中に調査及び補修を行う。
11	ガス化・世	2号炉	休炉	H22.4.24	13:29	H22.4.24	18:30	H22.4.27	21:23	H22.4.28	9:44	「砂分級装置故障」警報が発報した。現場確認したところ、砂分級装置振動モータが地絡していた。補修するため立ち下げた。
10	杉並	1号炉	休炉	H22.4.23	9:02	H22.4.23	13:00	H22.4.27	13:10	H22.4.28	18:00	点検の際、ボイラ下部シュート(上流側)を触手したところ、表面温度が高い部位があることに気付いた。灰の堆積を推測し、槌打するも解消できないので焼却炉を立上げ
9	杉並	1号炉	-	H22.4.21	23:02	H22.4.21	23:10	H22.4.22	0:20	H22.4.22	4:00	1雑用空気圧縮機の電気故障(地絡)が発生し、共通常用補機C/Cの遮断器が「断」となった。これにより炉用関連機器が停止したため、焼却炉内温度制御が不可と
9	杉並	2号炉	-	H22.4.21	23:02	H22.4.21	23:10	H22.4.22	0:10	H22.4.22	1:30	
8	葛飾	ごみク	停止	H22.4.21	8:00					H22.4.24	14:57	2号ごみクレーンの油圧バケットを巻下げてごみを掴む際、給電ケーブルが4~6mほど弛む。メカにて点検したところ給電ケーブル用巻上装置の減速機故障と判明した。補修の
7	灰溶融・世	1号炉	休炉	H22.4.19	6:37	H22.4.19	6:43			H22.6.29	19:00	「1号 1プラズマ重故障」にてプラズマが失火した。現場を確認したところプラズマ電源装置の基盤に焼損した箇所を発見したので灰溶融炉を休炉した。
6	中防・破碎		休炉	H22.4.17	3:38	H22.4.17	9:30	H22.4.17	18:44	H22.4.17	21:32	砂分級装置「サーマルトリップ」が発生した。砂分級装置振動コンベアモータの電源ケーブルが振動により、断線が点検の結果判明した。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
5	新江東	1号炉	休炉	H22.4.13	9:30	H22.4.13	15:00	H22.5.18	21:40	H22.5.20	0:20	燃焼ストーカ駆動装置の炉体ケーシング貫通シール部のジャバラが損傷し、灰等が漏れているのを点検で発見した。補修のため焼却炉を立ち下げた。
4	ガス化・世田谷	1号炉	休炉	H22.4.11	13:50	H22.4.11	17:11	H22.4.15	21:13	H22.4.16	9:30	「破碎ごみフラップダンパ上渋滞」警報が発報した。現場確認したところ、ダンパ駆動アーム部根元破断のため開閉動作不可となる。補修するため休炉した。
3	杉並	2号炉	-	H22.4.11	0:00	H22.4.11	0:10	H22.4.11	9:45	H22.4.11	18:00	燃焼ストーカが停止したため、継続運転ができないので焼却炉を立ち下げた。
2	新江東	共通	休炉	H22.4.3	9:23	H22.4.3	10:43	H22.4.5	15:00	H22.4.6	9:59	1排気復水ポンプ(B)の絶縁不良で「非常用動力低圧フィーダ」が地絡を検出して遮断した。運転中の1・2号焼却炉のうち、非常停止後の再立上げ操作で時間を要し
1	品川	2号炉	休炉	H22.3.28	0:36	H22.4.2	15:00	H22.4.12	10:40	H22.4.13	6:18	「乾燥ストーカ渋滞(右・左列)」の警報が発報しつつ、様子を見ながら運転をしていたが、十分なストロークがなくなったため焼却炉を停止した。
平成21年度(2009年度)												
83	足立	1号炉	休炉	H22.3.29	4:27	H22.3.29	10:15	H22.4.1	19:35	H22.4.2	22:12	3燃焼1-2帯の「ストーカリミット異常(サイクルタイムオーバー)」警報がストーカ動作の度発報した。点検窓より炉内を確認したところ、後燃焼ストーカ上に脱落した
82	渋谷	1号炉	休炉	H22.3.24	22:24	H22.3.24	22:24	H22.3.25	13:39	H22.3.25	18:22	「炉内圧高」の警報が発報し、インターロックにより焼却炉が非常停止したので調査する。また、蒸発量が確保できないため、蒸気タービンを停止した。
81	ガス化・世田谷	1号炉	休炉	H22.3.16	4:56	H22.3.16	8:33	H22.3.26	21:10	H22.3.27	11:44	水分を多量に含んだ砂の影響で「不燃物・鉄分搬送コンベア過トルク」の警報が発生した。解除・調査するため休炉した。
80	杉並	1号炉	-	H22.3.5	9:30	H22.3.15	9:30	H22.3.15	15:40	H22.3.16	0:00	機器月例点検で幾分高めの振動測定値の結果があった以降、ファンのベース取付ボルトの増締め等実施し、経過観察してきたが次第に振動が増大し、継続の運転が困
79	千歳	1号炉	-	H22.3.6	13:23	H22.3.6	14:50	H22.3.6	19:30	H22.3.6	20:43	ストーカ制御用のシーケンサ異常により、ごみフィーダ及び各ストーカが運転不能となったため、蒸気タービン発電機及び焼却炉を立下げた。
78	大田第一	3号炉	休炉	H22.2.28	10:43	H22.2.28	14:01	H22.3.1	20:07	H22.3.2	12:47	「灰搬出コンベア(2)故障」警報が発報。コンベアチェーンの変形及びリンクプレート脱落により補修のため、稼働中の2号炉及び蒸気タービン発電機を立下げた。
78	大田第一	2号炉	休炉	H22.2.28	10:43	H22.2.28	13:59	H22.3.1	20:07			「灰搬出コンベア(2)故障」警報が発報。コンベアチェーンの変形及びリンクプレート脱落により補修のため、稼働中の2号炉及び蒸気タービン発電機を立下げた。
77	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H22.2.26	21:15	H22.2.26	21:42	H22.3.4	20:58	H22.3.6	3:05	溶融スラグ室 Bの出滓口が閉塞したので解除するため、溶融炉を休炉した。
76	多摩川	2号炉	休炉	H22.2.3	15:00	H22.2.9	16:47	H22.2.12	22:22	H22.2.13	9:59	回転ストーカ炉ロータリージョイントのドレン配管より蒸気漏えいのため、休炉し補修する。
75	足立	2号炉	休炉	H22.11.6	14:00	H22.2.5	15:00	H22.2.25	18:17	H22.2.26	11:05	21年度定期点検補修で誘引ファン流体継手の軸ずれが判明した。部品交換での補修が必要なため補修準備が整うまで、軸振動・異音の監視を強化し運転を継続した。この度、補修準備が整ったので休炉し補修する。
74	豊島	1号炉	休炉	H22.1.22	17:05	H22.1.22	18:44	H22.1.28	9:40	H22.1.28	17:01	ボイラ上部ケーシングの隙間から水蒸気が漏洩しているため調査したところ、過熱低減器給水配管フランジ部からの水漏れを発見した。当該箇所はボイラケーシング内にあるため、焼却炉を立下げて補修する。
73	杉並	1号炉	-	H22.1.18	22:30	H22.1.19	4:45	H22.1.19	16:30	H22.1.20	3:20	飛灰搬送装置、「リフトタンク下部閉塞」警報が発報したので、外部より槌打作業を試みたが解除できず、飛灰搬送が不可能となったため焼却炉を立下げた。
72	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H22.1.17	4:45	H22.1.17	10:05	H22.2.11	20:50	H22.2.15	2:54	溶融排ガス冷却器のロータリースクレーバが過負荷で停止したため、灰溶融炉を停止した。
71	灰溶融・足立	1号炉	休炉	H22.1.15	15:10	H22.1.15	15:15					計画停止するため傾動作業中、出滓口下部のスラグシュートに破孔が生じたので灰溶融炉を緊急停止した。なお、このまま計画停止し補修する。
70	多摩川	共通	停止	H21.12.30	17:54					H22.1.6	19:30	2直時点検のため、ごみクレーンA号機の油圧バケットをホップステージに格納しようとしたところ、「ケーブルリール用MCCB(ブレーカ)断」の警報が発報した。リセット操作を試みたが復旧

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
69	灰溶融・中	2号炉	休炉	H21.12.19	19:23	H21.12.19	19:23					プラズマ重故障警報「主電極プラズマ電圧H」発報時、中制室監視モニタにて炉天井部でスパーク確認及び溶融炉非常停止した。スパークの発生により、大天井フランジ部が破損し、炉蓋冷却用冷却水が漏水した。なお、このまま定期点検補修(H220116
68	千歳	1号炉	休炉	H21.12.18	9:00	H21.12.18	16:31	H21.12.20	20:07	H21.12.21	16:50	油圧駆動式ごみフィーダ(中央部)の車輪が一部、異音を発し回転不能となり継続的な運転が
67	光が丘	2号炉	休炉	H21.12.12	11:00	H21.12.12	20:00	H21.12.16	1:00	H21.12.16	18:00	点検時、ボイラ下シュート(上流側)を触手により、ケーシング表面温度が一部低いことに気付いた。灰の堆積を推測し、槌打するも解消できないので焼却炉を立下げた。
66	中防・破碎		休炉	H21.12.10	14:30	H21.12.10	17:01	H21.12.22	0:00	H21.12.22	11:12	炉床温度を管理する温度指示値が3点すべて指示不良となり、炉床温度制御が困難になったため、炉を立下げた。
65	世田谷	1号炉	休炉	H21.12.8	15:00	H21.12.9	4:04	H21.12.9	12:25	H21.12.9	16:57	巡回点検中、3 燃焼溶融炉用空気ダクトより漏れを発見した。補修するため焼却炉を停止した。
64	豊島	2号炉	休炉	H21.12.8	11:00	H21.12.8	15:13	H21.12.23	13:26	H21.12.23	21:32	炉床温度にばらつきと低下現象が現れ、散気管圧力も低下し始めた。以後流動層の流動不良が生じており、回復しないため焼却炉を停止した。
63	大田第一	3号炉	休炉	H21.12.4	22:37	H21.12.5	11:34	H21.12.10	12:28	H21.12.11	6:01	飛灰空気輸送装置の故障警報が発報したため、現場確認したところ輸送タンク上部の「投入ホッパレベルH」が発生。原因はホッパ下部の投入弁動作不良と推定され補修のため、炉を立下げた。
62	灰溶融・世	1号炉	休炉	H21.12.2	6:15	H21.12.2	6:15			H21.12.7	16:00	「炉底電極アース電流上限」警報が発報し、プラズマトーチがインターロックで停止したので調査する。
61	板橋	2号炉	休炉	H21.11.19	1:30	H21.11.20	19:22	H21.11.30	18:27	H21.12.1	12:56	煙突入口ばいじん濃度計の指示値が自己規制値を超過したためごみ焼却を停止した。調査の結果、蒸気式再加熱器の蒸気漏れが発見され、数値上昇の原因と判明したので直ちに焼却炉を停止した。
60	大田第一	3号炉	休炉	H21.11.17	2:38	H21.11.17	10:55	H21.11.19	12:18	H21.11.20	5:35	主灰シュートレベル「L」警報が発報したため現場確認したところ、灰の堆積が確認された。中央制御室より遠隔操作にてブリッジ解除装置を運転したが、解除できなかったため炉を立下げた。
59	世田谷	2号炉	休炉	H21.11.12	6:45	H21.11.12	11:55	H21.11.14	8:36	H21.11.14	18:16	巡回点検にて、スラグ排出コンベアチェーン・リンクの片側が破断及びもう一方が駆動側スプロケットから脱落し、空運転しているのを発見した。補修するため焼却炉を
58	世田谷	1号炉	休炉	H21.11.3	11:00	H21.11.10	10:10	H21.11.27	20:42	H21.11.28	13:39	ボイラ二次燃焼室用ダスト排出コンベアよりダストが排出しない。二次燃焼室下部の詰まりであると判断し、炉を停止した。
57	世田谷	1号炉	休炉	H21.11.5	22:05	H21.11.5	23:28	H21.11.6	12:49	H21.11.6	14:58	破碎ごみ搬送装置及び上流側破碎ごみホッパシュート部でごみブリッジが発生したので解除するため休炉した。
56	葛飾	1号炉	休炉	H21.11.2	1:50	H21.11.2	3:15	H21.11.4	20:50	H21.11.5	12:28	主灰搬出装置「機器異常」警報発報。プッシュストロークが前進端まで運転していないことを確認。非常灰バンカシステムへのシュート詰まりと推測し、解除するため焼却炉を
55	豊島	2号炉	休炉	H21.10.25	3:44	H21.10.25	6:44	H21.10.28	9:59	H21.10.28	16:02	給じん機のバドル装置が「給じん機電気故障」警報でトリップした。給じん機内のごみを取除き、再起動操作するが運転できず。調査・補修するため焼却炉を立下げた。
54	中防・破碎		休炉	H21.10.24	15:00	H21.10.24	15:53	H21.10.27	3:00	H21.10.27	11:40	砂分級装置のリグロフェロー(板ばね)が破損しているのを発見した。このままでは、運転継続は困難と判断し補修するため炉停止した。
53	世田谷	2号炉	休炉	H21.10.24	7:00	H21.10.24	11:20	H21.10.29	20:37	H21.10.30	8:41	不燃物搬出装置のスクリー軸受部より砂の流出が止まらなくなった。軸受部グランドパッキンの損耗と思われる。補修するため休炉した。
52	灰溶融・葛	1号炉	休炉	H21.10.15	15:05	H21.10.15	17:00					低負荷運転のため溶融燃焼室温度が安定せず、燃焼室に付着していたダスト(クリンカ状)が多量に落下した。このため溶融燃焼室ダストコンベアが過負荷でトリップし運転不能となり、溶融飛灰の搬出ができなくなったため炉停止した。このまま計画停止
51	目黒	T/G	停止	H21.10.14	16:10	H21.10.14	16:10	H21.10.23	11:38	H21.10.23	14:21	タービン発電機立上げ中、東京電力(株)との同期投入後「周波数低」警報が発報し、発電機が解列した。調査の結果、周波数継電器の故障とわかり、蒸気タービンを立下
50	足立	1号炉	休炉	H21.10.13	0:48	H21.10.13	9:51	H21.10.15	19:15	H21.10.16	11:22	2 自工場主灰コンベアがトリップした。調査したところ、コンベア内より火格子を発見したので、復旧するため焼却炉を立下げた。
49	板橋	2号炉	休炉	H21.10.11	21:37	H21.10.12	17:40	H21.10.17	15:41	H21.10.18	9:33	自工場飛灰集合コンベア(B)がトリップした。コンベアチェーン・スクレーバ及びケーシング破損により故障。整備係にてチェーン交換等の処置を講じたが、復旧に至らず。現状での復旧は困難と判断し清掃工場と連携し、清掃工場と連携し、清掃工場故障週報」情報開示請求資料から作成

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
48	目黒	2号炉	休炉	H21.10.10	15:00	H21.10.10	21:00	H21.10.12	19:15	H21.10.13	16:17	蒸気式ガス再加熱器用ドレンタンクから脱気器へのドレン戻り配管にピンホールが発生し、蒸気漏れが激しくなったため焼却炉を停止した。
47	灰溶融・中	2号炉	休炉	H21.10.6	10:30	H21.10.6	10:30			H21.11.17	17:54	溶融スラグ出滓口廻りの定常はつり作業中、出滓口カバーから漏水を発見した。調査・補修するため溶融炉を停止した。
46	世田谷	1号炉	休炉	H21.10.6	17:00	H21.10.6	21:33	H21.10.9	22:03	H21.10.10	9:15	不燃物排出装置のスクリー軸受部より砂の噴出があった。軸受部グランドパッキンの損耗と思われる、補修するため休炉した。
45	灰溶融・足	2号炉	休炉	H21.10.5	16:20	H21.10.5	20:20			H21.10.8	2:30	スラグ処理設備の水砕水槽コンベアが過負荷にてトリップした。コンベアの運転が再開できないのでスラグの搬送が不能のため休炉した。
44	中防・破碎		休炉	H21.9.22	23:33	H21.9.23	1:10	H21.10.2	4:00	H21.10.2	16:10	砂供給槽出口付近で不燃物による閉塞が生じたため、焼却炉へ砂供給することができなくなり、炉停止した。
43	品川	2号炉	休炉	H21.9.19	23:42	H21.9.20	2:40	H21.9.21	18:24	H21.9.22	14:02	ストーカ下コンベアの落口から非常時主灰搬出装置にかけて灰が堆積・詰まりが発生し、灰の搬送ができないため焼却炉を停止した。
42	世田谷	1号炉	休炉	H21.9.13	10:47	H21.9.13	15:14	H21.9.16	0:45	H21.9.16	11:05	「砂循環エレベータ電流上限値」の故障警報が発報した。点検後、砂循環エレベータを再起動するも閉塞箇所あるため運転できず。閉塞箇所を解除するため焼却炉を断続的な保持運転で様子を見ていたが、出滓樋での溶融スラグの固着・堆積が重なり、閉塞状態となったため立下げた。なお、このまま計画停止に入る。
40	足立	2号炉	休炉	H21.9.2	17:26	H21.9.2	21:12	H21.9.5	18:56	H21.9.6	11:22	「1灰押出装置、燃焼帯ストーカ下二重ダンパ故障」警報で、ストーカの脱落により灰搬出不良、金属類・焼却灰等の落下を確認した。補修するため焼却炉を立下げ
39	豊島	1号炉	休炉	H21.8.29	8:15	H21.8.29	9:31	H21.9.4	13:53	H21.9.4	19:38	不燃物を灰バンカ(A)または(B)に振分ける焼却灰振分コンベアのガイドレールが脱落した。片方向の運転は支障ないが、両方向の運転が必要のため、休炉して補修する。
38	大田第一	2号炉	休炉	H21.8.24	16:10	H21.8.27	17:20					「灰搬出コンベア(2)故障」警報発報。コンベアの主務チェーンリンクがスプロケットから脱落し変形したので補修のため休炉した。なお、このまま定期点検補修工事に入り
37	中防・破碎		休炉	H21.8.24	3:05	H21.8.24	4:53	H21.9.11	2:00	H21.9.11	15:20	リグロフェロー(板ばね)が破損したため砂分級装置が停止した。砂の循環及び不燃物の排出が不可能となったために炉を立下げた。
36	港	2号炉	休炉	H21.8.13	17:48	H21.8.13	20:30	H21.8.18	10:25	H21.8.18	22:38	飛灰搬送用切替コンベヤが「電流値上限」警報で停止した。調査の結果、反応蒸発塔内噴霧ノズルからの水噴霧状態不良により、切替コンベヤケース内に飛灰が固着したので、復旧するため焼却炉を立下げた。
35	新江東	1号炉	休炉	H21.8.7	2:19	H21.8.7	10:04	H21.8.12	20:50	H21.8.13	16:49	1ボイラダストコンベア(R)のトルクリミッタが作動し停止した。復旧操作を試みるが運転できないため焼却炉を立下げた。
34	世田谷	2号炉	休炉	H21.8.2	6:40	H21.8.2	11:32	H21.8.3	20:48	H21.8.4	8:41	「砂循環エレベータ故障」発報によりコンベアが停止した。復旧できないため焼却炉を立下げた。
33	目黒	1号炉	休炉	H21.7.29	8:57	H21.8.1	0:00	H21.8.7	19:15	H21.8.8	15:18	後燃焼右側壁の耐火物が剥離(およそ1㎡)したため焼却炉を停止した。
32	品川	1号炉	休炉	H21.7.24	11:22	H21.7.24	12:50	H21.7.31	14:39	H21.8.1	11:16	1ボイラ灰搬出コンベアチェーンが破断し、コンベアが稼働できないため焼却炉を停止した。
31	灰溶融・世	2号炉	休炉	H21.7.20	15:00	H21.7.20	11:00			H21.7.24	16:00	保全作業のため溶融炉を傾動しプラズマを停止した。炉内温度が下がった後点検口より確認したところ、炉蓋排気口部分の脱落を発見した。保全作業とあわせ補修を実施
30	灰溶融・品	1号炉	休炉	H21.7.16	0:20	H21.7.16	0:46					スラグ搬送コンベアチェーンのリンクプレートが変形し、スプロケットから脱落してコンベアが稼働できないため溶融炉を停止した。なお、このまま定期保全に入る。
29	足立	ごみク	停止	H21.7.15	11:31					H21.7.15	13:44	1・2・3号ごみクレーンの制御異常により緊急停止操作にてクレーンを停止した。
28	灰溶融・足	1号炉	休炉	H21.7.11	13:05	H21.7.11	14:20					点検時に、灰溶融炉の炉蓋の一部に浮き上がりを発見したので、調査・補修のため休炉した。 【調査(故障原因の究明及び補修要領)が確定したので9月30日から開始した定期点
27	千歳	1号炉	休炉	H21.7.8	9:30	H21.7.12	5:00	H21.7.13	19:30	H21.7.14	18:02	乾燥(右)ストーカ駆動装置のロッドシール部シールボックスのシール不良及びジャバラ破損のため焼却炉を立下げた。
26	足立	1号炉	休炉	H21.7.6	0:13	H21.7.6	6:20	H21.7.9	16:58	H21.7.10	9:07	2ラン燃焼2-2帯ストーカの1箇所が脱落した。 補修のため焼却炉を立下げた。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
25	世田谷	1号炉	休炉	H21.6.30	23:07	H21.7.1	1:11	H21.7.2	21:31	H21.7.3	10:11	「1不燃物搬送コンベア過トルク」の警報でコンベアが停止した。点検したところ、スプロケット(反駆動側)からチェーン・リンクが脱落しており、補修するため休炉した。
24	灰溶融・足	2号炉	休炉	H21.6.28	20:20	H21.6.29	13:02			H21.7.1	17:30	ろ過式集じん機下のロータリースクレーパーが過負荷でトリップした。点検口より著しい灰の堆積を確認し、解除作業をするため溶融炉を停止した。
23	中央	2号炉	休炉	H21.6.29	8:20	H21.6.29	15:00	H21.7.6	13:24	H21.7.7	9:09	ボイラ前面水管下部管寄せ(右)付きドレン弁(20A)本体のフランジ溶接部ピンホールより蒸気が漏れ、安全を確保するため焼却炉を立上げてドレン弁を交換する。
22	新江東	3号炉	休炉	H21.6.29	3:36	H21.6.29	4:28	H21.6.29	14:50	H21.6.30	1:43	「エコマイガスト搬送コンベア(R)電流値上限」警報で現場確認したところ、コンベア内に灰が堆積していた。また、コンベアの下部シュートも詰まっており、解除作業を行ったが短時間で復旧できないため焼却炉を立下げた。
21	目黒	1号炉	休炉	H21.6.24	20:00	H21.6.25	17:00	H21.7.8	19:28	H21.7.9	15:35	2直点検時に、乾燥火格子下シュートが閉塞しているのを発見。調査の結果、シュート内完全閉塞と判断し、焼却炉を停止した。
20	杉並	共通	停止	H21.6.19	14:30					H21.6.25		1号ごみクレーン運転中に異音が発生したので点検したところ、巻上げドラム用軸受(反減速機側)破損を確認したので使用を中止した。
19	豊島	T/G	停止	H21.6.19	10:00	H21.6.19	14:00	H21.6.23	10:53	H21.6.23	12:51	蒸気タービン減速機の軸封部から油漏れが確認されたため、調査と補修のために蒸気タービン発電機を停止した。
18	杉並	2号炉	休炉	H21.6.17	18:00	H21.6.18	13:00	H21.7.8	14:00	H21.7.9	16:25	炉内圧力の変動に伴う、誘引ファンの負荷が増大したため焼却炉を立下げた。(先に停止・復旧した1号炉と同様な現象(ボイラ水管、水平蒸気管のダスト付着による閉
17	新江東	3号炉	休炉	H21.6.12	16:00	H21.6.12	21:00	H21.6.17	21:00	H21.6.18	12:15	蒸気式空気予熱器(SAH)のドレン配管中、脱気器入口にある仕切弁のボンネット部より蒸気漏れを確認した。増締めすれども漏れとまらず補修するため休炉した。
16	豊島	1号炉	休炉	H21.6.11	11:00	H21.6.11	14:00	H21.6.12	17:18	H21.6.12	20:15	排ガス洗浄塔入口ダンプ点検用マンホールより排ガスの漏れを確認した。マンホールの腐食が考えられ、炉を停止して補修する必要があると判断し、1号炉を立下げ
15	豊島	共通	休炉	H21.6.8	5:29	H21.6.8	5:29	H21.6.8	7:44	H21.6.8	8:39	東京電力の原因で送電線の電圧低下が発生。電気設備の受電用主変圧器二次遮断器(52S)がトリップした。前日に蒸気タービン発電機が故障で停止していたため、1号焼却炉が非常停止となった。
14	豊島	共通	停止	H21.6.7	8:47	H21.6.7	8:48	H21.6.9	13:38	H21.6.9	15:35	蒸気タービン発電機AVR(自動電圧調整器)に発電機電圧を下げ方向の信号が継続して入力されたため、「AVR軽故障」が発報、その直後に界磁喪失継電器が動作した。その結果、「発電機重故障」でタービンがトリップした。(1号炉は運転中、2号炉は
13	中防・破碎		休炉	H21.6.5	18:27	H21.6.5	18:28	H21.6.11	2:00	H21.6.11	13:02	計装・自動制御設備の400V用一般動力系統のうち、ごみ供給機等焼却設備のシーケンサ電源ユニットが故障し、機器が停止した。中央操作卓より機器の操作が不能の
12	灰溶融・品	1号炉	休炉	H21.6.2	3:30	H21.6.2	6:01	H21.6.7	10:00	H21.6.8	13:15	溶融炉本体の前壁冷却水ヘッダー部より水漏れが発生したため、溶融炉を停止した。
11	北	1号炉	休炉	H21.4.28	14:00	H21.5.15	16:00	H21.6.1	18:32	H21.6.2	12:15	給じん装置(フィードテーブル)の先端鑄物冷却用冷却水が漏れいしているため、補修のため焼却炉を停止した。
10	新江東	3号炉	休炉	H21.5.10	11:30	H21.5.10	15:12	H21.5.11	18:00	H21.5.12	17:31	蒸気式空気余熱器(SAH)の戻り蒸気配管中、脱気器入口にある仕切弁フランジ部より蒸気漏れが発生したので休炉した。
9	光が丘	1号炉	休炉	H21.5.9	0:20	H21.5.9	2:50	H21.5.11	1:00	H21.5.11	18:06	No.1ボイラ下ロータリーバブルが過負荷にてトリップした。再起動しても運転できず焼却炉を立下げた。
8	大田第一	1号炉	休炉	H21.4.24	19:42	H21.4.24	22:04	H21.4.28	12:19	H21.4.29	4:52	灰搬送コンベア(1)の底板・スクレーパ間に鉄パイプが噛込み過負荷にて停止した。コンベアチェーンリンクも変形しており焼却炉を立下げた。
		2号炉		H21.4.24	19:42	H21.4.25	0:42	H21.4.27	12:29	H21.4.28	7:23	
7	大田第一	1号炉	休炉	H21.4.21	15:10	H21.4.21	15:33	H21.4.23	16:10	H21.4.24	7:50	「電子計算機分電盤」内、排ガス分析計系統の主幹ケーブル端子部が赤熱し、周辺絶縁部が損傷した。調査・補修するには主電源を「断」するため連続測定が不能になるので焼却炉を停止した。
		2号炉		H21.4.21	15:10	H21.4.21	15:10	H21.4.22	18:00	H21.4.23	14:37	
		3号炉		H21.4.21	15:10	H21.4.21	15:10			H21.4.21	18:35	

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				日	時	日	時	日	時	日	時	
6	ガス化・世田	2号炉	休炉	H21.4.13	16:32	H21.4.13	21:10	H21.4.23	21:28	H21.4.24	9:55	点検時、砂供給装置フラップダンパの不調な動きを発見した。強制的にダンパ動かすも改善されず、炉への砂供給ができないため休炉した。
5	杉並	1号炉	休炉	H21.4.7	17:00	H21.4.8	9:00	H21.4.23	14:00	H21.4.24	14:20	炉内圧力が不安定となり、誘引ファンの負荷が増大したため焼却炉を立下げた。
4	千歳	1号炉	休炉	H21.4.6	9:30	H21.4.6	10:27	H21.4.8	0:18	H21.4.8	19:09	燃焼(右)ストーカ駆動装置のロッドシール部・押さえプレート破損のため、焼却炉を立下げた。
3	江戸川	1号炉	休炉	H21.4.4	8:00	H21.4.4	17:30					燃焼ストーカ異物噛込みの可能性により、ストーカ動作に支障をきたしたため焼却炉を立下げた。なお、このまま定期点検補修工事に入る。
2	光が丘	1号炉	休炉	H21.4.2	14:15	H21.4.2	16:10	H21.4.7	1:00	H21.4.7	19:40	主灰シュート部に直径10cm程の穴あきを発見した。主灰がこぼれ落ちるため休炉し、補修を行う。
1	練馬	2号炉	休炉	H21.4.1	11:00	H21.4.1	17:55	H21.4.3	18:40	H21.4.4	7:15	No.1燃焼ストーカ下空気流量が減少したため調査したところ、ホッパ及びシュート部に焼却灰の堆積を確認した。解除のため焼却炉を立下げた。
117	品川	2号炉	休炉	H21.3.31	15:41	H21.3.31	18:00	H21.4.1	19:10	H21.4.2	13:42	「ストーカ下コンベア故障」警報発報。点検したところ、駆動用モータが回転不能なため焼却炉を停止した。
114	灰溶融・品	1号炉	休炉	H21.3.16	14:30	H21.3.21	22:00			H21.4.12	13:33	熔融空気予熱器自動清掃装置の駆動ギアより異音、また軸も異音と同じタイミングで不規則な動きをしており、さらに排ガスの漏れも発生しているのを点検時発見した
113	灰溶融・葛	1号炉	休炉	H21.3.22	15:50	H21.3.22	19:20			H21.4.12	7:00	スラグ出滓口の左側銅ブロック温度計の指示値が上上限を超え、インターロックで熔融炉が非常停止した。温度計故障(断線)と判断し、一旦立上げメタル抜き後に通常停止
101	灰溶融・足	2号炉	休炉	H21.1.22	0:33	H21.1.22	0:33	H21.3.31	15:45	H21.4.8	16:50	灰溶融炉プラズマトーチ移動装置がトーチ用シール装置と干渉し、トーチを所定の運転位置に設置できないので、調査するため休炉した。
77	灰溶融・中	4号炉	休炉	H20.11.12	19:45	H20.11.12	20:51			H21.5.4	9:19	主電極継ぎ足し後、着火時に主電極小天井へのスパークを確認した。点検・調査のため熔融炉を停止した。
平成20年度(2008年度)												
77	灰溶融・中	4号炉	休炉	H20.11.12	19:45	H20.11.12	20:51			H21.5.4	9:19	主電極継ぎ足し後、着火時に主電極小天井へのスパークを確認した。点検・調査のため熔融炉を停止した。
101	灰溶融・足	2号炉	休炉	H21.1.22	0:33	H21.1.22	0:33	H21.3.31	15:45	H21.4.8	16:50	灰溶融炉プラズマトーチ移動装置がトーチ用シール装置と干渉し、トーチを所定の運転位置に設置できないので、調査するため休炉した。
113	灰溶融・葛	1号炉	休炉	H21.3.22	15:50	H21.3.22	19:20			H21.4.12	7:00	スラグ出滓口の左側銅ブロック温度計の指示値が上上限を超え、インターロックで熔融炉が非常停止した。温度計故障(断線)と判断し、一旦立上げメタル抜き後に通常停止
114	灰溶融・品	1号炉	休炉	H21.3.16	14:30	H21.3.21	22:00			H21.4.12	13:33	熔融空気予熱器自動清掃装置の駆動ギアより異音、また軸も異音と同じタイミングで不規則な動きをしており、さらに排ガスの漏れも発生しているのを点検時発見した
115	灰溶融・品	2号炉	休炉	H21.3.22	2:30	H21.3.22	5:40			H21.3.28	13:11	熔融排ガスファン本体より振動が発生。測定したところ、定常点検時の測定データより高い値であったため、調査・補修するため休炉した。
116	足立	1号炉	休炉	H21.3.26	17:29	H21.3.26	20:57	H21.3.30	19:36	H21.3.31	9:52	3ラン燃焼1-2帯ストーカの1箇所が脱落した。ストーカ下二重ダンパ部のブリッジにより二重ダンパ動作不具合の発見による。ブリッジの解除及び火格子補修のため焼却炉を立下げた。
117	品川	2号炉	休炉	H21.3.31	15:41	H21.3.31	18:00	H21.4.1	19:10	H21.4.2	13:42	「ストーカ下コンベア故障」警報発報。点検したところ、駆動用モータが回転不能なため焼却炉を停止した。
111	大田第一	3号炉	休炉	H21.3.17	21:54	H21.3.17	23:13	H21.3.26	12:31	H21.3.27	8:29	各炉共通系の灰搬出コンベア(1)の主務チェーンが従動側スプロケットより脱落・破断したため、1炉運転中の3号炉を停止した。
112	千歳	1号炉	休炉	H21.3.18	12:30	H21.3.18	13:00	H21.3.22	18:00	H21.3.23	14:46	ボイラ下ダストコンベアからのダストシュートで灰詰まりが発生した。詰まり解除のため焼却炉を立下げた。
106	江戸川	2号炉	休炉	H21.3.6	19:34	H21.3.6	21:48	H21.3.9	18:55	H21.3.10	13:05	後燃焼ストーカ用油圧シリンダー(右)からの油漏れがひどく、ストーカ動作に支障をきたしたため、焼却炉を立下げた。
107	目黒	1号炉	休炉	H21.3.4	12:00	H21.3.7	0:04	H21.3.11	19:12	H21.3.12	17:20	蒸気式ガス再加熱器戻り配管中のバルブ弁体から蒸気漏れのため、焼却炉を立下げた。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				発生日時	発生日時	立下日時	立下日時	立上日時	立上日時	復旧日時	復旧日時	
108	ガス化・世	共通	停止	H21.2.21	16:50	H21.3.7	22:00	H21.3.13	14:10	H21.3.13	14:57	蒸気タービン加減弁蓋の水平面等から蒸気漏れがあることを確認した。補修のため蒸気タービン発電機を停止した。
109	ガス化・世	1号炉	休炉	H21.3.8	16:49	H21.3.8	19:08	H21.3.11	20:44	H21.3.12	8:18	[不燃物抜出装置故障]が発報した。正転・逆転等試みたが復旧しないため休炉した。
110	灰溶融・多	1号炉	休炉	H21.3.12	0:00	H21.3.12	1:40					溶融炉回転装置からの異音で、受け用ガイドローラ(1箇所)が破損していたため溶融炉を休炉した。なおこのまま月例保全に入る。
104	足立	2号炉	休炉	H21.2.14	12:50	H21.2.14	16:40	H21.2.17	14:43	H21.2.18	7:44	ごみ供給装置の先端鋳物(固定)が外れ脱落したため補修のため休炉した。
105	新江東	2号炉	休炉	H21.2.19	1:15	H21.2.19	1:56	H21.2.19	18:27	H21.2.20	6:46	エコノマイザダスト搬送コンベア(R)がトルクリミット作動した。点検口からコンベアチェーンが切断しているのを発見した。補修のため焼却炉を立下げた。
100	豊島	1号炉	休炉	H21.1.30	13:30	H21.2.1	18:11	H21.2.11	22:38	H21.2.12	7:39	減温塔ダスト排出口の閉塞及びダスト排出スクレーバ過電流多発のため焼却炉を停止した。
103	足立	1号炉	休炉	H21.2.7	8:50	H21.2.7	11:18	H21.2.12	14:46	H21.2.13	7:07	燃焼帯ストーカ(2)の火格子(1枚)が外れ脱落した。補修のため焼却炉を立下げた。
99	港	1号炉	休炉	H21.1.30	20:00	H21.1.31	12:06	H21.2.3	21:00	H21.2.4	10:40	ろ過式集じん機ダストコンベアが過電流で停止。また、ロータリバルブからは異音が発生しており、内部点検・補修のため休炉した。
102	灰溶融・品	2号炉	休炉	H21.2.3	16:10	H21.2.3	16:33			H21.2.6	21:59	溶融スラグ室B出滓口から水砕水槽落口までの中間部に溶融スラグがづら状に生成・堆積したため溶融炉を停止した。
98	灰溶融・品	1号炉	休炉	H21.1.17	17:35	H21.1.17	21:38	H21.1.19	19:00	H21.1.21	0:00	溶融スラグ室B出滓口から水砕水槽落口までの中間部に溶融スラグがづら状に生成・堆積したため溶融炉を停止した。
76	灰溶融・世	1号炉	休炉	H20.11.11	19:26	H20.11.11	19:40			H21.1.14	13:10	溶融炉本体底部鉄皮部分が赤熱したため休炉した。
90	千歳	1号炉	休炉	H20.12.24	20:27	H20.12.24	20:30	H21.1.16	13:25	H21.1.17	21:25	燃焼室側壁水管付近より炉室に蒸気が噴出し充満、ITVモニターでボイラドラム水位(空)確認、緊急停止操作を実施した。
96	江戸川	2号炉	休炉	H21.1.13	9:40	H21.1.13	11:25					炉体左側、スタートバーナー付近の炉体ケーシングより水漏れが発見された、ボイラ水管からの漏れが懸念されるため休炉した。このまま中間点検に入る。
97	港	1号炉	停止	H21.1.13	12:08	H21.1.13	12:08	H21.1.14	16:57	H21.1.14	18:32	蒸気タービンの蒸気加減弁に付随する連結片が折損したため、蒸気加減弁が動作不良となり蒸気タービン発電機を停止した。
97	港	2号炉	停止	H21.1.13	12:08	H21.1.13	12:08	H21.1.14	16:57	H21.1.14	18:32	蒸気タービンの蒸気加減弁に付随する連結片が折損したため、蒸気加減弁が動作不良となり蒸気タービン発電機を停止した。
93	足立	2号炉	休炉	H20.12.31	16:58	H21.1.1	9:45	H21.1.7	15:38	H21.1.8	7:24	燃焼帯火格子下ダンパ下部で詰まり解除作業中、金属音が発生したため点検により火格子の浮き上がりを発見した。補修のため焼却炉を立下げた。
94	杉並	2号炉		H20.12.29	20:40	H20.12.30	1:40			H20.12.30	4:15	第二乾燥ストーカに異物が噛込み、継続運転が不能となったため焼却炉を立下げた。(立下げの途中でストーカが正常復帰し、焼却炉運転に支障ないと判断し、焼却炉
95	大田第一	1号炉	休炉	H21.1.1	20:20	H21.1.2	1:57	H21.1.5	12:41	H21.1.6	6:39	「灰搬出コンベア(1)故障」警報が発報。現場にて運転を試みたが再度警報と同時に停止した。再点検の結果、リターン側スプロケット部でコンベアチェーンが脱落してお
95	大田第一	2号炉	休炉	H21.1.1	20:20	H21.1.1	20:20	H21.1.4	12:26	H21.1.5	8:04	「灰搬出コンベア(1)故障」警報が発報。現場にて運転を試みたが再度警報と同時に停止した。再点検の結果、リターン側スプロケット部でコンベアチェーンが脱落してお
85	灰溶融・品	1号炉	休炉	H20.12.8	12:00	H20.12.8	13:07			H20.12.23	12:38	溶融排ガス煙道に設置の空気余熱器入口の伸縮継手が破損し、ガス漏えいが発生したので溶融炉を停止した。
86	豊島	2号炉	休炉	H20.12.14	4:28	H20.12.15	16:36	H20.12.24	17:30	H20.12.25	3:01	ボイラダスト投入装置が過負荷により停止した。ここより上流側の過熱期ダスト搬出装置まで灰の詰まりが考えられるため、焼却炉を停止した。
88	新江東	1号炉	休炉	H20.12.20	11:00	H20.12.20	15:00	H20.12.26	16:39	H20.12.27	6:28	No.1及びNo.2減温塔下のダストコンベアへ灰の搬出がないことが確認されたため、調査及び詰まりの解除を行うため焼却炉を立下げた。
89	港	2号炉	休炉	H20.12.22	5:47	H20.12.22	10:20	H20.12.26	21:00	H20.12.27	10:16	反応蒸発塔の水噴霧状態不良により、飛灰の搬送ラインに水が流入したため切替コンベア「電流上限値」警報で停止した。搬送不能となり、焼却炉を停止した。
91	豊島	2号炉	-	H20.12.26	11:41	H20.12.26	11:52	H20.12.26	15:02	H20.12.26	18:53	給じん機付ブリッジ解除装置(エア駆動式)のロッド先端金物が脱落した。ごみの安定供給ができないため焼却炉を立下げた。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
92	中防・破碎		休炉	H20.12.27	13:10	H20.12.27	15:25					砂循環設備の砂投入シュート(炉入口付近)で閉塞し、砂の供給ができなくなったため焼却炉を立下げた。なおこのまま定期点検補修工事に入る。
84	灰溶融・中	3号炉	休炉	H20.12.5	18:00	H20.12.5	21:51			H20.12.19	16:30	マンホールを開放し点検したところ、出滓口部下シュートの水冷ジャケット部から漏水を確認した。補修のため溶融炉を停止した。
87	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.12.16	11:00	H20.12.16	17:02	H20.12.18	19:16	H20.12.19	8:29	「減温塔ロータリースクレーパ故障」が発報した。現場でロータリースクレーパの起動を試みるが異音がし、復旧しなかった。補修のため焼却炉を停止した。
83	灰溶融・品	1号炉	休炉	H20.12.2	11:45	H20.12.2	13:07			H20.12.5	12:57	溶融排ガス冷却器と空気余熱器間の排ガス煙道部へ合流する排ガスエゼクタダクト中の伸縮継手部が腐食でガス漏えいが発生したため、補修のため溶融炉を停止し
80	ガス化・世	1号炉	休炉	H20.11.25	9:00	H20.11.25	13:35	H20.12.2	19:50	H20.12.3	7:28	ITVモニタにより、スラグ流下口付近に溶融スラグの塊を確認した。形状から耐火物の一部が脱落したと推測。調査・補修のため休炉した。
82	目黒	2号炉	休炉	H20.11.30	3:15	H20.11.30	3:15	H20.12.1	20:33	H20.12.2	22:30	洗煙設備減湿用冷却器の入口配管(200A)継手部に亀裂が入り減湿水が漏えいした。補修のため焼却炉を停止した。
81	大田第一	1号炉	休炉	H20.11.25	8:00	H20.11.25	17:00	H20.11.26	14:15	H20.11.27	6:12	脱気器の圧力制御が不能となったため、焼却炉を立下げた。
78	ガス化・世	1号炉	休炉	H20.11.11	10:00	H20.11.16	14:00	H20.11.18	0:30	H20.11.18	12:07	不燃物排出装置に針金類の詰まりを確認し、これを除去するため休炉した。
79	灰溶融・世	2号炉	休炉	H20.11.14	12:00							計画停止中、炉内点検したところ、炉底レンガが剥離し損傷していた。立上を延期し、損傷状況を調査し補修する。なお、このまま定期点検補修工事に入る。
74	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.11.4	10:00	H20.11.6	14:06	H20.11.13	21:19	H20.11.14	13:20	不燃物排出装置に針金類の詰まりを確認し、これを除去するため休炉した。
75	港	2号炉		H20.11.10	10:42	H20.11.10	10:42	H20.11.10	14:42	H20.11.10	15:15	蒸気式ガス再加熱器(SGH)入口蒸気配管のフランジ部より蒸気漏えいのため、焼却炉を立下げた。
68	ガス化・世	1号炉	休炉	H20.10.21	10:00	H20.10.23	18:40	H20.11.1	20:39	H20.11.2	11:32	不燃物排出装置に針金類の詰まりを確認し、これを除去するため休炉した。
69	練馬	2号炉	休炉	H20.10.25	12:21	H20.10.25	16:30	H20.10.27	18:00	H20.10.28	5:01	煙突入口排ガス分析(4成分計のSO2.NoX測定指示値不良)故障のため、焼却炉を停止した。
70	灰溶融・品	2号炉	休炉	H20.10.23	10:00	H20.10.26	9:12			H20.10.29	19:25	スラグクレーン 電流ケーブルリールモータ部のカップリングが破損した。スラグバンカよりスラグが搬出できないため2号灰溶融炉を停止した。
71	江戸川	2号炉	休炉	H20.10.27	4:33	H20.10.27	10:39					灰コンベアが過負荷でトリップした。逆転等復旧作業を実施したが、解除できないため焼却炉を立下げた。なお、このまま計画停止に入る。
72	新江東	1号炉	休炉	H20.10.28	1:07	H20.10.28	3:29					ボイラダストコンベア(L)のトルクリミッタが作動した。現場確認したところ、チェーンリンク部2ヶ所が破断していた。補修のため焼却炉を立下げた。このまま計画停止に
73	中防・破碎		休炉	H20.10.28	16:00	H20.10.28	17:39	H20.11.2	4:56	H20.11.2	11:35	水銀濃度計用現場制御盤にて、「ブローパ故障」の警報が発生した。このため測定ができないので焼却炉を立下げた。
62	大田第一	2号炉	休炉	H20.10.7	20:55	H20.10.8	11:15	H20.10.20	15:29	H20.10.21	8:33	飛灰空気輸送装置「ブロータンク内圧力高」の警報が発報した。飛灰輸送は移管中で閉塞が考えられ解除のため、焼却炉を立下げた。
63	灰溶融・世	1号炉	休炉	H20.10.9	15:30	H20.10.9	15:30			H20.10.21	16:00	メタル排出のため傾動作業を実施した。その後、炉内監視口ノズル内部に冷却水の漏えいを発見したので点検・補修をするため休炉した。
65	灰溶融・品	2号炉	休炉	H20.10.17	1:20	H20.10.17	14:15			H20.10.22	2:00	No.1細粒灰搬送コンベアが過負荷により停止した。灰の供給ができないため溶融炉が停止した。
66	渋谷	1号炉	休炉	H20.10.19	10:21	H20.10.20	0:56	H20.10.20	17:42	H20.10.20	23:08	砂循環エレベーターが過電流トリップした。再起動ができないため焼却炉を停止した。
67	中防・破碎		休炉	H20.10.22	13:32	H20.10.22	14:30	H20.10.26	5:09	H20.10.26	11:18	ごみ供給機において「電流値異常高」が発報したので現場確認したところ、前面プッシャーの動作不良を発見した。継続運転ができないため休炉した。
64	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.10.13	20:28	H20.10.13	21:16	H20.10.14	16:38	H20.10.14	23:06	砂循環エレベーターが過負荷により停止した。再起動ができないため炉停止した。
57	灰溶融・世	2号炉	休炉	H20.9.21	9:05	H20.9.21	10:02			H20.9.22	14:00	煙道ダスト除去装置運転中、「回転故障」警報発報したため、点検・補修のため休炉した。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
60	光が丘	1号炉	休炉	H20.10.5	12:08	H20.10.5	13:15	H20.10.8	1:00	H20.10.8	18:30	飛灰搬送装置のゲート弁の動作不良を発見した。これによりクッションホoppaが満杯となり、集じん機、配管等に詰まりが生じるため、焼却炉の立下げを行った。
61	江戸川	2号炉	休炉	H20.10.5	20:00	H20.10.5	20:38	H20.10.6	17:37	H20.10.7	11:12	燃焼スト-カ用油圧シリンダ(左)からの油漏れがひどく、ストーカの運転に支障をきたしたため焼却炉を立下げた。
34	灰溶融・中	4号炉	休炉	H20.7.17	14:00	H20.7.18	17:00			H20.10.1	16:10	出滓口において、溶融スラグの付着・堆積を除去するばつり作業時に、出滓樋部から漏水を発見した。その後、経過を監視していたが運転継続が困難と判断し、休炉し
47	灰溶融・足	1号炉	休炉	H20.8.29	12:01	H20.8.29	12:01					炉体漏えい電流値が運用基準値(100A)を超過したため、休炉し調査する。なお、このまま定期補修工事に入る。
48	ガス化・世	1号炉	休炉	H20.9.1	15:00	H20.9.1	20:15	H20.9.29	22:51	H20.9.30	11:26	不燃物抜出装置に針金類の詰まりを確認し、これを除去するため休炉した。
53	中防・破碎		休炉	H20.9.14	11:30	H20.9.14	15:11	H20.9.18	3:00	H20.9.18	11:30	砂循環装置の炉内砂供給配管に詰まりが発生した。一時はハンマリング処置にて詰まり復旧するが、再び閉塞したため休炉した。
54	灰溶融・中	2号炉	休炉	H20.9.14	15:42	H20.9.14	20:24					溶融炉の主電極プラズマ電圧の変動が生じたため点検したところ、炉底電極に赤熱部を発見したため休炉した。なお、このまま定期補修工事に入る。
56	灰溶融・葛	2号炉	休炉	H20.9.19	22:50	H20.9.19	22:50			H20.9.28	7:37	溶融スラグが出滓口で閉塞したため溶融炉を休炉した。
58	灰溶融・品	1号炉	休炉	H20.9.24	12:20	H20.9.24	12:49					溶融スラグ室B出滓口から水砕水槽(落口)に溶融スラグがつらら状に生成したため溶融炉を停止した。なお、このまま定期補修工事に入る。
59	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.9.23	10:00	H20.9.30	17:30	H20.10.3	20:54	H20.10.4	8:45	不燃物抜出装置に針金類の詰まりを確認し、これを除去するため休炉した。
49	渋谷	1号炉	休炉	H20.9.4	17:00	H20.9.5	9:02	H20.9.18	2:05	H20.9.18	13:12	9月1日ごろより、ボイラ給水量と蒸発量との差が平常時より少しづつ増加してきた。増加傾向が止まらないため焼却炉を停止して点検を行う。
51	灰溶融・多	1号炉	休炉	H20.9.10	3:51	H20.9.10	14:00			H20.9.16	10:00	後燃焼室下部「搬出ゲート故障」により点検の結果、落下した耐火物を取り出した。後燃焼室内部を調査するため休炉した。
55	灰溶融・足	2号炉	休炉	H20.9.13	3:06	H20.9.13	3:06					出滓口付近の耐火物温度が運転管理値(700)を越えたため休炉した。なお、このまま定期点検補修(OH)に入る。
50	中防・破碎		休炉	H20.9.6	8:10	H20.9.10	2:35	H20.9.12	2:05	H20.9.12	7:18	置切断機油圧ユニットのカップリングが備磨耗のため油圧ポンプが作動不良で、切断不能となった。
52	ガス化・世	2号炉		H20.9.11	9:35	H20.9.11	10:08			H20.9.11	16:08	2号炉用アンモニア水ポンプ吸込み側パッキン部よりアンモニア水が漏えいしたので炉立下げを実施。その後、漏えいアンモニアガスによる影響が内・外部に無いことを計装・自動制御設備のプラント制御用電子計算機(炉・ボイラ用)故障によりボイラが制御不能のため立下げた。
46	目黒	1号炉	休炉	H20.8.28	6:45	H20.8.28	8:04	H20.9.5	19:00	H20.9.7	5:46	乾燥ストーカ下シュートにある二重ダンパの開閉動作が不調なため、点検したところストーカ下コンベアに未燃ごみ等が落下している。ストーカ等の点検・調査のため
44	足立	2号炉	休炉	H20.8.21	9:00	H20.8.22	9:30	H20.8.26	18:18	H20.8.27	10:14	ボイラ設備共通ダストコンベア(R)のトルクミッタが作動した。コンベアチェーンの一部が切断され、それがシュート側に落下し引っかかった状態である。コンベアの補修及び
45	新江東	2号炉	休炉	H20.8.25	11:46	H20.8.25	16:30	H20.8.30	17:47	H20.8.31	7:07	主灰シュートブリッジが発生したので焼却炉及び蒸気タービンを停止した。なお、このまま定期点検補修工事に入る。
42	大田第一	3号炉	休炉	H20.8.18	6:55	H20.8.18	10:30					乾燥ストーカ下シュートにある二重ダンパが開閉動作していないため、点検したところ金属物(5X30cm程度)等が発見された。ストーカ等の点検・調査のため休炉し
43	足立	1号炉	休炉	H20.8.18	17:07	H20.8.18	18:20	H20.8.21	15:13	H20.8.22	7:32	灰溶融水砕水温水槽内、上澄槽レベルの低下により水砕水温水ポンプが自動停止した。沈殿槽部の詰まりを解除するため休炉した。
35	灰溶融・世	1号炉	休炉	H20.7.24	2:30	H20.7.24	3:12			H20.8.4	2:00	焼却炉内壁面に付着したクリンカが剥離した。クリンカにより流動層が流動不良となり、クリンカを除去するために休炉した。
40	豊島	1号炉	休炉	H20.8.7	23:23	H20.8.8	1:56	H20.8.12	21:29	H20.8.13	2:52	洗煙設備冷却吸収液のPH値制御用のか性ソーダ注入が追従できず、インターロック作動しバイパスダンパが開いた。復旧までに燃焼排ガス中の維持管理値を逸脱す
41	港	3号炉		H20.8.14	5:53	H20.8.14	5:53	H20.8.14	6:19	H20.8.14	11:10	ボイラ設備二次燃焼室ダスト排出コンベアよりダストが排出しない。二次燃焼室下部の詰まりを除去するため休炉した。
37	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.7.24	10:00	H20.7.24	17:00	H20.8.5	18:44	H20.8.6	7:48	

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
39	葛飾	共通	休炉	H20.8.4	17:05	H20.8.4	22:04	H20.8.6	15:46	H20.8.7	7:55	17:02落雷によりITV装置故障発生。19:31東電 側落雷による短絡事故で52s遮断、蒸気タービン 発電機周波数低下により蒸気タービントリップ及び焼却炉が非常停止し
36	足立	2号炉	休炉	H20.7.24	10:00	H20.7.24	17:00	H20.7.28	16:32	H20.7.29	8:10	燃焼ストーカ(1-1帯)下3ランホッパシュート詰まりのため体炉した。(アルミ溶着物の付着で火格子が浮上がり、その隙間より未燃物等がシュートに設置の二重ダンパの動
38	練馬	2号炉		H20.7.29	20:57	H20.7.29	20:57	H20.7.29	21:52	H20.7.29	22:07	1号炉運転中、雷雲発生のためタービン自立運転に 移行する。20:57「周波数低下」でタービントリップし、全停電となり非常用発電機自動起動する。(タービン立上げ開始23:29同
32	大田第一	1号炉	休炉	H20.7.15	9:30	H20.7.15	12:35	H20.7.23	13:10	H20.7.24	7:38	純水装置計量ポンプ(-次側ボールチャッキ部袋ナット破損し配管外れる)から塩酸の漏洩が発生。純水再生不可及び純水採水が困難なため焼却炉(1.3号全炉)及び蒸気
32	大田第一	3号炉	休炉	H20.7.15	9:30	H20.7.15	12:35	H20.7.23	18:23	H20.7.24	10:58	純水装置計量ポンプ(-次側ボールチャッキ部袋ナット破損し配管外れる)から塩酸の漏洩が発生。純水再生不可及び純水採水が困難なため焼却炉(1.3号全炉)及び蒸気
30	足立	1号炉		H20.7.14	17:52	H20.7.14	17:52			H20.7.16	11:40	落雷により東電側系統事故で、蒸気タービン発電機単独運転に移行したが、1号炉誘引ファン 及び1.2号炉押込ファンが停止した。
30	足立	2号炉		H20.7.14	17:52	H20.7.14	17:52			H20.7.15	15:42	落雷により東電側系統事故で、蒸気タービン発電機単独運転に移行したが、1号炉誘引ファン 及び1.2号炉押込ファンが停止した。
31	豊島	1号炉	休炉	H20.7.15	4:06	H20.7.15	4:49	H20.7.15	14:29	H20.7.15	16:36	1.2号ごみクレーン自動運転中、クレーン主回路電源が断となり停止。。ごみ投入ができなくなったため焼却炉(全炉)及び蒸気タービン発電機(解列7月15日04:30,立下げ
31	豊島	2号炉		H20.7.15	4:06	H20.7.15	4:36	H20.7.16	11:31	H20.7.16	15:26	1.2号ごみクレーン自動運転中、クレーン主回路電源が断となり停止。ごみ投入ができなくなったため焼却炉(全炉)及び蒸気タービン発電機(解列7月15日04:30,立下げ
33	新江東	共通	停止	H20.7.17	6:30	H20.7.18	13:34	H20.7.19	16:21	H20.7.19	18:14	蒸気タービンの蒸気加減弁と油圧シリンダの連結部分(ターンバックル部ロットエンド軸受(上部)が折損したため、蒸気加減弁が動作不良となり蒸気タービン発電機を停
29	北	1号炉	休炉	H20.7.10	3:00	H20.7.10	7:30					ボイラ側壁シールボックス付近水管より水漏れを確認し、炉を停止した。なお、このまま中間点検に入る。
14	中防・破碎		休炉	H20.5.18	16:04	H20.5.18	16:30	H20.6.27	2:56	H20.6.27	13:32	給じん設備ごみ供給機の電流値「高」発生。供給機のスクリー軸アイドルギア用ラケット損傷により回転不能となり休炉した。
25	灰溶融・中	4号炉	休炉	H20.6.22	5:20	H20.6.22	7:13			H20.6.24	18:18	前処理設備の灰供給コンベアが「過負荷」で停止した。従動側軸受の破損により溶融炉をホールドした。
26	ガス化・世	1号炉		H20.6.25	4:11	H20.6.25	5:36	H20.6.25	14:50	H20.6.25	21:15	ボイラ下ダストコンベアが「過負荷」で停止した。再起動運転が不能なため炉を停止した。
27	灰溶融・品	2号炉	休炉	H20.6.25	5:40	H20.6.25	11:19			H20.6.28	18:40	細粒灰計量器のコンベアが蛇行運転し、正確な計量ができないため炉を停止した。
28	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.6.27	9:00	H20.6.27	19:10	H20.6.28	20:43	H20.6.29	9:35	ガス化溶融炉スラグ流下ロシュート側面に溶融 スラグ付着・堆積し休炉した。
22	灰溶融・品	1号炉	休炉	H20.6.12	9:00	H20.6.12	9:43			H20.6.18	14:06	溶融排ガス冷却器と溶融空気予熱器間の煙道に設置のバイブレータ取付付近より排ガスが漏洩していたため、溶融炉を停止した。
23	ガス化・世	1号炉	休炉	H20.6.12	11:00	H20.6.12	17:31	H20.6.20	23:05	H20.6.21	11:30	ボイラ設備二次燃焼室ダスト排出コンベア下部 排出口に堆積物を確認。除去するため休炉した。
16	灰溶融・世	2号炉	休炉	H20.5.22	11:50	H20.5.22	16:01			H20.6.11	18:30	出滓ロシュート部ケーシングに亀裂が発生し、炉を停止した。
18	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.6.6	17:00	H20.6.6	20:00	H20.6.14	20:54	H20.6.14	12:29	「バッフル差圧」上昇、燃焼溶融炉バッフル部の 閉塞が考えられるので調査のため休炉した。
20	練馬	共通		H20.6.9	19:15	H20.6.9	19:15	H20.6.9	21:13	H20.6.9	22:30	1号炉運転中(2号炉は定期点検補修中)雷雲発生後タービン自立運転中、落雷により付近一帯停電する。19:15「周波数低下」でタービントリップし、非常用発電機自動起動後、
21	豊島	共通		H20.6.7	19:00			H20.6.10	14:43	H20.6.10	20:48	1号炉定期点検補修終了直後、蒸気タービン用シーリング蒸気圧力調節計の故障で立上げを延期した。(タービン立上げ開始6/1111:11,同期投入 13:07)なお仮補修に付
24	豊島	1号炉		H20.6.13	7:34	H20.6.13	8:22	H20.6.13	11:41	H20.6.13	13:05	二次空気流量の計測異常により、燃焼制御ができなくなったため、焼却炉を停止した。
19	灰溶融・世	1号炉	休炉	H20.6.7	17:00	H20.6.7	20:52					出滓ロシュート部ケーシングに亀裂が発生し、炉を停止した。なお、1号炉はこのまま計画停止する。

東京23区「清掃工場故障週報」[平成14年度(2002年度)から直近まで]データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
9	灰溶融・葛	1号炉	休炉	H20.4.28	12:46	H20.4.28	21:00			H20.6.1	23:44	スラグ出滓口銅ブロック(右・左側)温度計故障 により休炉した。
	灰溶融・世	2号炉	休炉	5月18日	1:40					5月19日	0:00	熔融スラグが出滓口で閉塞した。それにより溶融炉の炉内圧が上昇した。
15	灰溶融・世	1号炉	休炉	H20.5.21	19:38	H20.5.21	22:09			H20.6.1	18:00	煙道ダスト除去装置運転中、「回転故障」警報発報する。除去装置の軸が変形したので休炉した。
17	多摩川	2号炉	休炉	H20.5.24	4:23	H20.5.26	0:00	H20.5.26	17:33	H20.5.27	2:33	ボイラ過熱低減器の流量オリフィス部より蒸気漏れ発生。補修を行うため、焼却炉を立下た。
	港	1号炉		H20.5.12						H20.5.15		自動化弁制御盤のヒューズ「断」により洗煙設備等のダンバが「閉」となり、インターロックでFDF、IDF等が停止した。(2~3度再発し、その都度、ヒューズを交換し炉は
8	灰溶融・世	1号炉	休炉	H20.4.27	4:17	H20.4.27	4:17					プラズマトーチ用の直流電源装置が故障し休炉した。
10	灰溶融・板	1号炉		H20.5.2	17:00	H20.5.6	0:00					熔融排ガス集じん機下部ホッパ閉塞。解除作業のためホールドした。
11	中防・破碎		休炉	H20.5.6	9:30	H20.5.8	0:00	H20.5.10	13:00	H20.5.10	19:25	塩化水素除去設備排ガス再加熱器の蒸気ドレン配管エルボ部より蒸気漏れのため休炉した。
7	灰溶融・多	1号炉	休炉	H20.4.21	20:19	H20.4.22	9:31			H20.4.25	6:28	主燃焼バーナ3本中、1バーナが失火多発により点検のため休炉した。
3	江戸川	2号炉	休炉	H20.4.5	14:21	H20.4.5	15:13	H20.4.14	18:45	H20.4.15	12:16	炉壁から剥離したクリンカが割れず、主灰シュートで閉塞したため休炉した。
4	北	1号炉	休炉	H20.3.28	4:00	H20.4.7	9:00	H20.4.14	20:00	H20.4.15	9:52	給じん装置先端鋳物冷却用冷却水が漏洩しているため補修のため、焼却炉を停止した。
6	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.4.15	6:08	H20.4.15	9:35	H20.4.17	21:29	H20.4.18	8:40	スラグ搬出コンベアが過負荷により停止した。再起動運転が不能なため炉停止した。
93	灰溶融・板	2号炉		H20.3.23	2:29	H20.3.23	2:29			H20.4.10	15:00	熔融炉の灰投入機プッシュプレートが脱落し、灰切出しが不能となった。
5	ガス化・世	1号炉		H20.4.14	4:45	H20.4.14	5:25			H20.4.14	13:40	ガス化溶融炉スラグ流下口とば口に熔融スラグ付着・堆積し休炉した。
92	板橋	1号炉	休炉	H20.3.23	22:46	H20.3.24	1:21	H20.4.4	15:42	H20.4.5	9:18	「る過式機じん機下ダストコンベア(A)故障」が発生した。現場確認したところ、スクリュコンベアのシャフトが回らず、またモータも過熱していた。
1	ガス化・世	2号炉		H20.4.3	0:30	H20.4.3	9:20	H20.4.3	13:11	H20.4.3	13:51	「砂循環エレベータ故障」発報により停止した。復旧に時間が要すると判断し休炉した。
2	ガス化・世	1号炉	休炉	H20.4.3	15:00	H20.4.3	15:33	H20.4.6	21:06	H20.4.7	9:32	ガス化溶融炉スラグ流下口下部に熔融スラグ付着・堆積し休炉した。
平成19年度(2007年度)												
93	灰溶融・板	2号炉		H20.3.23	2:29	H20.3.23	2:29			H20.4.10	15:00	熔融炉の灰投入機プッシュプレートが脱落し、灰切出しが不能となった。
92	板橋	1号炉	休炉	H20.3.23	22:46	H20.3.24	1:21	H20.4.4	15:42	H20.4.5	9:18	「る過式機じん機下ダストコンベア(A)故障」が発生した。現場確認したところ、スクリュコンベアのシャフトが回らず、またモータも過熱していた。
91	新江東	1号炉	休炉	H20.3.18	8:00	H20.3.18	10:00					主灰シュートブリッジのため休炉した。
94	墨田	1号炉	休炉	H20.3.26	10:00	H20.3.26	11:39	H20.3.29	19:47	H20.3.30	9:11	主灰シュートブリッジにより焼却炉及びタービン発電機を停止した。
87	灰溶融・品	1号炉	休炉	H20.3.7	11:00	H20.3.7	12:33			H20.3.13	19:00	灰溶融炉 側壁部の冷却水配管ピンホールにより水漏れのため休炉した。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				年	月	日	時	年	月	日	時	
90	灰溶融・品	1号炉	休炉	H20.3.17	6:30	H20.3.17	9:14					1溶融排ガス冷却装置灰排出コンベアが過負荷にて停止した。補修後、このまま計画停止に入る。
88	ガス化・世	1号炉	休炉	H20.3.14	20:00	H20.3.15	1:20	H20.3.17	21:29	H20.3.18	9:31	ガス化溶融炉スラグ流下口下シュートに溶融スラグ付着・堆積し休炉した。
89	中防・破碎		休炉	H20.3.15	4:59	H20.3.15	6:19	H20.3.15	15:15	H20.3.15	18:47	砂分級機用電源ケーブルが損耗し、地絡により遮断器がトリップ、継続運転不能となり炉を停止した。
78	江戸川	1号炉	休炉	H20.2.13	15:30	H20.2.13	17:00	H20.2.28	18:23	H20.2.29	11:24	炉壁から剥離したクリンカが割れずに主灰シュートに閉塞したため、焼却炉を立下げた。
79	港	1号炉	休炉	H20.2.17	9:00	H20.2.18	14:00	H20.3.7	21:10	H20.3.8	10:37	ウォータージャケットからの水漏れがあるので、点検・補修のため休炉した。
85	豊島	1号炉	休炉	H20.2.29	22:08	H20.3.1	7:11	H20.3.6	19:03	H20.3.7	0:02	脱硝設備にアンモニア水(ガス)が吹き込めなくなったので休炉した。
75	光が丘	2号炉	休炉	H20.2.3	6:00	H20.2.3	6:30	H20.2.26	1:00	H20.2.26	21:00	灰コンベアの減速機故障のため休炉した。
86	杉並	2号炉		H20.3.2	6:10	H20.3.2	6:25			H20.3.2	6:40	1炉運転中、第2段乾燥ストーカ動作不良で蒸気量低下によりタービントリップ及び焼却炉を立下げた。(以後、異物噛込みが解除され、ストーカの動作が順調なので再立
80	豊島	1号炉	休炉	H20.2.13	0:00	H20.2.16	9:23	H20.2.19	13:44	H20.2.19	19:21	給じん機プッシャーの故障によりごみが安定的に供給できなくなったため、焼却炉を停止した。
82	千歳	1号炉		H20.2.19	6:31	H20.2.19	7:11	H20.2.19	17:29	H20.2.20	9:10	計装設備の炉用電磁弁MCCBトリップにより、給じんプッシャー及びストーカ等の炉用機器の動作不良が発生した。(MCCBトリップ再現性の確認のため、再立上げした。)
83	灰溶融・世	2号炉	休炉	H20.2.19	12:57	H20.2.19	14:00					細粒灰計量ホッパ切出装置が過負荷により停止した。異物の噛込みではないので調査復旧のため休炉する。また、このまま計画停止に入る。
84	有明	1号炉		H20.2.20	23:44	H20.2.21	2:20	H20.2.22	12:30	H20.2.23	4:10	ごみホッパブリッジが発生したため休炉した。
76	灰溶融・品	1号炉	休炉	H20.1.29	16:27	H20.2.1	9:53			H20.2.7	13:10	鉄分搬送コンベアに異物噛込みシュート変形する。コンベア運転不可により、細粒灰の貯留困難なため休炉した。
77	灰溶融・品	2号炉	休炉	H20.2.5	23:40	H20.2.6	0:15			H20.2.13	18:55	溶融スラグ室B 出滓口部に溶融スラグがつらら状に生成した。除去のため休炉した。
81	杉並	2号炉		H20.2.17	10:25	H20.2.17	11:30			H20.2.17	12:30	1炉運転中、第1段乾燥ストーカ動作不良で蒸気量低下によりタービントリップ及び焼却炉を立下げた。(以後、異物噛込みが解除され、ストーカの動作が順調なので再
73	灰溶融・品	1号炉	休炉	H20.1.27	7:00	H20.1.27	9:21			H20.1.30	4:20	溶融スラグ室B 出滓口～水砕水槽(落口)に溶融スラグがつらら状に生成した。除去のため休炉した。
74	豊島	ごみクレ	停止	H20.1.28	12:30					H20.2.1	15:00	2号ごみクレーンが計量不良になったため、クレーンを停止した。
69	灰溶融・品	1号炉	休炉	H20.1.4	18:00	H20.1.9	0:00			H20.1.19	16:30	灰溶融炉 炉床の冷却水配管より水漏れ発生のため休炉する。
71	足立	2号炉	休炉	H20.1.21	11:20	H20.1.21	12:15	H20.1.29	14:36	H20.1.30	7:01	高圧蒸気ヘッド付出口手動弁(蒸気タービン行き)のグランド部より蒸気漏れのため休炉。なお、補修作業のため1号焼却炉も休炉した。
72	灰溶融・中	3号炉	休炉	H20.1.22	6:00	H20.1.22	11:00					点検口から漏水を確認する。内部を点検したところ、溶融排ガス煙道部水冷ジャケットの冷却水が出滓口カバー内部で噴出していた。このまま計画停止(1/27よりOH)す
68	灰溶融・世	2号炉	休炉	H19.12.29	9:10	H19.12.29	9:28			H20.1.15	17:32	出滓口レンガの溶損によりスラグ出滓口下シュート部の耐火材及び鉄皮が損傷したため、溶融炉を休炉した。
70	足立	灰クレ	休炉	H20.1.13	2:50	H20.1.13	16:00	H20.1.15	15:45	H20.1.16	8:44	油圧バケット給電用ケーブルリールモータがサーマルトリップする。灰クレーンの継続運転が不能なため、また灰搬出量を見込み1号炉を休炉した。
64	灰溶融・大	1号炉		H19.12.14	16:04	H19.12.14	16:04			H19.12.15	23:58	1系乾燥機連結コンベア「地絡継電器作動」により停止する。インターロックにより緊急停止となり、その後溶融炉ホールドする。
65	品川	1号炉	休炉	H19.12.19	23:33	H19.12.20	21:03	H19.12.22	18:27	H19.12.23	16:24	減温塔灰搬出装置のロータリースクレーパが異物噛込みによる過負荷で運転不可となったため休炉した。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
66	中央	共通	停止	H19.12.19	7:06	H19.12.19	7:06			H19.12.19	12:50	蒸気タービンの軸振動値が上上限を超えタービントリップした。
67	品川	2号炉		H19.12.23	1:00	H19.12.23	12:45	H19.12.23	19:22	H19.12.24	11:01	炉内圧制御ダンパ用電油操作器が制御不能により点検のため焼却炉の立下げを開始した。
63	大田第二	1号炉	休炉	H19.12.9	16:30	H19.12.11	0:00					後燃ストーカ(4L)の自動運転が不能となり手動操作にて対応していたがその後制御できなくなる。また、ストーカ下シュートの閉塞も確認し、休炉する。このまま計画停止
62	中防・破碎		休炉	H19.11.29	15:00	H19.11.29	15:30	H19.12.4	11:10	H19.12.4	20:33	不燃物排出装置のジャケット付スクリーコンベアより冷却水漏れが発生したため、点検及び修理のため休炉する。
61	目黒	1号炉	休炉	H19.11.19	18:50	H19.11.19	19:43	H19.11.25	19:12	H19.11.26	21:44	2直点検時、主灰シュート詰まり発見。焼却炉及びタービン発電機を停止した。
59	練馬	2号炉	休炉	H19.11.18	23:10	H19.11.19	2:53	H19.11.20	7:59	H19.11.20	20:30	飛灰圧送装置、昇圧不良で飛灰が搬出できないため休炉する。
60	杉並	1号炉	休炉	H19.11.19	7:50	H19.11.19	8:06	H19.11.24	14:00	H19.11.25	12:35	主灰シュート上部温度の変化状況よりブリッジと判断し、炉を停止して点検・清掃する。
58	渋谷	共通	停止			H19.11.6	9:30	H19.11.6	14:10	H19.11.6	15:42	蒸気タービン抽気加減弁用電動アクチュエータ故障(故障No.54)原因が軸受摩耗とのメーカー見解により、同型機を使用している蒸気加減弁用電動アクチュエータについて
47	豊島	2号炉	休炉	H19.9.19	0:36	H19.9.19	0:36	H19.11.6	13:57	H19.11.7	1:13	炉内圧力の急上昇で緊急停止装置が作動した。原因調査中だが、ボイラ水管の噴破と思われる。
57	灰溶融・多	2号炉	休炉	H19.10.31	8:29	H19.10.31	8:47			H19.11.5	9:03	空気予熱器灰排出装置が過負荷でトリップする。(排出シュート部が溶融塩で閉塞しているのを点検口より確認する。)
54	渋谷	1号炉	休炉	H19.10.21	11:56	H19.10.21	15:38	H19.10.24	2:04	H19.10.24	14:59	蒸気タービン抽気ガバナの電動アクチュエータがトリップした。その結果、抽気ラインの圧力が上昇、給熱ヘッダーの安全弁から蒸気が系外に漏出し、復水タンクレベル
55	千歳	共通	停止	H19.10.21	13:23	H19.10.21	14:00			H19.10.23	23:11	タービン発電機立ち上げ中、発電機出力が上昇せず。同期投入渋滞を繰り返したため、蒸気タービンを停止した。
56	灰溶融・品	2号炉	休炉	H19.10.23	1:00	H19.10.23	10:40			H19.10.27	6:55	スラグ室Bの温度が上昇し、点検するとスラグ落口が閉塞していたため休炉した。
53	板橋	共通		H19.10.15	5:48					H19.10.17	20:00	3号ごみクレーン油圧バケットが「掴み」不能となった。油圧「高」警報発報、外観点検では油漏れなど確認されず。
50	多摩川	2号炉	休炉	H19.9.29	6:12	H19.9.29	8:33	H19.10.5	15:32	H19.10.6	3:43	主灰シュートが閉塞したので休炉する。
51	葛飾	1号炉	休炉	H19.10.3	9:14	H19.10.3	17:01	H19.10.8	20:00	H19.10.9	14:17	後燃ストーカ駆動シャフト用軸受の取付ボルトが折損したため、ストーカの運転が不能となる。
52	品川	2号炉	休炉	H19.10.3	13:57	H19.10.3	13:57	H19.10.4	18:25	H19.10.5	17:36	蒸気タービン解・並列運転試験において並列運転移行の際、52S遮断器補助接点不具合により、1、2号焼却炉が非常停止した。1号炉は復旧したが契約電力を超えない
49	大田第二	3号炉	休炉	H19.9.27	15:00	H19.9.27	17:00					後燃ストーカ上に番線の塊を発見する。主灰シュートに閉塞の恐れがあったため休炉し、除去する。なお、このまま計画停止に入る。
44	灰溶融・品	1号炉	休炉	H19.8.29	8:40	H19.8.29	11:57			H19.9.22	14:30	溶融排ガス冷却煙道に飛灰による詰まりが発生する。
48	灰溶融・大	2号炉		H19.9.20	10:30	H19.9.20	10:30					乾燥排ガスダクト(1号焼却炉煙道入口付近)において腐食による穴あき(約20mm)が発生する。補修以後、定期保全に入る。
45	千歳	1号炉	休炉	H19.9.8	21:17	H19.9.8	22:08	H19.9.11	1:19	H19.9.11	21:37	主灰コンベアのチェーン連結ピン脱落によりコンベア停止のため休炉する。
46	灰溶融・品	2号炉	休炉	H19.9.10	10:30	H19.9.10	12:25			H19.9.14	5:02	溶融空気予熱器の自動清掃装置が停止し、予熱器内の灰が除去できなくなったので休炉する。
37	港	3号炉	休炉	H19.8.13	13:15	H19.8.13	13:19	H19.9.11	21:01	H19.9.12	12:32	脱気器の安全弁取付フランジより蒸気漏れが発生したため休炉する。
39	大田第二	1号炉	休炉	H19.8.13	16:00	H19.8.13	17:00					焼却炉内にクリンカが生成する。除去・清掃のため休炉する。(このまま中間点検にはいる。)

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
40	港	2号炉	休炉	H19.8.17	10:03	H19.8.17	10:52					蒸気式再加熱器(熱交換器)から蒸気漏れが発生したため休炉する。(1号炉と変更し、定期点検補修(8/17~)にはいる。)
32	中央	2号炉	休炉	H19.8.2	7:02	H19.8.4	17:00	H19.8.16	13:22	H19.8.17	9:54	燃焼ストーカ(右列 3)動作不良。また、ボイラーストブロワ( 13 定置式)点検のため休炉する。
36	灰溶融・品	2号炉	休炉	H19.8.11	14:10	H19.8.11	17:36			H19.8.21	16:10	スラグ処理設備 SS分離装置のスクリーンが目詰まりし、水砕水槽の上澄循環水が処理できないため休炉する。
42	中央	2号炉	休炉	H19.8.24	0:00	H19.8.29	9:00	H19.8.30	13:25	H19.8.31	7:39	蒸気式再加熱器出口配管のフランジから蒸気漏れが発生したため休炉する。
43	千歳	1号炉	休炉	H19.8.28	19:27	H19.8.28	23:05	H19.8.29	18:40	H19.8.30	23:36	アンモニア水供給装置不良のため休炉する。
34	中防・破碎		休炉	H19.8.4	19:55	H19.8.4	20:05	H19.8.23	3:00	H19.8.23	14:20	「シーケンサ異常」発生し、CRTからの操作が不可能となったため休炉する。(8/09~8/22まで計画停止含む。)
41	灰溶融・多	1号炉	休炉	H19.8.20	5:48	H19.8.21	7:00					灰の固着により投入灰切出しコンベア過負荷でトリップする。このまま計画停止(月例保全)する。
29	大田第二	3号炉	休炉	H19.7.21	20:18	H19.7.21	20:18	H19.8.14	17:51	H19.8.15	10:23	ボイラ給水(30t/h)すれどもボイラドラム水位回復しないので非常停止操作実施。マンホールよりボイラ第二パス上部水管より水流を視認する。
33	光が丘	1号炉	休炉	H19.8.4	11:10	H19.8.7	2:50	H19.8.9	1:00	H19.8.9	19:17	冷却吸収塔吸収液ラインのストレーナ前弁より漏れのため休炉する。
38	品川	2号炉	休炉	H19.8.13	14:49	H19.8.13	17:05	H19.8.15	18:32	H19.8.16	15:15	減温塔用減温水噴射ノズルへ圧縮空気が停止したため、水浸しとなり飛灰固まり搬出不能となる。
31	灰溶融・品	2号炉	休炉	H19.7.29	21:05	H19.7.29	21:05			H19.8.3	10:00	出滓口(A・B)閉塞のため休炉する。
35	灰溶融・品	2号炉		H19.8.6	11:10	H19.8.6	11:37			H19.8.6	17:01	出滓口から水砕水槽(落口)までに溶融つららが生成する。
28	大田第一	1号炉	休炉	H19.7.18	11:24	H19.7.18	13:00	H19.7.31	12:28	H19.8.1	3:00	燃焼ストーカ動作不良。調査のため休炉する。
25	光が丘	2号炉	休炉	H19.7.1	19:10	H19.7.12	8:00	H19.7.24	1:00	H19.7.24	19:10	脱硝装置の通ガス圧力が上昇し、警報発報。休炉して点検・調査を実施する。
27	灰溶融・足	1号炉	休炉	H19.7.17	14:32	H19.7.17	14:32			H19.7.25	16:00	灰ホッパから定量以上に炉内へ供給されたため、炉内圧上昇し、インターロックにより停止する。
30	大田第一	3号炉	休炉	H19.7.29	7:35	H19.7.29	9:00					ごみホッパゲートが焼却炉内に落下のため休炉し、そのまま定期点検補修にはいる。
23	豊島	1号炉	休炉	H19.7.2	10:40	H19.7.3	20:29	H19.7.5	21:06	H19.7.6	2:30	砂供給配管(焼却炉投入付近)に閉塞が発生したため休炉する。
24	有明	1号炉	休炉	H19.7.2	12:38	H19.7.2	16:15	H19.7.4	16:30	H19.7.5	11:05	1・2号炉用共通のアンモニア給水ポンプ( 1)が吐出不良となったため、 2ポンプに切替えたが同様に吐出量不足が生じたため1号炉を立下げた。
26	足立	1号炉	休炉	H19.7.9	13:00	H19.7.9	14:51	H19.7.12	14:00	H19.7.13	6:56	2ストーカ下コンベアの反駆動側シャフトが破断のため休炉する。
20	灰溶融・品	1号炉	休炉	H19.6.19	15:48	H19.6.19	16:45			H19.6.29	13:00	溶融排ガス冷却器のロータリースクレッパが過負荷にてトリップする。
22	足立	2号炉	休炉	H19.6.28	16:27	H19.6.29	11:30	H19.7.6	16:26	H19.7.7	9:18	乾燥用ストーカ下シュート点検口より未燃物落下を発見する。調査・点検のため休炉する。
21	灰溶融・足	2号炉	休炉	H19.6.23	21:48	H19.6.24	10:00			H19.6.29	0:00	破碎スラグ搬送コンベア( 2)過負荷にてトリップする。その影響でテークアップ装置・駆動チェーン等の破損も生ずる。
17	灰溶融・足	1号炉	休炉	H19.6.13	21:42	H19.6.13	21:42					灰ホッパから定量以上に炉内へ供給されたため、炉内圧上昇し、インターロックにより停止する。(連番21発生によりスタンバイ状態となる。)
18	足立	2号炉	休炉	H19.6.15	20:50	H19.6.16	13:35	H19.6.22	14:38	H19.6.23	6:32	ろ過式集じん器出口でばいじんが検出されたので、調査のため休炉する。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
19	灰溶融・多	1号炉	休炉	H19.6.16	0:03	H19.6.16	0:35			H19.6.19	12:54	空気予熱器灰搬出装置が過負荷にてトリップする。(排出シュート部が溶融塩で閉塞しているのを点検口より確認する。)
9	灰溶融・品	2号炉	休炉	H19.8.18	1:25	H19.5.18	8:17					2号スラグ排出コンベア過負荷にてトリップ休炉する。(なお、2号焼却炉中間点検に伴う停止に入る。(5/18~))
14	江戸川	2号炉	休炉	H19.6.6	7:19	H19.6.6	8:13	H19.6.12	18:31	H19.6.13	11:29	主灰シュート・ブリッジ発生し、解除のため休炉する。
16	灰溶融・板	共通		H19.6.9	8:42	H19.6.9	13:40			H19.6.11	13:00	受入灰クレーンが電気故障(インパ-トリップ)発生のため、ホールドする。
3	灰溶融・板	1号炉		H19.4.26	11:08	H19.4.29	12:15			H19.6.4	15:00	前処理設備の受入細粒灰コンベア 1A過電流で停止する。変速機に異常ありホールドする。
15	大田第二	3号炉	休炉	H19.6.7	11:30	H19.6.9	6:45					主灰シュートが閉塞気味になった。清掃のため休炉し、そのまま中間点検にはいる。また、ボイラー水質(電導度)が希釈傾向にあり併せてボイラー水管の点検を行う。
11	目黒	2号炉	休炉	H19.5.22	20:30	H19.5.22	22:15	H19.5.29	19:00	H19.5.30	15:38	乾燥ストーカ下シュート詰まり発生にて休炉する。
12	板橋	1号炉	休炉	H19.5.20	10:00	H19.5.28	0:00	H19.5.31	20:15	H19.6.1	9:37	ストーカ駆動用油圧シリンダー(Aレーン燃焼帯1(2))部より油漏れにて休炉する。
13	中防・破碎	2プラC	停止	H19.5.28	9:55	H19.5.28	9:55			H19.5.31	16:30	破碎物排出コンベアのリグノフェロー損傷及びモータ脱落にて停止する。
10	大田第二	2	休炉	H19.5.18	11:00	H19.5.18	12:30	H19.5.24	17:30	H19.5.25	8:15	回転炉での燃焼不良で温度低下のため休炉し、調査する。
8	灰溶融・板	2号炉		H19.5.14	4:30	H19.5.16	16:40	H19.5.15	10:00			前処理設備の受入乾燥灰コンベア 2過電流で停止する。変速機に異常ありホールドする。
2	大田第二	3号炉	休炉	H19.4.17	9:00	H19.4.28	17:00	H19.5.2	17:36	H19.5.3	6:36	ボイラーブロー配管(15A)にピンホールが発生したので休炉する。
5	灰溶融・中	2号炉		H19.5.2	11:00	H19.5.2	11:00			H19.5.11	15:05	出滓口クリーナ装置の先端部品損傷によりホールドとする。
7	灰溶融・板	2号炉		H19.5.6	22:17	H19.5.6	22:17			H19.5.9	14:40	C相主電極把持器がスパークし焼損したのでホールドする。
4	中防・破碎		休炉	H19.4.30	21:00	H19.5.1	9:20	H19.5.1	12:01	H19.5.1	13:34	破碎処理ごみが均一化できず、安定供給が困難なため休炉する。
6	板橋	スラグクレー		H19.5.3	20:05	H19.5.4	1:35			H19.5.4	19:15	スラグクレーンバケットのアクスルピン破断し、開閉不能のため灰溶融炉(1・2号炉)をホールドする。
1	大田第二	1号炉	休炉	H19.4.2	9:00	H19.4.20	12:00	H19.4.27	17:42	H19.4.28	7:26	脱硝装置の通ガス圧力の差圧が上昇し、IDFによる回転数制御が困難になったので、休炉する。
81	渋谷	1号炉	休炉	H19.2.27	10:40	H19.3.29	17:06	H19.4.12	2:06	H19.4.12	16:26	一次押込ファン軸受冷却用の放熱板の緩みにより異音発生。部品調達できしだい休炉して補修する予定。
93	練馬	1号炉	休炉	H19.3.31	8:22	H19.3.31	10:56	H19.4.4	14:20	H19.4.5	5:00	飛灰圧送装置(ダンパアーム折損及び亀裂)故障により、休炉する。
平成18年度(2006年度)連番抜けあり27、32、						33、92						
93	練馬	1号炉	休炉	H19.3.31	8:22	H19.3.31	10:56	H19.4.4	14:20	H19.4.5	5:00	飛灰圧送装置(ダンパアーム折損及び亀裂)故障により、休炉する。
81	渋谷	1号炉	休炉	H19.2.27	10:40	H19.3.29	17:06	H19.4.12	2:06	H19.4.12	16:26	一次押込ファン軸受冷却用の放熱板の緩みにより異音発生。部品調達できしだい休炉して補修する予定。
86	灰溶融・足	1号炉	休炉	H19.3.10	11:30	H19.3.10	13:30					出滓フード下部に塩類が付着し、成長すると出滓口が閉塞する可能性があるため休炉。その後、一部の耐火物剥離も発見され、合わせて対応するとともに、そのまま中

東京23区「清掃工場故障週報」[平成14年度(2002年度)から直近まで]データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
90	豊島	1号炉	休炉	H19.3.21	15:30	H19.3.21	18:41	H19.3.28	10:00	H19.3.28	15:42	焼却炉本体の水噴霧ノズル取付部付近に炉内耐火材落下によると思われる損傷が発生したため休炉。
91	中防・破砕		休炉	H19.3.22	1:23	H19.3.22	1:30	H19.3.24	16:03	H19.3.24	22:11	2飛灰搬送コンベアがシャーピンリレートリップにより停止し、飛灰搬送が不可能となったので、休炉する。
85	板橋	2号炉	休炉	H19.3.9	9:00	H19.3.15	0:00	H19.3.20	15:33	H19.3.21	9:45	給じん装置油圧配管の油漏れ補修のため休炉。
89	江戸川	2号炉		H19.3.21	14:00					H19.3.21	19:14	2号炉給じんブッシャーから油漏れが発生し、補修のため蒸気発生量を制限する必要があったので、タービン発電機を停止した。
80	中防・不燃	2プラD	停止	H19.2.21	10:55	H19.2.21	11:10			H19.3.9	9:20	D系防爆用排風機が故障したため停止。
82	板橋	1号炉	休炉	H19.3.2	10:00	H19.3.3	0:00	H19.3.12	15:00	H19.3.13	9:19	ろ過式集じん機の差圧が上昇してきたので、点検のため休炉。
87	中防・破砕			H19.3.13	10:00	H19.3.14	8:47	H19.3.14	11:35	H19.3.14	12:00	砂投入弁が破孔して抜出循環砂漏れが発生したため立下げて補修を行う。立下げ途中に補修が完了したので立上げに移行した。
88	大田第一	2号ごみ	休炉	H19.3.15	0:49	H19.3.15	2:25					2号ごみクレーンが2号炉と3号炉の間で故障停止したため、ごみ投入が不可能となった3号炉を立下げ、そのまま調整停止に入る。
83	足立	共通	停止	H19.3.2	10:00	H19.3.4	10:04	H19.3.6	15:00	H19.3.7	7:03	タービン発電機より蒸気漏れ発生したので補修のためタービン発電機および1号炉を停止。2号炉は運転を継続。
79	板橋	2号炉	休炉	H19.2.16	9:50	H19.2.17	0:00	H19.2.26	10:00	H19.2.27	11:05	燃焼1火格子油圧シリンダーより油漏れが発生したので、補修のため休炉。
84	中防・破砕		休炉	H19.3.3	15:54	H19.3.3	19:20	H19.3.4	13:55	H19.3.4	16:20	2飛灰搬出コンベアのチェーンが脱落し、飛灰搬出ができないため休炉。
71	灰溶融・中	2号炉	休炉	H19.1.7	14:20	H19.1.7	17:00			H19.2.23		炉底電極ホルダ付近から冷却水漏れが発生したため休炉。補修工事完了後、そのまま計画停止に入る。
74	足立	2号炉	休炉	H19.2.1	10:00	H19.2.9	15:01	H19.2.22	14:25	H19.2.23	6:45	ボイラ三次過熱器に灰が堆積して閉塞気味なので、清掃のため休炉。
76	葛飾	2号炉	休炉	H19.2.3	20:51	H19.2.3	23:13	H19.2.15	21:55	H19.2.16	13:41	ろ過式集じん機 2ダストコンベアが絶縁不良により運転不能となったため休炉。
78	光が丘	1,2号ご	停止	H19.2.15	5:21	H19.2.15	10:20	H19.2.15	13:00	H19.2.16	11:00	ごみクレーン2台が使用不可となったため、1,2号炉とも立下げを開始した。立下げ途中に、2号ごみクレーンを復旧したので、順次立上げに移行した。(1号機はバケツ
70	中防・不燃	2プラD	停止	H19.1.6	3:12	H19.1.6	3:12			H19.2.6	8:30	破砕機供給フィーダのキャタピラ従動軸が破断し、キャタピラシューが脱落したため停止。
77	葛飾	共通		H19.2.9	14:26	H19.2.9	14:26	H19.2.9	16:51	H19.2.10	10:26	地震検知器の誤作動により稼働中の1号炉が非常停止となる。誤作動した検知部を新品と交換実施。
75	灰溶融・葛	1号炉	休炉	H19.2.1	23:53	H19.2.2	4:04					灰供給冷却水温度上限により電極の通電停止。灰ホッパーのレベル計及び周辺部分に熱影響による損傷が見られたため休炉し、そのまま計画点検に入る。
65	杉並	2号炉	休炉	H18.12.30	2:00	H18.12.30	2:20	H19.1.11	13:55	H19.1.12	11:35	第2乾燥段ストーカの動作不良が頻発するため休炉し、ストーカに噛み込んでいた異物除去を行った。
67	葛飾	共通		H19.1.1	16:45					H19.1.3	23:00	移送ポンプ吐出が締切り状態となったため、塩ビ製配管が熱膨張変形して破損し、苛性ソーダ1.8m程度が汚水貯留槽へ流入した。この影響によりpHが高くなった排水は
72	千歳	1号炉	休炉	H19.1.9	12:58	H19.1.9	13:17	H19.1.11	17:30	H19.1.12	12:34	主灰コンベアのリンク切れが発生したので、休炉して補修した。
73	灰溶融・板	2号炉	休炉	H19.1.9	23:45	H19.1.10	0:52					溶融炉灰投入コンベアの減速機がトリップしたため、溶融炉をホールド。補修終了後、そのまま中間点検に入る。
60	板橋	2号炉	休炉	H18.11.29	9:50	H18.11.29	15:00	H18.12.15	15:00	H18.12.16	20:00	2号ボイラ前面水冷壁管より漏れ発生。補修のため休炉。先々週分
66	灰溶融・多摩川		休炉	H18.12.31	15:55	H18.12.31	17:00	H19.1.4	17:00			空気予熱器水封部より内部へ水漏れが発生したため休炉。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				日	時	日	時	日	時	日	時	
68	新江東	3号炉	休炉	H19.1.2	9:56	H19.1.2	12:15					飛灰貯留槽用定量フィーダ(乾飛灰搬出用)故障中に加え、バイパス貯留槽用定量フィーダ(混練処理用)が故障し、どちらの飛灰処理も不可能になったため休炉し、そ
69	灰溶融・多摩川		休炉	H19.1.5	10:52	H19.1.5	10:52					空気予熱器内筒が脱落したため休炉し、そのまま中間点検に入る。
64	灰溶融・多摩川		休炉	H18.12.26	12:20	H18.12.26	12:55	H18.12.27	16:40	H18.12.28	13:15	空気予熱器搬出装置が塩化物による閉塞により動作不可となったので、清掃除去のため休炉。
62	中防・不燃	2プラC	停止	H18.12.7	15:20	H18.12.7	15:20			H18.12.11	10:00	3選別コンベア流体継手のカバーホイールのプラグ穴が割れて油漏れを起こし、運転継続不能のため停止して補修した。
63	墨田	共通		H18.12.11	12:31					H18.12.11	13:49	ストロカ駆動装置油圧ポンプのリリーフ弁に漏れがあるので、ストロカを一時停止してリリーフ弁交換を行ったが、復旧に時間を要したため、ごみ枯れにより蒸気蒸発量
28	灰溶融・品	1号炉	休炉	H18.7.26	20:00	H18.7.27	18:06	H18.11.30	18:24	H18.12.4	7:56	ガス冷却器入口高温予熱器耐火物が剥離し、落下したため休炉。対策工事を実施するとともに、オーバーホール実施後、再稼動した。
61	灰溶融・多摩川		休炉	H18.12.7	9:50	H18.12.7	9:55	H18.12.8	8:00	H18.12.8	12:00	固化物コンベアのベルトが切断したため、休炉する。
55	大田第二	3号炉	休炉	H18.11.20	3:45	H18.11.20	4:46	H18.11.24	17:00	H18.11.25	8:40	炉内に発生したクリンカが剥離し、主灰シュート閉塞の恐れがあるため、炉を停止して除去した。先週分追加
57	灰溶融・板	1号炉	休炉	H18.11.27	6:57	H18.11.27	8:07	H18.11.29	18:21	H18.11.29	18:21	主灰スクリーン三角ディスクブライン(ギア継手)の歯の磨耗により、モータが空転し、三角ディスクが作動せず、主灰シュートが閉塞した。1号溶融炉をホールド、1号焼却
58	足立	2号炉	休炉	H18.11.27	11:30	H18.11.27	16:00	H18.11.28	17:59	H18.11.29	12:29	脱気器の圧力計取付部より蒸気漏れ発生。補修のため休炉した。
59	杉並	共通		H18.11.28	14:00					H18.11.30	17:00	灰クレーン給電ケーブルの巻上機内マグネットカップラが故障し、過負荷トリップを起こした。マグネットカップラの交換を行い、復旧した。
54	杉並	1号炉	休炉	H18.11.17	15:00	H18.11.17	16:00	H18.11.22	14:00	H18.11.24	0:45	主灰シュート内が閉塞気味で、灰の出かたが不安定なため停止して点検を行う。点検結果、3分の2程度が閉塞していることが確認され、閉塞解除を行い、復旧した。
56	渋谷	1号炉	休炉	H18.11.22	10:00	H18.11.22	11:19	H18.11.25	0:08	H18.11.25	11:35	蒸気式ガス再加熱器のドレン配管において蒸気漏れが発生。休炉して補修した。
53	大田第二	3号炉	休炉	H18.11.10	21:00	H18.11.11	0:00	H18.11.16	17:00	H18.11.17	12:42	炉内に発生したクリンカが剥離し、主灰シュート閉塞の恐れがあるため、炉を停止して除去した。
50	板橋	1号炉	休炉	H18.10.19	10:00	H18.10.21	12:00	H18.11.5	15:00	H18.11.6	11:17	ろ過式集じん機の差圧が上昇し、内部の閉塞の可能性があるため休炉した。内部点検の結果、閉塞していたため清掃除去した。その後、循環ファンのケーブル不良も認
52	大田第二	1号炉	休炉	H18.11.1	11:50	H18.11.1	17:00	H18.11.8	17:00	H18.11.9	10:03	炉内でクリンカが発生。破碎措置を行った上でクリンカを落下させたが、主灰シュートで閉塞したため、炉を停止した。
51	大田第一	3号炉	休炉	H18.10.30	15:00	H18.10.31	16:30					炉壁に付着したクリンカが肥大し、ごみ供給が困難になったため、炉を休炉する。停止後、引き続き調整停止に入る。
17	灰溶融・品	2号炉	休炉	H18.6.20	10:00	H18.6.20	11:10	H18.10.21	22:00	H18.10.23	10:13	ガス冷却器入口高温予熱器耐火物が剥離し、落下したため休炉。対策工事を実施後、復旧した。
49	灰溶融・多摩川		休炉	H18.10.13	8:52	H18.10.13	10:08	H18.10.19	10:00	H18.10.20	9:30	二次燃焼室側壁に堆積したスラグが水砕水槽に落下したため、水砕水が急激に蒸発して炉内圧力が上昇し、主燃焼バーナーが停止した。当日17:00に予定していた月例減温塔ダスト切替ダンパ下部が飛灰で閉塞したので2号炉を休炉した。休炉していた3号炉を立上げ、2号炉は当分の間、休炉とする。
47	新江東	2号炉	休炉	H18.10.5	6:30	H18.10.11	14:00					2燃焼ストロカ右側が動作不良となったため休炉し、原因となった金属固着物を除去した。
44	灰溶融・多摩川		休炉	H18.9.28	9:51	H18.9.28	10:08	H18.10.2	10:00	H18.10.3	9:14	空気予熱器搬出装置が塩化物の閉塞により動作不良となったので、除去のため休炉。
47	品川	2号炉	休炉	H18.10.8	23:00	H18.10.9	14:00					2燃焼ストロカ右側が、通常ストローク150mmのところ、35mmしか動かなくなり、点検するも45mmしか動かないため立ち下げた。
40	千歳	1号炉	休炉	H18.9.14	8:45	H18.9.26	9:04	H18.9.27	19:25	H18.9.28	13:11	蒸気式ガス再加熱器ドレントラップ部より蒸気漏れが発生。補修のため休炉した。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
45	中央	2号炉	休炉	H18.9.28	20:22	H18.9.28	21:15	H18.9.29	11:16	H18.9.30	5:48	薬剤供給ブロワの電流が高くなり、薬剤供給配管の閉塞が推測されたので休炉し、薬剤の閉塞を除去した。
46	中防・不燃	2プラD	停止	H18.9.29	12:44	H18.9.29	12:44					破砕機が振動異常及び高電流となり停止した。開放点検の結果、供給フィーダーのキャタピラシュー及びチェーンの脱落が確認された。このままオーバーホールに入
42	中防・破砕			H18.9.18	10:01	H18.9.18	10:01	H18.9.18	13:30	H18.9.18	15:20	給じん装置の駆動チェーンが破断し、ごみ供給が出来なくなったので、立下げに入る。降温途中で修理完了したので、昇温に移行し復旧した。
43	豊島	1号炉	休炉	H18.9.19	17:30	H18.9.19	20:01	H18.9.20	20:14	H18.9.20	21:53	1号、2号ともに活性炭が吹き込まれなくなったため、両炉とも休炉した。原因は、活性炭供給配管及び吹き込みノズルの閉塞であり、これを除去後、順次復旧した。
43	豊島	2号炉	休炉	H18.9.19	17:30	H18.9.19	21:12	H18.9.21	13:06	H18.9.21	18:00	1号、2号ともに活性炭が吹き込まれなくなったため、両炉とも休炉した。原因は、活性炭供給配管及び吹き込みノズルの閉塞であり、これを除去後、順次復旧した。
38	大田第二	3号炉	休炉	H18.9.1	6:00	H18.9.1	9:00	H18.9.15	17:00	H18.9.16	8:31	炉内にクリンカが発生したので、除去のため炉を停止。
39	中防・不燃	2プラC	停止	H18.9.5	21:12	H18.9.5	22:10			H18.9.8	21:20	小径ふるい選別機の電流が上昇し、異音が確認された。原因はベアリング破損と判断し、補修のため停止。先週分
40	中防・破砕		休炉	H18.9.15	21:33	H18.9.16	12:00	H18.9.16	18:08	H18.9.16	21:01	ストブロワDが自動運転中に過負荷停止したので手動操作中、手動ハンドル用ボルトが折損。先端部が垂れることが予想されたため休炉。応急措置後、復旧。
35	大田第二	1号炉	休炉	H18.8.19	20:30	H18.8.19	21:00	H18.8.24	17:05	H18.8.25	11:15	HCL冷却吸収塔に穴が開いて水漏れが発生。補修のため炉を停止。先週分
35	豊島	1号炉	休炉	H18.8.24		H18.8.24	14:01	H18.8.30	21:00	H18.8.31	5:24	ボイラドラム付液面計の補修を行なうため、炉を停止。
36	新江東	3号炉	休炉	H18.9.1	5:25	H18.9.2	14:00					1ダストコンベアLに異物が噛み込み、コンベアが動作不能となる。異物除去のため休炉する。休炉していた2号炉を立上げて、3号炉は当分の間、休炉とする。
37	大田第二	3号炉	休炉	H18.9.1	6:00	H18.9.1	9:00					炉内にクリンカが発生。主灰シュート閉塞のおそれがあるため炉を停止。
30	大田第二	1号炉	休炉	H18.8.4	7:34	H18.8.4	10:00	H18.8.18	17:03	H18.8.19	11:38	減温塔スクリーコンベアが過負荷停止したので、点検のため炉を停止。
34	多摩川	1号炉	休炉	H18.8.16	15:30	H18.8.16	16:37	H18.8.18	20:58	H18.8.19	9:41	回転ストーカロータリージョイント部より蒸気漏れが発生。補修のため炉を停止。
89	灰溶融・足	1号炉	休炉	H18.3.11	0:48	H18.3.11	0:48			H18.8.10	17:00	溶融炉の漏れ電流値が上昇したため停止。原因部の改修工事を実施した。
31	墨田	1号炉	休炉	H18.8.7	1:00	H18.8.7	5:04	H18.8.11	12:30	H18.8.12	10:50	主灰シュートブリッジ発生により、焼却炉を停止。
29	大田第二	1号炉	休炉	H18.7.27	23:05	H18.7.28	1:00	H18.7.28	17:00	H18.7.29	4:37	減温塔スクリーコンベアが過負荷停止したので、点検のため炉を停止。
22	足立	1号炉	休炉	H18.6.30	13:30	H18.7.7	15:00	H18.7.17	13:17	H18.7.18	5:55	焼却炉給塵部ライナが変形がしたので、補修のため停止。
26	練馬	1号ごみクレ-		H18.7.19	6:55					H18.7.19	11:35	1号ごみクレーンがインバートリップにより走行不能となった。回復させるまでの間に2号炉内がごみ枯れとなり、蒸気量不足によりタービン停止。
23	目黒	2号炉	休炉	H18.7.4	0:00	H18.7.8	0:00	H18.7.12	16:48	H18.7.13	14:26	ごみ給じんホッパ・ウオータージャケットより水漏れが発生したので、補修作業のため停止。
24	千歳	共通		H18.7.7	7:38					H18.7.7	14:39	タービン入口蒸気圧力検出導管が閉塞し、検出圧力が低下したかのように誤指示したため、タービンがトリップした。先週分
25	多摩川	共通		H18.7.11	17:30					H18.7.12	15:30	塩酸貯槽(濃度35%)のドレン抜き配管フランジのボルト4本中2本が腐食、脱落し、フランジの隙間より塩酸約200Lが漏洩した。
17	目黒	共通	休炉	H18.6.20	17:16	H18.6.20	20:33	H18.6.26	16:50	H18.6.27	15:53	タービン発電機AVR故障により発電機停止。2炉運転は負荷電力が最大需要電力を超えるため1号炉を停止した。
19	豊島	1号炉	休炉	H18.6.22	17:50	H18.6.23	2:13	H18.6.27	20:17	H18.6.28	2:10	焼却炉内壁面に付着したクリンカーが剥離した。クリンカーにより流動層が流動不良となり、クリンカーを除去するために停止した。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
20	灰溶融・足	2号炉	休炉	H18.6.28	3:00	H18.6.28	3:04	H18.6.30	14:10	H18.7.1	11:00	出滓口部が閉塞気味になったことにより、炉内の負圧維持が困難になりつつあったので、安全のため停止。
11	大田第一	1号炉	休炉	H18.5.26	15:00	H18.5.26	16:15	H18.6.19	12:12	H18.6.20	3:27	乾燥火格子駆動軸がシール不良となったので、補修のため停止した。
18	光が丘	1号炉		H18.6.20	20:25	H18.6.20	20:53	H18.6.23	1:00	H18.6.23	20:00	過熱器の熱電対交換作業時に熱電対の先端が折損して脱落して、ボイラ飛灰ロータリバルブに噛み込んだので、除去のため停止した。
87	灰溶融・足	2号炉	休炉	H18.3.7	14:38	H18.3.7	14:38	H18.5.31	17:16	H18.6.15	13:15	溶融炉の漏れ電流値に上昇が見られたので、安全上及び原因調査のため停止。
16	灰溶融・多摩川		休炉	H18.6.12	5:35	H18.6.12	6:07	H18.6.13	12:00	H18.6.14	12:00	空気予熱器灰搬出装置が、塩化物の閉塞により動作不良となったので、除去清掃のため停止。
13	品川	1号炉	休炉	H18.6.2	7:02	H18.6.2	10:00	H18.6.5	15:00	H18.6.6	15:00	減温塔ロータリースクレーパが過負荷となったので、点検のため停止。
15	練馬	1号炉	休炉	H18.6.3		H18.6.3	10:00	H18.6.7	9:47	H18.6.7	22:55	ごみホッパ消火弁用電磁弁が不良となり、水漏れしたため焼却炉を停止。
10	多摩川	共通		H18.5.16	21:09					H18.6.1	17:00	ごみクレーンA号機を自動運転中、バケット開閉用油圧ポンプのELBが作動。調査の結果、給電ケーブル接続箱内のスワッピング、ブラシが絶縁不良となっていた。
12	中央	共通	休炉	H18.6.1	23:47	H18.6.2	0:06	H18.6.2	10:46	H18.6.2	15:22	液面制御弁作動不良により冷却水槽液面が下降したため、計装用空気圧縮機等がインターロック停止した。これに伴い2号炉及びタービン発電機を停止した。
14	新江東	1号炉	休炉	H18.6.2	16:31	H18.6.6	21:00					エコマイザ下ロータリーバルブのギヤとカバーの接触によりトルクリミットが作動したため、補修のため停止。予定を7日早めて、そのまま中間点検に入る。
4	大田第一	1号炉	休炉	H18.4.20	0:02	H18.4.20	1:30	H18.5.25	21:21	H18.5.26	4:01	炉壁にクリンカが堆積して、ごみの供給が不良となったため停止。
9	足立	共通		H18.5.15		H18.5.20	15:00	H18.5.22	17:02	H18.5.22	20:17	蒸気タービン抽気配管から蒸気漏れが発生。補修のため発電設備を停止。
6	灰溶融・板	2号炉	休炉	H18.5.9	9:00	H18.5.13	18:00			H18.5.20	12:30	主灰スクリーンのディスク磨耗および油圧モーターの振動が認められたので、補修のため2号溶融炉をホールド、2号焼却炉を停止。
7	目黒	2号炉	休炉	H18.5.11	17:00	H18.5.16	0:00	H18.5.18	17:00	H18.5.19	17:55	中間点検中の2号炉高圧ヘッダー付きタービン入り口弁フランジより蒸気漏れ発生。補修部が共通部にかかるため、1号炉を停止。
3	光が丘	1号炉	休炉	H18.4.18	14:00	H18.5.6	8:00	H18.5.11	1:00	H18.5.11	21:00	2ストブローが異常振動を起こしたので、点検補修ため停止。
5	灰溶融・品	2号炉	休炉	H18.5.4	13:00	H18.5.4	17:00	H18.5.8	21:00	H18.5.9	10:00	スラグ室Bの温度が上昇し、スラグ落口内壁にスラグが付着が確認された。スラグ室Bの内部清掃のため停止。
8	北	1号炉		H18.5.14	16:07					H18.5.14	16:55	油圧ポンプ出口圧力低下によりフィーダとストーカが動かなくなったため、炉の蒸発量が低下してタービン発電機がトリップ。
93	灰溶融・品	2号炉	休炉	H18.3.28	17:45	H18.3.28	19:17	H18.4.14	0:00	H18.4.14	12:30	溶融炉の炉床温度が上昇したので、安全のため立下げ。先週分追加
1	灰溶融・品	2号炉	休炉	H18.4.14	21:00	H18.4.15	9:22	H18.4.18	0:00	H18.4.18	12:00	スラグ室の温度が上昇し、加えてスラグ落口内壁に付着したスラグが成長したので、スラグ室の内部清掃のため停止。
2	大田第二	1号炉	休炉	H18.4.15	10:30	H18.4.15	11:00	H18.4.21	17:00	H18.4.22	12:00	後燃ストーカが動作不調になったので点検のため停止。アルミの溶着が原因であった。
96	灰溶融・品	1号炉	休炉	H18.3.31	15:00	H18.4.1	11:08			H18.4.3	19:45	空気予熱器の差圧が上昇したので、空気予熱器内部清掃のため停止。
95	中防・不燃		休炉	H18.3.28	4:50	H18.4.2	9:00			H18.4.2	16:24	2号ごみクレーン乱巻き修正作業中にワイヤ及びケーブルが切断し、バケットが落下した。復旧作業をバンカ内で行なうため1号クレーンも停止し、焼却を停止する。
平成17年度(2005年度)												

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
93	灰溶融・品	2号炉	休炉	H18.3.28	17:45	H18.3.28	19:17	H18.4.14	0:00	H18.4.14	12:30	溶融炉の炉床温度が上昇したので、安全のため立下げ。先週分追加
89	灰溶融・足	1号炉	休炉	H18.3.11	0:48	H18.3.11	0:48			H18.8.10	17:00	溶融炉の漏れ電流値が上昇したため停止。原因部の改修工事を実施した。
87	灰溶融・足	2号炉	休炉	H18.3.7	14:38	H18.3.7	14:38	H18.5.31	17:16	H18.6.15	13:15	溶融炉の漏れ電流値に上昇が見られたので、安全上及び原因調査のため停止。
91	光が丘	2号炉	休炉	H18.3.12	18:40	H18.3.26	8:00	H18.3.29	1:00	H18.3.29	20:00	冷却吸収塔塔底槽の水位上昇が認められた。オーバーフローシールボックス内の閉塞が考えられるため、炉を停止して閉塞を解除する予定。
92	中防・破碎			H18.3.26	16:50	H18.3.26	17:15			H18.3.27	21:50	B系破碎機の試運転時に、ロータ軸受けに異常振動を感知したため、一度運転を停止し再起動をかけたところロータがロックして回転不能になり、電流値がオーバーして
94	杉並	3号炉	休炉	H18.3.29	10:30	H18.3.29	11:00					主灰シュート上部温度の変化状況などから、主灰シュートに灰が固着している可能性が高いため、炉を停止して点検・清掃することとした。このまま予備炉に入る
95	中防・破碎		休炉	H18.3.28	4:50	H18.4.2	9:00			H18.4.2	16:24	2号ごみクレーン乱巻き修正作業中にワイヤ及びケーブルが切断し、バケットが落下した。復旧作業をバンカ内で行なうため1号クレーンも停止し、焼却を停止する。
90	板橋	共通		H18.3.21	18:50					H18.3.22	16:30	受入灰クレーンバケット開放用ピンの破損を発見。
84	足立	2号炉	休炉	H18.3.2	8:30	H18.3.2	17:30	H18.3.14	13:34	H18.3.16	9:32	煙突入口Hg計の値が上昇し、自己規制値を維持出来なくなる恐れがあると判断し、立ち下げを開始。
82	灰溶融・板	1号炉		H18.2.27	13:13	H18.2.27	13:13			H18.3.9	19:30	1号溶融炉投入コンベヤの従動側軸受より灰漏れが発生しているのを発見し、清掃・点検を実施したところ、軸が破断しているのを発見した。
85	墨田	共通		H18.3.4	19:43					H18.3.6	20:49	蒸気タービン発電機の立上げ約4時間後に発電機重故障(発電機内部故障(87G)動作)により発電機及びタービンが停止した。
86	足立	共通		H18.3.7	14:00					H18.3.8	15:03	蒸気タービン暖管ライン付きドレインフランジの蒸気漏れを発見した。蒸気タービンを停止させ、ガスケットの交換を行う。
88	中防・不燃	2プラD	停止	H18.3.8	21:25					H18.3.10	17:37	D系破碎機後段の破碎物搬出コンベヤのトラフライナーと内部の防爆用蒸気吹込ノズルが脱落し、トラフ本体にも亀裂が入っていることが判明したため、補修作業を行
81	多摩川	2号炉	休炉	H18.2.21	10:30	H18.2.21	20:00	H18.2.28	8:58	H18.2.28	21:55	排ガス洗浄塔、緊急冷却水入口フランジ部より排ガス漏れ。
83	灰溶融・板	2号炉		H18.2.18	1:41	H18.2.18	1:41	H18.3.1	2:10	H18.3.1	17:18	2号溶融炉主電極B側E相把持器よりスパークが発生し、溶損したため灰処理を停止し、A側のみでの通電ホールドとした。
79	光が丘	2号炉	休炉	H18.2.8	21:45	H18.2.10	0:30					焼却炉の立ち上げ後、塩化水素除去設備の冷却水量の不足が認められた。冷却水スプレイノズルの閉塞が考えられるため、炉を停止してノズルを交換する予定。この
80	豊島	1号炉	休炉	H18.2.12	20:30	H18.2.17	10:55	H18.2.24	10:36	H18.2.24	16:04	蒸気式ガス再加熱器出口の蒸気戻り配管フランジ部より漏れ発生。補修のため焼却炉を停止する。立下日時変更
77	多摩川	共通		H18.2.6	18:44					H18.2.14	16:30	ごみクレーンA号機を自動運転中、バケットがごみを掴まない状態となった。調査の結果、バケット内油圧ポンプの不良が判明。
78	光が丘	2号炉		H18.2.6	21:37	H18.2.7	0:10			H18.2.7	21:45	飛灰輸送装置のヒーター部が漏電し"2号飛灰空気輸送盤一括故障"が発報して通電不能となった。同装置の温度が低下したのに伴い、飛灰の固着が予想されるため、
76	目黒	2号炉	休炉	H18.1.25	5:08	H18.1.26	0:00	H18.1.30	17:00	H18.1.31	15:01	ボイラ薬注装置の脱酸剤注入ポンプで吐出圧力が上昇し、薬剤が逃がし弁を通してバイパスされてしまいボイラ注入量が減少した。脱酸剤注入ポンプから脱気器間の閉
74	灰溶融・板	共通		H18.1.22	15:14					H18.1.28	5:00	塩基度調整材コンベヤCの立上り部の主務チェーン押さえレールが破損のため運転不可となった。塩基度調整材の切出不可のため、飛灰処理を停止し、主灰のみの灰
75	杉並	3号炉		H18.1.23	13:55					H18.1.23	17:00	IDF現場盤上の蛍光灯安定器の交換作業を行っていたところ、作業者のひざがIDF補機の停止ボタンに誤って触れてしまい、IDF重故障が発報、トリップに至った。IDF
73	足立	1号炉		H18.1.16	1:00					H18.1.16	21:00	1号炉内監視ITVモニターにより焼却炉内へごみが送られてこないことを認知した。現場にて、給じんフィーダBOXを開放し、フィーダ本体とシリンダーロッドの接合部の
73	足立	2号炉		H18.1.16	12:00					H18.1.17	11:55	1号炉内監視ITVモニターにより焼却炉内へごみが送られてこないことを認知した。現場にて、給じんフィーダBOXを開放し、フィーダ本体とシリンダーロッドの接合部の

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
71	板橋	2号炉	休炉	H18.12.29	19:20	H17.12.29	20:30	H18.1.10	14:00	H18.1.11	9:56	燃焼状態を監視中、後燃焼帯の灰のレベルが高くなり始めたので、現場確認したところ、後燃焼ストーカBレーンのシリンダー取付部分が外れていた為、炉の停止に入った。
70	灰溶融・足	1号炉	休炉	H17.12.26	10:50	H17.12.26	11:20			H17.12.31	13:30	灰溶融炉用集じん機下部シュート部が詰まり、溶融飛灰の搬出が出来なくなった。(前週分追加)
72	足立	共通	休炉	H17.12.25	13:30	H18.1.3	9:58	H18.1.4	13:38	H18.1.5	13:05	蒸気復水設備の空気抽出用エゼクタのフランジ部で蒸気漏れを発見。フランジガスケットの交換のため2号炉停止。
64	江戸川	1号炉	休炉	H17.12.8	10:00	H17.12.8	11:00	H17.12.22	18:00	H17.12.23	15:00	1号ボイラ右側壁燃焼室下部より蒸気漏れが発生。
66	足立	2号炉	休炉	H17.12.16	13:02	H17.12.16	14:35	H17.12.22	11:37	H17.12.23	7:22	乾燥帯No1と3の火格子温度急上昇が発生し、さらに、No1乾燥帯ホッパシュート部が赤熱したため、調査のため焼却炉を停止した。
67	港	3号炉	休炉	H17.12.16	15:06	H17.12.16	23:00	H17.12.22	21:01	H17.12.23	15:17	冷却減湿塔冷却用スプレーノズルのキャップが外れており、流量制御不可。
68	目黒	1号炉	休炉	H17.12.17	10:00	H17.12.20	17:00	H17.12.22	17:03	H17.12.23	9:54	1号炉SGHと脱気器間の配管でバルブ本体より蒸気漏れ発生。蒸気漏れが徐々に激しくなるのでバルブ交換作業のため焼却炉を停止した。
69	中央	2号炉	休炉	H17.12.20	13:30	H17.12.20	17:00	H17.12.21	17:26	H17.12.22	11:54	2号脱硝設備アンモニア酸化用空気加熱器ドレンコックより漏れを発見。同時に加熱器内部より蒸気の漏れる音も確認した。加熱器からの蒸気漏れと判断し立下げシー
19	灰溶融・足	1号炉	休炉	H17.5.26	20:03	H17.5.26	20:03	H17.12.12	8:40	H17.12.16	13:30	1号溶融炉の炉内圧力が異常上昇したため、緊急停止。(前週分追加)
63	大田第二	3号炉	休炉	H17.12.4	4:28	H17.12.4	5:45	H17.12.5	17:39	H17.12.6	12:58	灰搬送コンベアのチェーン連結ピンの摩耗により、チェーンが破断した。
65	豊島	2号炉	休炉	H17.12.10	0:08	H17.12.10	2:41	H17.12.10	20:20	H17.12.11	0:09	2号ろ過式集じん機下ロータリーバルブに異物が噛込み過負荷となり、軸受を破損させ運転不能となり炉を停止。
60	目黒	共通		H17.11.28	1:38					H17.11.30	12:34	タービンドレンタンク液面制御用現場発信器が故障して液面制御ができなくなり、ドレンタンクが空になった。そのため、ドレンタンクより空気がタービンに逆流して排気復
61	中央	共通	休炉	H17.11.28	7:13	H17.11.28	12:23	H17.11.29	15:18	H17.11.30	13:01	タービン排気圧力が上上限になる。調査の結果大気放出板フランジ部から空気の吸い込みを確認したため、タービン発電機を緊急停止させた。フランジ部パッキンを交
62	江戸川	1号炉	休炉	H17.12.1	23:40	H17.12.2	1:00	H17.12.4	18:00	H17.12.5	16:00	1号飛灰貯槽に閉塞が発生して運転継続不可能となったので、焼却炉を立ち下げた。
58	新江東	3号炉	休炉	H17.11.10	11:00	H17.11.12	21:00	H17.11.17	21:10	H17.11.18	20:42	3号炉ボイラ1パス上部管寄せハンドホールより蒸気漏れ。
59	板橋	1号炉	休炉	H17.11.13	8:06	H17.11.13	10:30	H17.11.17	17:25	H17.11.18	19:25	主灰シュート切り替えダンパ動作不良。シュートの閉塞と判断し立下げ。
57	多摩川	共通		H17.11.10	18:23					H17.11.12	18:00	ごみクレーンA号機の自動運転中に、パンカのごみの上で着床した状態でワイヤーが緩み、解除作業中に支持ワイヤ4本中2本のストランドが切れバケット開閉用回路が
56	大田第一	1号炉	休炉	H17.11.2	21:54	H17.11.3	0:45	H17.11.4	13:12	H17.11.5	3:26	減湿塔ダストコンベヤのフライト(板)が仕切板(行きと戻りを分離する為の板)と接触し、脱落した。その脱落したフライトをコンベヤ内部で噛み込んだ為、停止した。
55	豊島	1号炉		H17.10.29	14:15	H17.10.29	14:34	H17.10.29	19:51	H17.10.29	20:30	1号炉ごみ供給機のシュート部にブリッジが発生し、ごみの供給が不能になった。
46	新江東	2号炉	休炉	H17.9.18	11:00	H17.9.22	21:00					2号炉燃焼ストーカL側が後進時に戻りきらず停止してしまうため、休炉して点検・補修する。
53	練馬	1号炉	休炉	H17.10.16	0:00	H17.10.16	2:00	H17.10.18	6:00	H17.10.18	18:00	消石灰吹込みプロアの圧力及び電流上限警報が多発し配管ラインを確認したが特に異常は見られなかった。その後、切出装置が停止し消石灰吹込み不能となった
54	中防・不燃	1プラB	停止	H17.10.17	21:10	H17.10.17	22:00			H17.10.18	18:50	不燃第一プラント破砕機内で爆発。
42	大田第二	3号炉	休炉	H17.8.29	2:15	H17.8.31	17:00	H17.10.11	17:20	H17.10.12	8:40	後燃ストーカ動作不良のため、炉を停止し調査する。
47	中防・破砕		休炉	H17.9.24	10:30	H17.9.26	14:00	H17.10.9	17:37	H17.10.10	4:35	ごみ供給機の変速機の制御がきかなくなる故障により停止。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
51	江戸川	2号炉	休炉	H17.10.1	11:00	H17.10.1	14:00	H17.10.7	20:00	H17.10.8	17:00	2号炉燃焼室左側壁管寄せ近傍から水漏れ発生のため、2号炉を停止。
52	中防・不燃	2プラD	停止	H17.10.1	18:07	H17.10.1	19:30			H17.10.5	9:00	D系大径ふるい選別機の受けローラ軸受けから異音と発熱があり、スラスト方向下流側にずれていることが確認されたため停止。
48	豊島	2号炉	休炉	H17.9.26	13:40	H17.9.26	15:05	H17.9.28	7:27	H17.9.28	13:32	減温塔内から濡れたダストが搬出されたので点検のため焼却炉を停止する
49	練馬	2号炉	休炉	H17.9.8	9:00	H17.9.27	13:00	H17.9.30	6:00	H17.9.30	18:00	ごみクレーンのバケットの爪がホッパーステージの保護鉄板に引っかかり鉄板が外れてしまったこと、2号炉の2次燃焼空気用ダクトのエキスパンション部が破損して
50	灰溶融・多摩川		休炉	H17.9.28	19:21	H17.9.28	19:54	H17.9.30	17:00	H17.10.1	16:28	熔融炉空気予熱器灰搬出装置のシュート内部の塩化物による閉塞のため、熔融停止。
44	足立	2号炉	休炉	H17.9.9	16:37	H17.9.13	14:54	H17.9.14	14:35	H17.9.15	3:40	アンモニア移送ポンプのアキュムレータ不良による気化器への移送不足のため、アンモニア気化器のレベル維持が困難なため立下げ。
45	中防・不燃	D系	停止	H17.9.14	22:30	H17.9.14	22:40			H17.9.15	18:00	10Gの高振動を軸受にて感知、その後受動側軸受の温度が上昇し95度になり破砕機が自動停止した。
43	足立	2号炉	休炉	H17.9.2	10:30	H17.9.2	16:34	H17.9.5	14:00	H17.9.6	7:02	2ボイラ下部スクリーコンベヤにおいて軸側冷却水入口部ロータリージョイントからの漏水を発見。漏れ増大傾向にあると判断し焼却炉立下げ。
41	中防・不燃	CD共通	休炉	H17.8.24	20:00	H17.8.24	20:00			H17.8.26		雑用コンプレッサの主幹NFBがトリップし停止した。調査の結果、同電動機(AC400V75KW)が焼損していることが判明。25日に片系運転開始。
39	墨田	1号炉	休炉	H17.8.18	11:30	H17.8.18	14:45	H17.8.23	20:31	H17.8.24	15:40	No.2主灰ホッパシュートにてブリッジ発生。
40	中防・破砕		休炉	H17.8.22	2:30	H17.8.22	3:39	H17.8.22	14:30	H17.8.22	17:13	環境局変電所にて地絡事故発生。発電機連絡しゃ断器トリップ。発電機が停止し契約電力超過の恐れがあるため焼却炉停止。
36	灰溶融・足	2号炉		H17.7.5	22:30					H17.7.23	15:10	2号系炉体冷却水用Y型ストレーナの閉塞による、冷却水量の低下。ホールドに入る。
37	墨田	共通		H17.8.12	21:58	H17.8.12	12:02	H17.8.13	1:19	H17.8.13	7:25	落雷のため東京電力管内にて停電発生。同時刻工場内のタービンがトリップ。ボイラドラム下下限により焼却炉緊急停止。
38	中防・破砕		休炉	H17.8.13	19:30	H17.8.13	19:50	H17.8.14	18:11	H17.8.14	22:34	ごみ供給機内のごみの圧密による移動軸の偏心、過負荷。
34	足立	2号炉	休炉	H17.7.22		H17.8.1	13:00	H17.8.4	13:00	H17.8.5	10:50	2号炉SGH入口ドレトラップバイパス弁及び出口ドレトラップ後弁のフランジより蒸気漏れが発生し徐々に拡大してきたので、炉を停止して補修する。
35	北	1号炉		H17.8.6	15:29	H17.8.6	15:29	H17.8.6	16:30	H17.8.6	18:15	ろ過式集じん機ラインオフダンパー操作空気減圧弁からエアの噴出しあり。空気圧がなくなった時点でラインオフダンパーが「閉」となり、集じん機出口圧LLとなりイン
32	目黒	2号炉	休炉	H17.7.23	17:00	H17.7.23	20:40	H17.7.26	18:00	H17.7.27	9:38	2号炉減温塔減温水エア配管の詰まりにより、飛灰コンベヤ類が浸水した。これによりコンベヤ類が過負荷で停止し飛灰搬送ができなくなり焼却炉を停止した。
33	目黒	共通		H17.7.27	8:21					H17.7.28	17:34	1号ごみクレーン開閉給電ケーブル用ケーブルリール・ブレーキ故障
30	中央	1号炉	休炉	H17.7.17	17:30	H17.7.17	21:02	H17.7.21	13:20	H17.7.22	12:10	1号炉乾燥ストーカ下ホッパ取り付け溶接部にクラックを発見。
31	千歳	共通		H17.7.20	10:30					H17.7.21	18:00	灰クレーンの横行ケーブルハンガーが破損、給電ケーブルも損傷したためクレーンが操作不能となった。
29	有明	1号炉		H17.7.12	14:30	H17.7.15	9:00	H17.7.15	11:30	H17.7.15	13:00	排ガス再加熱器より蒸気漏れ。
23	大田第二	2号炉	休炉	H17.6.19	4:14	H17.6.19	6:05	H17.7.5	17:36	H17.7.6	14:35	灰コンベアが停止したため、逆転・正転を繰り返したが稼働せず。このまま中間点検に入る。
27	江戸川	2号炉	休炉	H17.7.2	11:00	H17.7.3	9:00	H17.7.6	16:00	H17.7.7	20:00	2号飛灰貯槽のレベル異常が発報し、貯槽内の閉塞が濃厚となったため、焼却炉を停止。
28	江戸川	共通	休炉	H17.7.3	13:00	H17.7.3	14:00	H17.7.8	18:00	H17.7.9	15:00	冷却水揚水ポンプ(No.2)が過電流トリップし、そのまま起動不能となり、緊急に1号炉を停止。なお、冷却水揚水ポンプ(No.1)は、電動機に異常がありメーカーの工場に搬

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
25	豊島	1号炉	休炉	H17.6.23	16:35	H17.6.23	20:04	H17.6.28	8:05	H17.6.28	14:26	焼却炉内壁面に付着したクリンカが剥離する。クリンカにより流動床が流動不動となり、クリンカを除去するために焼却炉を停止する。
26	千歳	共通		H17.6.28	23:25							純水設備廃液中和槽の塩酸注入バルブが腐食し破損。塩酸が漏洩し隣接した放流水槽のマンホールから塩酸が流入した。放流水pH測定下限値が発報、放流ポンプを2号ボイラ下部 1ダストコンベアの冷却水流量不足によりコンベアに焼損の恐れがあるため炉を停止。
20	足立	2号炉	休炉	H17.6.3	21:20	H17.6.10	15:41	H17.6.20	13:00	H17.6.21	7:33	火格子下シュートの閉塞による火格子の動作不良のため立下げ。
22	板橋	2号炉	休炉	H17.6.16	9:00	H17.6.18	0:00	H17.6.22	15:00	H17.6.23	9:11	ろ過式集じん機のダスト払落しパルスエアが動作していなかったため、ろ過式集じん機内部差圧が高い状態となり、復旧できなくなった。
24	練馬	1号炉	休炉	H17.6.20	9:00	H17.6.20	13:30	H17.6.22	11:32	H17.6.23	1:05	ボイラ第2仕切壁底部傾斜伝熱管の溶接部の破断。
18	大田第二	3号炉	休炉	H17.5.30	12:38	H17.5.30	12:38	H17.6.17	17:29	H17.6.18	9:27	1号炉バグ入口温度検出器が断線したため、バグ入口温度計測値が350（実際の温度は150）超えの指示となり、インターロックにより集じん機出入口ダンパ「閉」、IDFが
21	有明	1号炉		H17.6.12	19:41	H17.6.12	19:41	H17.6.12	20:45	H17.6.12	21:51	蒸気式ガス再加熱器の蒸気漏れのため停止
16	北	1号炉	休炉	H17.5.25	13:16	H17.5.25	13:46	H17.6.2	20:00	H17.6.3	10:10	1号炉系統の高圧蒸気だめから空気抽出用エゼクタへの蒸気配管から蒸気漏れを発見。補修作業のため1号炉を立ち下げ。
17	江戸川	1号炉	休炉	H17.5.28	14:00	H17.5.28	15:00	H17.5.30	18:00	H17.5.31	16:00	給熱ヘッダ配管のバルブフランジより蒸気漏れ。増し締めをしたが止まらなかったため炉停止。
15	足立	1号炉	休炉	H17.5.9		H17.5.18	10:00	H17.5.21	13:00	H17.5.22	6:15	破碎機が高振動レベルHHを検知したため緊急停止した。開放点検した結果、ハンマーが破損し脱落していた。原因物とみられる鉄塊が破碎機内等から発見され、合
13	中防・不燃	B系	休炉	H17.5.11	12:30	H17.5.11	12:30			H17.5.17	8:30	No.2飛灰コンベヤ減速機の軸振れ、およびそれに伴うオイルシール損傷による油漏れ。
14	中防・破碎		休炉	H17.5.1	17:40	H17.5.22	0:08	H17.5.22	18:41	H17.5.22	22:30	IDFチェーンカップリングより異音が発生。調査の為、炉を停止する。
6	大田第一	3号炉	休炉	H17.4.8	8:30	H17.4.12	12:00	H17.5.9	12:20	H17.5.10	3:04	"2号飛灰空気輸送装置異常(クッションホッパ上限)"が発報して飛灰輸送不能となった。クッションホッパ内を確認すると、かなり湿った灰が堆積していた。
10	光が丘	2号炉	休炉	H17.4.28	21:39	H17.4.29	5:20	H17.5.9	13:30	H17.5.10	0:15	ごみ供給機のスクリー羽根先端部の硬化肉盛部が摩擦力により摩耗し定量供給に影響を与えているため焼却を停止。
12	中防・破碎		休炉	H17.3.22		H17.5.3	4:00	H17.5.4	19:00	H17.5.5	0:32	煙突入口排ガス分析計のSO2値の変動が認められた。測定器の点検・校正及び排ガス処理設備の点検等を行いながら運転していたが、値の振れ幅が大きくなったため
3	足立	2号炉	休炉	H17.3.29		H17.4.5	21:30	H17.4.21	18:43	H17.4.22	12:10	集じん器下ホッパ(2L)が飛灰の堆積により閉塞。
9	大田第一	2号炉	休炉	H17.4.22	0:51	H17.4.22	12:03	H17.4.28	12:00	H17.4.29	5:21	2号炉給じん装置のシリンダとプッシャ(フィーダ)の連結部の破損によりごみ供給不良発生。捕集を行いごみ投入を再開。
11	足立	2号炉		H17.4.29	17:00	H17.4.29	19:48			H17.4.30	15:05	灰輸送コンベヤの軸受けの止めボルト(M30)が折損したため、同コンベアの運転が不可能となり、炉停止となった。
5	大田第二	2号炉	休炉	H17.4.10	16:48	H17.4.10	23:43	H17.4.11	21:04	H17.4.12	10:01	ストーカ(1R)下部のシュートブリッジ解除のため、炉を停止する。
7	大田第二	3号炉	休炉	H17.4.10	4:41	H17.4.12	17:00					2号炉DCSプライマリーからセカンダリーに切り替わった際、同期がとれなかったため緊急停止した。
8	多摩川	2号炉		H17.4.14	2:50			H17.4.14	3:39	H17.4.14	4:28	ろ過式集じん機制御盤内シーケンサ異常(CPU異常)が発生。ロータリーバルブ、スクリーコンベヤが運転できないため、灰搬出が不可能な状態になる。
2	墨田	1号炉		H17.4.4	13:02	H17.4.4	16:00	H17.4.4	20:52	H17.4.5	7:15	ごみ供給機シャーピン破断(過負荷)。供給機停止。再度運転を試みたがシャーピン破断。運転継続は困難と判断。立下に入る。
4	中防・破碎		休炉	H17.4.9	11:25	H17.4.9	12:05	H17.4.9	16:00	H17.4.9	18:00	灰溶融処理施設の機器冷却水配管のつまりにより、第二工場冷却水槽に返送できなくなり、同受水槽冷却水の水位が低下した。その結果、冷却塔揚水ポンプがエアを吸
91	大田第二	1号炉	休炉	H17.3.31	15:00	H17.3.31	17:25	H17.4.1	17:30	H17.4.2	14:00	

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
91	大田第二	3号炉	休炉	H17.3.31	15:00	H17.3.31	17:25	H17.4.4	17:19	H17.4.5	14:00	灰溶融処理施設の機器冷却水配管のつまりにより、第二工場冷却水槽に返送できなくなり、同受水槽冷却水の水位が低下した。その結果、冷却塔揚水ポンプがエアを吸
1	豊島	2号炉	休炉	H17.3.9		H17.4.1	9:22	H17.4.4	19:15	H17.4.5	2:38	ボイラー差圧高警報頻発し、ボイラーチューブが減肉する恐れがあるため焼却炉を立ち下げる。
平成16年度(2004年度)												
91	大田第二	1号炉	休炉	H17.3.31	15:00	H17.3.31	17:25	H17.4.1	17:30	H17.4.2	14:00	灰溶融処理施設の機器冷却水配管のつまりにより、第二工場冷却水槽に返送できなくなり、同受水槽冷却水の水位が低下した。その結果、冷却塔揚水ポンプがエアを吸
91	大田第二	3号炉	休炉	H17.3.31	15:00	H17.3.31	17:25	H17.4.4	17:19	H17.4.5	14:00	灰溶融処理施設の機器冷却水配管のつまりにより、第二工場冷却水槽に返送できなくなり、同受水槽冷却水の水位が低下した。その結果、冷却塔揚水ポンプがエアを吸
86	新江東	3号炉	休炉	H17.3.14	12:48	H17.3.14	13:30	H17.3.22	21:33	H17.3.23	11:59	バグフィルタダスト抽出コンベアNo.1リターンシャフト折損。
89	溶融・多摩川		休炉	H17.3.21	6:00	H17.3.21	6:00	H17.3.24	17:00	H17.3.25	17:04	スラグ搬出用コンベアよりスラグが搬出されなくなったため、溶融炉を休炉する。
90	杉並	共通		H17.3.26	11:26					H17.3.26	15:30	2号ごみクレーンを運転中、バケットが横転し、給電ケーブルが爪の間に入った。ケーブルが爪の間に挟みこまれ、被覆が損傷し、ロードセンターのACBが地絡でトリップし
85	中防・破碎		休炉	H17.3.13	18:00	H17.3.13	22:20	H17.3.14	21:18	H17.3.15	3:07	砂投入弁下ダクト曲がり部に針金・釘等堆積したため、砂循環の閉塞発生。
87	墨田	共通		H17.3.17	6:49					H19.3.18	16:00	灰クレーン電動式ケーブルリール駆動用Vベルト切断により、給電ケーブルがバケットに絡まっている状況となった。
88	溶融・多摩川		休炉	H17.3.18	0:08	H17.3.18	3:54	H17.3.19	17:00	H17.3.20	16:09	集じん機ダスト排出装置故障のため、休炉する。
82	中防・破碎		休炉	H17.3.4	16:02	H17.3.4	21:06	H17.3.7	6:00	H17.3.7	14:40	ろ過式集じん装置のホッパーブリッジのため、休炉する。
83	溶融・板橋	1号炉		H17.3.3	9:00	H17.3.5	0:00			H17.3.10	0:00	NO.1熱風発生炉内部のバーナー火災保護用の耐火物損傷のため、1号溶融炉をホールドした。
84	中防・不燃	D系		H17.2.6	9:00	H17.3.7	8:30			H17.3.7	13:30	第2プラントD系No.1磁選機駆動プーリ軸受損傷。修理のため、処理を停止する。
71	大田第一	2号炉	休炉	H17.2.9	21:58	H17.2.10	3:20	H17.3.3	12:20	H17.3.4	4:58	乾燥ストーカシリンダのリミットスイッチ不動作タイマにより重故障発報。シリンダストロック量が常用に対して短く、ごみ送りに支障があるため、炉を停止する。(このまま
79	中防・破碎		休炉	H17.2.27	15:00	H17.2.28	9:16	H17.3.1	13:42	H17.3.1	20:30	アンモニア気化器不調のため、休炉する。
80	渋谷	1号炉	埋火	H17.3.1	2:59	H17.3.1	10:15	H17.3.1	17:00	H17.3.1	17:00	アンモニア気化器レベル計動作不安定のため、NOX制御に不安があったため、ごみ投入を停止し、バーナーにて炉温維持し、レベル計を補修する。
81	中防・破碎		休炉	H17.3.3	2:15	H17.3.3	4:30	H17.3.3	8:50	H17.3.3	11:05	No.1砂分級装置故障のため、休炉する。
73	板橋	1号炉	休炉	H17.2.18	16:20	H17.2.21	0:00	H17.2.26	15:40	H17.2.27	10:15	主灰シュート・ダブルダンパー異音発生があり、主灰シュートが詰まる可能性があるため、炉を立ち下げる。
74	中防・不燃	C系		H17.2.20	9:00	H17.2.21	8:30			H17.2.21	11:15	破碎機の高圧電動機に汚水が滴下しているのを発見。上部ごみ供給シュート底部付近より汚水が漏れて電動機に滴下したものであった。
75	杉並	共通		H17.2.22	10:00					H17.2.22	21:28	蒸気タービン圧力発信器用配管から蒸気漏れのため、タービンを停止する。
76	足立	共通		H17.2.23	14:38					H17.2.24	2:27	蒸気タービンの現場確認時、主蒸気止め弁の油圧制御回路の電磁弁の二つのうちの 하나가破損し、開状態になっていた。そのために主蒸気止め弁が閉まりトリップし
77	中防・破碎		休炉	H17.2.24	3:39	H17.2.24	3:39	H17.2.27	0:00	H17.2.27	14:47	砂投入弁故障のため休炉する。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
78	渋谷	1号炉	埋火	H17.2.25	18:50	H17.2.25	20:32	H17.2.26	15:16	H17.2.26	15:16	アンモニア気化器レベル計動作不安定のため、NOX制御に不安があったため、ごみ投入を停止し、パーナーにて炉温維持し、レベル計を補修する。
72	杉並	3号炉	埋火	H17.2.17	0:35	H17.2.17	1:35	H17.2.17	1:45	H17.2.17	2:50	2号ごみクレーン巻上げ電磁ブレーキ開放用抵抗器断線のため、クレーンインバータ盤トリップ発生。バケットの巻上げができなくなったため、稼働中の3号炉にごみ投入
70	杉並	1号炉	埋火	H17.2.3	3:10	H17.2.3	4:15	H17.2.3	7:30	H17.2.3	10:20	1号ごみクレーン巻上げ電磁ブレーキ開放用抵抗器断線のため、クレーンインバータ盤トリップ発生。バケットの巻上げができなくなったため、稼働中の1号炉にごみの投
69	溶融・板橋			H17.1.26	16:30	H17.1.26	16:46			H17.1.27	19:45	スラグクレーンのバケット開閉用シリンダー取付軸折損の為、溶融炉(1号・2号共)をホールドした。
66	板橋	1号炉	休炉	H17.1.2	10:40	H17.1.3	10:00	H17.1.20	15:44	H17.1.21	10:08	1号炉SGH蒸気配管からの漏れにより、1号炉を立下げる。(このまま中間点検にはいる。)
67	豊島	共通		H17.1.3	12:49					H17.1.4	20:40	計装用空気脱湿器の切替え弁が故障し、計装用空気圧力低下が発生。直後に2号炉主蒸気流量調節弁が瞬時閉となり、高圧蒸気のための圧力が降圧した。この影響で、
68	北	共通		H17.1.7	11:00					H17.1.7	15:30	灰クレーンバケット油圧ポンプ吐出側油圧ホースジョイント部亀裂により作動油流出のため、操作不能。
65	豊島	2号炉	休炉	H16.11.19	11:30	H16.12.13	21:00	H16.12.17	0:11	H16.12.17	8:10	復水タンク下部より水漏れ(水滴)を発見。調査の結果、復水タンク本体突合せ溶接部からの漏れと断定し、補修を行うため、焼却炉を立下げる。
59	新江東	3号炉	休炉	H16.11.25	9:07	H16.11.25	19:30	H16.12.9	21:35	H16.12.10	12:48	後燃焼ストーカール側がストーカ下シュートの詰まり・堆積が原因と思われる動作不良を起こしているため、休炉して補修する。
62	目黒	1号炉	休炉	H16.12.4	未明	H16.12.4	16:30	H16.12.7	17:17	H16.12.8	9:31	1号炉アンモニア吹込ノズル周辺からの漏れが判明。フランジ部の増し締めをしても臭気は消えないため、運転継続は困難と判断し、1号炉を立ち下げた。
63	多摩川	1号炉	休炉	H16.12.7	9:30	H16.12.7	17:48	H16.12.10	17:47	H16.12.11	5:58	1号炉ロータリジョイント循環水出口フランジより蒸気漏れ
64	中防・破碎		休炉	H16.11.25	10:30	H16.12.8	3:05	H16.12.9	20:34	H16.12.10	4:33	ス・トブロワの元弁・主弁のフランジ部から蒸気漏れ及び砂循環駆動装置従動側軸受部故障
57	多摩川	1号炉	休炉			H16.11.21	0:58	H16.11.26	12:34	H16.11.27	1:06	減温水槽交換のため休炉する。
57	多摩川	2号炉	休炉			H16.11.22	1:34	H16.11.29	12:38	H16.11.30	0:38	減温水槽交換のため休炉する。
58	江戸川	2号炉	休炉	H16.11.23	9:00	H16.11.23	9:30	H16.11.29	18:25	H16.11.30	12:43	後燃焼ストーカ下シュートの閉塞。
60	多摩川	1号炉	休炉	H16.11.27	4:30	H16.11.30	2:49	H16.12.1	18:30	H16.12.2	7:47	1号炉SAH蒸気ドレン配管溶接部より蒸気漏れ。
61	豊島	1号炉	休炉	H16.11.30	15:04	H16.11.30	15:04	H16.12.3	6:08	H16.12.3	12:06	炉内圧異常高発生でプラント非常停止となった。
54	杉並	共通		H16.11.6	12:10					H16.11.11	19:30	2号ごみクレーンインバータ盤焼損
55	新江東	3号炉	休炉	H16.11.9	14:00	H16.11.17	0:00	H16.11.19	21:35	H16.11.20	11:35	3号炉SAHから脱気器への戻り蒸気配管から蒸気が漏れているため、休炉して補修する。
56	板橋	2号炉	休炉	H16.11.17	19:25	H16.11.17	23:27	H16.11.20	18:26	H16.11.21	14:00	2号炉ダブルダンバー下部開閉操作において渋滞発報。現場点検にて、主灰シュートの詰まりを発見。
46	目黒	共通		H16.9.14	14:00					H16.10.18	11:00	1号ごみクレーンの横行4車輪とレールが噛み込み、横行不能となった。
53	中防・破碎		休炉	H16.10.4	11:50	H16.10.17	0:00	H16.10.22	10:45	H16.10.22	22:08	過熱器及び汽水胴エア抜き弁1次側フランジ部から蒸気漏れ。
52	大田第二	2号炉	休炉	H16.10.9	18:03	H16.10.9	20:00	H16.10.12	18:45	H16.10.13	9:58	2号炉回転炉インバータ盤の焼損。
51	多摩川	1号炉	休炉	H16.10.5	13:51	H16.10.5	18:57	H16.10.8	20:20	H16.10.9	8:34	1号炉加熱器下部シュートダストブリッジのため、炉を立ち下げた。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
48	板橋	1号炉	休炉	H16.9.20	11:13	H16.9.20	11:40	H16.9.28	18:40	H16.9.29	12:34	1号炉主灰シュート二重ダンパー下部の開閉操作において渋滞発報。現場確認したところ、落ち口に灰が詰まっているのを発見。
49	江戸川	1号炉	休炉	H16.9.23	6:49	H16.9.23	7:08	H16.9.26	18:20	H16.9.27	15:05	1号炉ボイラダストシュート詰まりのため、休炉する。
50	豊島	2号炉	休炉	H16.9.23	19:57	H16.9.23	19:59	H16.9.28	4:17	H16.9.28	10:55	2号焼却炉内でクリンカが脱落し、炉床砂流動停止が発生したため、焼却炉を停止し、炉内のクリンカを除去する。
45	溶融・板橋	1号炉	休炉	H16.8.27		H16.9.13	0:00	H16.9.16	10:48	H16.9.17	1:21	電極棒把持器の絶縁物の一部が変色し、溶出している部分が見られた。電極棒把持器の交換作業実施。
45	溶融・板橋	2号炉	休炉	H16.8.27		H16.9.17	0:00	H16.9.21	11:24			電極棒把持器の絶縁物の一部が変色し、溶出している部分が見られた。電極棒把持器の交換作業実施。
47	板橋	1号炉	埋火	H16.9.19	20:25	H16.9.19	20:26			H16.9.20	2:34	計装用空気圧が下限になり、焼却炉が非常停止となった。現場を確認したところ、空気圧縮機2台共アンロード運転となっていた。空気圧縮機を一旦停止し、現場にて
47	板橋	2号炉	埋火	H16.9.19	20:25	H16.9.19	20:26			H16.9.20	7:19	計装用空気圧が下限になり、焼却炉が非常停止となった。現場を確認したところ、空気圧縮機3台共アンロード運転となっていた。空気圧縮機を一旦停止し、現場にて
39	新江東	1号炉	休炉	H16.8.18	10:00	H16.8.18	14:00	H16.9.16	21:32	H16.9.17	12:21	1号炉ごみホッパー水冷ジャケットから水漏れ発生。燃焼状態が悪化したため、休炉して点検する。
45	溶融・板橋	1号炉	休炉	H16.8.27		H16.9.13	0:00	H16.9.17	1:21	H16.9.21	11:24	電極棒把持器の絶縁物の一部が変色し、溶出している部分が見られた。電極棒把持器の交換作業実施。
36	多摩川	共通		H16.8.12	17:00					H16.9.5	17:00	ごみクレーンA号機巻上げ巻き下げ用電動機に振動・異音発生のため、点検・修理を行う。
44	大田第一	2号炉	休炉	H16.9.3	4:12	H16.9.3	5:55	H16.9.7	12:20	H16.9.8	3:18	No.1ボイラダストコンベアの灰詰まりのため、炉を停止する。
43	目黒	2号炉	休炉	H16.8.25	15:00	H16.8.27	0:00	H16.9.1	17:22	H16.9.2	16:00	2号炉焼却炉燃焼段下流左側壁レンガの一部脱落したため、炉を停止する。
40	大田第一	1号炉	休炉	H16.8.21	17:21	H16.8.21	21:45	H16.8.23	12:10	H16.8.24	4:39	減温塔ダストコンベアチェーン切れのため、炉を停止する。
41	板橋	1号炉	休炉	H16.8.20		H16.8.24	0:00	H16.8.27	15:35	H16.8.28	14:35	1号炉ろ過式集じん機B-4室の差圧異常とダスト排出が確認されず、ホッパー内のダスト閉塞が懸念されるため、内部点検確認を行う。
42	江戸川	共通		H16.8.25	8:40					H16.8.26	21:00	1号ごみクレーンバケット給電ケーブル切断。
38	豊島	2号炉	休炉	H16.8.18	3:21	H16.8.18	3:51	H16.8.19	20:59	H16.8.20	0:30	減温塔噴霧ノズルへの噴霧水配管より漏洩。補修のため、焼却炉を停止する。
37	多摩川	1号炉	休炉	H16.8.17	11:26	H16.8.17	12:05	H16.8.19	7:27	H16.8.19	19:50	減温水槽底版に亀裂。炉を停止し補修する。
37	多摩川	2号炉	休炉	H16.8.17	11:26	H16.8.17	12:40	H16.8.19	21:26	H16.8.20	10:29	減温水槽底版に亀裂。炉を停止し補修する。
38	豊島	2号炉	休炉	H16.8.18	3:21	H16.8.18	3:51	H16.8.19	20:59	H16.8.20	0:30	減温塔噴霧ノズルへの噴霧水配管より漏洩。補修のため、焼却炉を停止する。
35	新江東	1号炉	休炉	H16.8.7	20:42	H16.8.7	21:38	H16.8.12	21:25	H16.8.13	11:00	1号炉ボイラダストコンベアにキャスターが噛み込み、動作不良となったため、休炉して点検する。
33	目黒	共通		H16.7.28	1:22					H16.7.30	17:00	1号ごみクレーンバケット給電ケーブル切断。(給電ケーブル巻取装置中間軸受ベアリングが破損したため、歯車が傾いてチェーンが脱落し、ケーブルが自由落下、自重に
34	中防・破碎		埋火	H16.7.29	3:20	H16.7.29	4:30	H16.7.29	9:21	H16.7.29	11:28	No.2焼却灰移送コンベアのサイクロ減速器サーマルトリップ。インチング操作するも復旧せず。
20	溶融・多摩川		休炉	H16.6.13	18:00	H16.6.15	3:32	H16.7.20	20:00	H16.7.21	20:25	2号系主灰コンベア(2)故障。駆動シャフト損傷(曲がり)のため、復旧不可。(そのまま定期点検に入る。)
31	光が丘	1号炉	休炉	H16.7.14	23:10	H16.7.15	0:15	H16.7.19	1:00	H16.7.19	18:00	ボイラ飛灰ロータリーバルブトリップ。復旧不可のため、炉を停止した。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				発生	日時	立下	日時	立上	日時	復旧	日時	
32	中防・破砕		埋火	H16.7.15	10:00	H16.7.20	5:50	H16.7.20	18:11	H16.7.20	21:10	一次押込み送風機モーター軸受部に異常音及び振動発生。モーターベアリング交換のため、炉を停止する。
30	大田第一	2号炉	休炉	H16.7.11	7:30	H16.7.11	8:00	H16.7.13	12:19	H16.7.14	2:15	後燃焼ストーカ左側油圧シリンダより油漏れ。
28	中防・破砕		埋火	H16.7.6	3:53	H16.7.6	4:24	H16.7.6	13:30	H16.7.6	16:40	PCS500炉・ボイラステーション(1)システム異常発生。
29	有明	共通		H16.7.8	10:30					H16.7.8	17:00	ごみクレーン自動制御盤のCPU(メモリーモジュール)故障のため、自動運転不可。メモリーモジュール交換により復旧。
20	溶融・多摩川		休炉	H16.6.13	18:00	H16.6.15	3:32					2号系主灰コンベア(2)故障。駆動シャフト損傷(曲がり)のため、復旧不可。(そのまま定期点検に入る。)
19	目黒	1号炉	休炉	H16.6.12	8:00	H16.6.12	16:00	H16.6.28	14:00	H16.6.29	14:00	復水タンクレベル下限警報発報。ボイラ内部(水平蒸発管部)より蒸気の噴出音しているのを発見。また、ボイラ給水量と蒸気発生量の差が異常になっているのを確認した脱気器圧力調整弁の動作不良が発生。脱気器圧力の自動調整が出来ないので、焼却炉を停止して圧力調整弁を修理する。
24	江戸川	2号炉	休炉	H16.6.24	14:00	H16.6.26	9:00	H16.6.28	19:00	H16.6.29	19:00	1号炉No.1ストーカ油圧シリンダ不調のため、炉を停止した。また補機類立上げ時ボイラ飛灰ロータリバルブトリップのため、立上を延期した。
25	光が丘	1号炉	休炉	H16.6.25	17:00	H16.6.27	8:00	H16.6.29	22:00	H16.6.30	16:30	ボイラ、タービンの圧力発信器においてAI断線異常発生。タービン入口圧力LLにてタービン緊急停止、ボイラドラム圧力制御不能となり、炉を立下げ実施。
26	中防・破砕		埋火	H16.6.27	14:06	H16.6.27	14:40	H16.6.28	10:06	H16.6.28	15:30	乾燥ストーカ先端火床板脱落によりシュートブリッジが発生し、解除するため炉を停止した。
27	大田第一	2号炉	休炉	H16.6.29		H16.6.29	2:00	H16.7.2	12:10	H16.7.3	2:06	燃焼ストーカ下シュートに灰がつまり、復旧できないため、炉を停止する。
21	大田第一	3号炉	休炉	H16.6.16		H16.6.17	18:20	H16.6.24	12:27	H16.6.25	4:36	飛灰固化装置用飛灰搬出コンベアのベルト切断。
23	中防・破砕		休炉	H16.6.21	9:30	H16.6.21	13:00	H16.6.21	17:00	H16.6.21	19:00	バグフィルターの詰まり及び飛灰貯留槽切出部動作不良により炉を停止する。
22	中防・破砕		休炉	H16.6.17	18:30	H16.6.17	19:38	H16.6.19	12:50	H16.6.19	20:00	ごみ供給機固定軸軸封ユニット取付ボルト損傷。
16	中防・破砕		休炉	H16.6.2	10:00	H16.6.8	5:57	H16.6.8	19:00	H16.6.8	21:30	炉内圧力の過変動により、ろ過式集じん器出口圧力が発報。誘引ファンがインターロックにより停止となり、炉停止に至った。
17	北	1号炉	埋火	H16.6.7	18:34	H16.6.7	18:34	H16.6.7	19:11	H16.6.7	21:50	2号炉脱気器への戻り配管入口弁付近より蒸気漏れのため休炉して補修する。
18	新江東	2号炉	休炉	H16.6.9	15:00	H16.6.9	18:00	H16.6.11	22:07	H16.6.12	13:21	灰溶融炉燃焼用空気予熱器の灰排出装置より異音発生。塩化物の堆積を確認。内部からの除去作業が必要なため、炉を立ち下げる。
15	溶融・多摩川		休炉	H16.5.28	9:30	H16.5.28	16:53	H16.5.31	15:00	H16.6.1	14:07	蒸気式ガス再加熱器の蒸気漏れのため停止。
16	北	1号炉	休炉	H16.5.25	13:16	H16.5.25	13:46	H16.6.2	20:00	H16.6.3	10:10	1号炉系統の高圧蒸気だめから空気抽出用エゼクタへの蒸気配管から蒸気漏れを発見。補修作業のため1号炉を立ち下げ。
17	江戸川	1号炉	休炉	H16.5.28	14:00	H16.5.28	15:00	H16.5.30	18:00	H16.5.31	16:00	炉内圧上昇の為、緊急停止。詳細は不明だが、ボイラ設備のトラブルによるものと思われる。
18	大田第二	3号炉	休炉	H16.5.30	12:38	H16.5.30	12:38					1号溶融炉の炉内圧力が異常上昇したため、緊急停止。
19	溶融・足立	1号炉	休炉	H16.5.26	20:03	H16.5.26	20:03					1号炉SAH流量計(オリフィス)より蒸気漏れの為、炉を停止する。
11	有明	1号炉	休炉	H16.5.22	15:55	H16.5.22	18:00	H16.5.27	20:00	H16.5.28	8:40	2号ごみクレーン給電ケーブルのバケット油圧ポンプ接続部焼損。
12	杉並	共通		H16.5.23	20:00					H16.5.24	18:20	主灰シュートに番線塊が引っ掛かり、その上に焼却灰の堆積が認められたため、炉を停止して解除する。
13	大田第二	2号炉	休炉	H16.5.24	8:30	H16.5.24	13:30	H16.5.27	17:41	H16.5.28	10:00	

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
14	中防・破砕		休炉	H16.5.10	10:00	H16.5.27	2:44	H16.5.27	18:26	H16.5.27	23:39	誘引通風機流体継手油温上昇。オイルクーラーの冷却機能が低下しているため、炉を立下げ冷却水系統の薬液洗浄を行う。
8	多摩川	1号炉	休炉	H16.5.6	14:00	H16.5.8	0:00	H16.5.11	17:52	H16.5.12	6:15	ボイラ給水ポンプB出口配管付き逆止弁フランジから蒸気漏れ。炉を停止し補修する。
9	大田第一	2号炉	休炉	H16.5.7	17:44	H16.5.10	13:00	H16.5.14	12:33	H16.5.15	4:03	ろ過式集じん器閉塞のため、炉を立ち下げる。
10	足立	2号炉	埋火	H16.5.11	15:34	H16.5.11	16:07			H16.5.11	19:34	冷却水系現場中継盤内に、盤上部に敷設されていた更新工事の配管からの漏れにより、水が侵入したため、冷却水系統の制御が不能となった。そのため、炉が緊急停
7	大田第一	1号炉	休炉	H16.4.30	6:35	H16.4.30	12:10	H16.5.6	13:00	H16.5.7	1:00	減温塔No.2ダストコンベアのショックリレーが過負荷により動作。コンベアチェーンがピンの破断等により連結状態でなく飛灰の搬出が出来ないため、炉を停止する。
6	目黒	1号炉	休炉	H16.4.23	5:00	H16.4.23	6:00	H16.4.29	21:00	H16.4.30	19:40	1号炉中間点検後の立上げ中、ボイラレベル高警報発生。解除作業中にボイラドラム付安全弁取付フランジより蒸気漏れが発生したため、炉を立下げ。
5	練馬	2号炉	埋火	H16.4.19	8:48	H16.4.19	10:05			H16.4.19	11:30	2号炉燃焼段ストーカ異常発生。ストーカの正常稼働が出来なくなったため、炉の停止作業にはいる。
116	有明	2号炉	休炉	H16.3.31	10:00	H16.3.31	12:00	H16.4.18	20:00	H16.4.19	8:40	2号炉FDFモーター駆動側軸受故障のため炉を立下げ。(4月4日復旧、4月5日より引き続き中間点検)
2	新江東	2号炉	休炉	H16.4.6	9:40	H16.4.6	10:30	H16.4.12	21:39	H16.4.13	11:42	ボイラダストコンベアにキャストが噛み込み、動作不良となったため、休炉して点検する。
4	中防・不燃		休炉	H16.4.7	5:00	H16.4.7	8:30			H16.4.12	8:30	第一プラントA系集じん器用サイクロン内筒、腐食により脱落のため施設を停止する。
1	溶融・多摩川		休炉	H16.4.2	20:11	H16.4.2	22:24	H16.4.5	15:00	H16.4.6	15:00	灰溶融炉燃焼用空気予熱器の灰搬出装置故障のため、炉を立下げ。
3	板橋	2号炉	休炉	H16.4.9	8:16	H16.4.9	11:07	H16.4.9	23:45	H16.4.10	11:00	2号炉ボイラ輻射部下ダストコンベアトリップのため休炉する。
114	練馬	1号炉	休炉	H16.3.26	6:30	H16.3.26	16:30	H16.3.30	6:08	H16.3.30	18:00	1号炉消石灰切出装置のサイクロ減速機が過負荷トリップしたため、炉を立下げ。
115	溶融・多摩川		休炉	H16.3.27	7時台	H16.3.27	14:25	H16.3.29		H16.3.30	19:07	溶融炉二次燃焼室内部に溶融スラグが付着し、閉塞したため立下げ。
平成15年度(2003年度)												
116	有明	2号炉	休炉	H16.3.31	10:00	H16.3.31	12:00	H16.4.18	20:00	H16.4.19	8:40	2号炉FDFモーター駆動側軸受故障のため炉を立下げ。(4月4日復旧、4月5日より引き続き中間点検)
111	江戸川	2号炉	休炉	H16.3.22	16:15	H16.3.22	17:30	H16.3.26	18:00	H16.3.27	18:00	2号炉減温塔下の灰出し装置のつまりの為、焼却炉を停止する。
112	中防・破砕		休炉	H16.3.24	1:28	H16.3.24	2:05	H16.3.24	14:40	H16.3.24	16:50	中央制御コンピューターPCS500共通用(1)ステーションシステムアラーム発生。発電機関係制御盤アラーム表示。排気復水タンクレベル低、高圧蒸気ためからタービンへ
113	有明	共通		H16.3.24	9:30					H16.3.24	12:05	2号ごみクレーン自動運転中、1号炉にごみ投入指示があったにもかかわらず、立上げ中の2号炉に誤動作でごみ投入された。立上げシーケンスチェックを行い、行程を
114	練馬	1号炉	休炉	H16.3.26	6:30	H16.3.26	18:05					1号炉消石灰切出装置のサイクロン減速機が過負荷トリップ。復旧の見込みがないため、炉を立下げ。
115	溶融・多摩川		休炉	H16.3.27	7時台	H16.3.27	14:25					溶融炉二次燃焼室内部に溶融スラグが付着し、閉塞気味のため立下げ。
107	新江東	1号炉	休炉	H16.3.8	22:00	H16.3.10	17:00	H16.3.16	21:48	H16.3.17	11:29	主灰シュートブリッジにより焼却炉を停止する。
109	大田第二	1号炉	休炉	H16.3.16	8:45	H16.3.16	14:00	H16.3.18	17:00	H16.3.19	9:20	第二工場側蒸気流量検出管より蒸気漏れ。蒸気連絡管出入り口弁を全閉にしても止まらず、第一、第二工場の共通部であるため、第一工場1号炉と共に停止する。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
109	大田第一	1号炉	休炉	H16.3.16	8:45	H16.3.16	14:00	H16.3.18	12:05	H16.3.19	5:30	第二工場側蒸気流量検出管より蒸気漏れ。蒸気連絡管出入り口弁を全閉にしても止まらず、第一、第二工場の共通部であるため、第一工場2号炉と共に停止する。
110	板橋	1号炉	埋火	H16.3.19	22:38	H16.3.20	13:10	H16.3.20	19:00	H16.3.21	0:00	1号炉集じん器下ダストコンベア過電流トリップのため、炉を立下げる。
105	多摩川	2号炉	休炉	H16.3.4	21:00	H16.3.5	18:00	H16.3.9	18:05	H16.3.10	6:22	2号炉SAHDレン配管バルブボンネット部より蒸気漏れのため立下げ。
106	足立	2号炉	埋火	H16.3.8	5:44	H16.3.8	8:25			H16.3.8	15:00	No.3給じんフィーダ故障。フィーダ油圧を上げたが復旧せず。
108	中防・破砕		埋火	H16.3.11	15:58	H16.3.11	18:15	H16.3.12	11:50	H16.3.12	17:55	大気放出装置(ラプチャーディスク破損)により、復水設備(コンデンサ)の復水並びにボイラー水の確保が出来ないため、焼却炉を立下げる。
103	多摩川	2号炉	休炉	H16.2.29	10:59	H16.2.29	13:58	H16.3.3	16:03	H16.3.4	4:17	2号炉SAHDレン配管バルブボンネット部より蒸気漏れのため立下げ。ガスケットの交換をして復旧。
104	豊島	1号炉	休炉	H16.3.2	13:53	H16.3.2	14:22	H16.3.5	4:22	H16.3.5	14:53	焼却炉内壁面に付着したクリンカーが剥離した。クリンカーにより流動層が流動不良となり、クリンカーを除去するために焼却炉を停止する。
102	目黒	1号炉	休炉	H16.2.6	10:30	H16.2.9	0:00	H16.2.12	17:00	H16.2.13	15:20	点検中、1号炉ボイラ下シュートの閉塞を発見。閉塞解除のため、休炉する。
99	中防・不燃	D系	休炉	H16.1.20	9:30	H16.1.24				H16.2.2	9:10	第二プラントD系破砕物コンベアディスクブリー本体軸受けから異音。ベアリングの劣化損傷と思われる。
100	板橋	1号炉	休炉	H16.1.29	11:00	H16.2.5	11:00	H16.2.6	15:50	H16.2.7	9:15	点検時、1号IDF回転数制御装置冷却油ポンプ電動機より異音が発生していることを確認。電動機の取替え工事を行う。
101	中防・不燃	C系	休炉	H16.2.3	2:57	H16.2.3	2:57			H16.2.4	9:30	第二プラントC系No2供給コンベアエプロンパンのショックリレーが動作。コンベアテール部のエプロンパンが異物の噛み込みにより変形していた。
97	江戸川	2号炉	休炉	H16.1.20	15:00	H16.1.20	16:00	H16.1.27	18:00	H16.1.28	18:00	脱気器圧力調整弁が故障し、脱気器圧力の制御が出来なくなったため、焼却炉を停止する。
94	板橋	1号炉	休炉	H16.1.6	6:00	H16.1.6	11:00	H16.1.21	15:00	H16.1.22	10:30	1号炉主灰ダブルダンパーの下側が動作しないため、点検したところ、主灰シュートに灰の詰まりを確認した。また、詰まりのため主灰シュート切替ダンパー作動不可の状
96	大田第一	1号炉	休炉	H16.1.19	8:30	H16.1.19	8:30	H16.1.21	12:00	H16.1.22	2:31	乾燥ストーカ下シュートが閉塞したため、焼却炉を停止する。
98	北	1号炉	埋火	H16.1.23	13:00	H16.1.23	13:07	H16.1.23	14:21	H16.1.23	14:43	ごみホッパブリッジ発生により、る過式集じん器出口圧力低が発報し、誘引ファンがインターロックにより停止となり、炉停止に至った。
93	大田第二	3号炉	休炉	H16.1.5	14:00	H16.1.6	5:30	H16.1.14	17:00	H16.1.15	10:30	ボイラー水電導度の下降が続いたため、清缶剤を増量したが、回復せず。ボイラーの水管の破孔の恐れが高いため、炉を停止する。
95	溶融・多摩川		休炉	H16.1.7	2:52	H16.1.7	10:00	H16.1.14	13:00	H16.1.15	13:00	空気予熱器灰搬出装置故障。(ダストが大量に流入したため。)
90	光が丘	2号炉	休炉	H15.12.26	10:50	H15.12.26	13:15	H16.1.5	0:50	H16.1.5	18:30	飛灰搬送装置異常”警報が頻発し、トランスポーター”H”が発報して飛灰搬送不能となった。トランスポーター内部で詰まりが生じた模様である。減温塔下部のコンベアが
91	豊島	1号炉	埋火	H16.1.4	22:30					H16.1.5	13:57	焼却炉昇温中、洗煙設備の減湿水ポンプ起動後、配管フランジ部より漏れ発生。増締めしたが漏れ止まらず。
92	中央	2号炉	休炉	H16.1.5	20:30	H16.1.5	21:24	H16.1.8	13:22	H16.1.9	11:27	減温塔ダスト搬出装置がトリップしたので、現場確認したところ、スクリーコンベア付近の点検口が灰で押し上げられている状態であった。運転続行不可能と判断し、炉を
79	大田第一	2号炉	休炉	H15.12.6	14:30	H15.12.6	14:30	H15.12.24	12:00	H15.12.25	2:26	ボイラダストコンベア内のダストの水分が多く、水管破孔の恐れがあるため、炉を停止する。停止後、調査の結果、後壁水管の1本に破孔を確認した。
83	大田第二	3号炉	休炉	H15.12.12	12:00	H15.12.12	17:00	H15.12.17	15:30	H15.12.18	7:02	ボイラー差圧が上昇しており、ボイラーパス閉塞の疑いが高いため、炉停止して調査及び復旧にあたる。
86	新江東	1号炉	休炉	H15.12.15	19:55	H15.12.15	20:50	H15.12.20	21:28	H15.12.21	11:20	1号炉ごみホッパブリッジ警報発報。ブリッジ解除装置を起動したが、解除できず、炉を立下げた。
87	溶融・板橋	2号炉	休炉	H15.12.22	15:57					H15.12.23	23:37	2号溶融炉出滓口B相を点検中、保護レンガが脱落し炉内に浮いているのを発見した。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
88	中防・破碎		休炉	H15.12.23	22:20	H15.12.23	22:48	H15.12.24	10:55	H15.12.24	13:35	ごみクレーン1号機のバケット電源ケーブル巻上げモーターが故障し、2号機単独運用中、2号機のバケット電源ケーブルが断線。炉を停止した。
89	中央	共通		H15.12.24	16:30					H15.12.25	19:00	2号ごみクレーン巻上げ用電磁ブレーキの本体にクラックが入り、ブレーキライニングのギャップ調整が不能になった。
78	溶融・板橋	1号炉	休炉	H15.12.2	15:49					H15.12.4	13:40	1号溶融炉排ガス集じん機出口部から炉内圧力調整弁に至る排ガスダクト垂直部のエキスパンションの破れが発見された。
85	北	1号炉	休炉	H15.12.14	21:12	H15.12.14	21:40	H15.12.17	20:00	H15.12.18	13:00	炉オリフィスダンパー(燃焼用空調調整用ダンパー)警報発報。(全開で動作停止にて故障)同時にフィーダー・ストーカー不動作により、炉を下下げる。
80	杉並	3号炉	休炉	H15.12.5	18:00	H15.12.7	10:00	H15.12.8	15:35	H15.12.9	9:30	3号炉RDF(再循環ファン)の振動が増加したため、停止し清掃を行う。
81	光が丘	1号炉	埋火	H15.12.10	5:55	H15.12.10	8:20			H15.12.12	18:30	飛灰搬送装置異常警報頻発。トランスポーター下部で詰まりが生じた模様。搬送用空気圧力を変更し、解除を試みたが閉塞を解除できなかった。
82	中央	2号炉	休炉	H15.12.10	20:23	H15.12.10	23:07	H15.12.12	17:35	H15.12.13	15:41	2号炉灰押出装置が灰押出不能となり、復旧できない状態なので炉を下下げる。主灰シュート閉塞が推測される。
84	港	1号炉		H15.12.14	15:43					H15.12.14	17:05	1号炉誘引ファン冷却水断水警報発報。誘引ファン、押込ファンが停止し、洗煙設備、脱硝設備がバイパスに切替わった。
75	京浜島	A・B共	休炉	H15.11.24	15:25	H15.11.24	15:25			H15.11.26	11:41	破碎物コンベア3のキャリアローラに異物が噛みこみ、コンベアベルトが損傷、切断した。
76	中防・破碎		休炉	H15.11.24	21:00	H15.11.25	0:17	H15.11.26	18:37	H15.11.27	0:18	不燃物抜出装置Aの電流値が高く、砂循環装置が自動停止した。不燃物の堆積及び安全作業を考慮し、焼却停止する。不燃物抜出装置A駆動装置のモーター絶縁不良
77	溶融・板橋	1号炉	休炉	H15.11.27	11:19	H15.11.27	11:19			H15.11.28	4:30	1号細粒灰供給制御盤異常が発生。細粒灰(主灰)切出貯槽フィーダで灰がブリッジしていた。
74	江戸川	1号炉	休炉	H15.11.13	14:00	H15.11.14	14:00	H15.11.18	18:00	H15.11.19	18:00	タービンバイパス蒸気流動計より蒸気漏れ発生。修理のため、全炉停止する。
72	豊島	2号炉	休炉	H15.11.8	0:00	H15.11.8	0:10	H15.11.11	18:25	H15.11.12	0:43	ボイラー部差圧警報が発報したので、ボイラー水管が減肉する恐れがあるため、炉を下下げる。点検清掃を行う。
73	中防・破碎		休炉	H15.11.11	15:00	H15.11.11	15:34	H15.11.14	1:07	H15.11.14	12:28	排気復水設備 常用エゼクタのストレーナより蒸気漏れのため、炉を下下げる。
71	江戸川	2号炉	休炉	H15.11.5	10:00	H15.11.5	10:00	H15.11.7	18:00	H15.11.8	18:00	減温塔の水噴霧ノズル配管途中から減温水が漏洩したため、炉を停止した。
68	光が丘	1号炉		H15.10.18	4:30					H15.10.31	9:00	飛灰搬送装置No.1飛灰サイロ・乾燥飛灰サービスタンク詰まり。(湿り気を帯びた飛灰が固化したため。)
69	大田第二	2号炉	休炉	H15.10.30	23:38	H15.10.31	1:35	H15.10.31	13:00	H15.10.31	20:25	ストーカー油圧装置の油圧配管より漏れのため、炉を停止する。
70	足立	2号炉	埋火	H15.11.1	17:56	H15.11.1	18:58			H15.11.2	14:14	No.1灰バンカ供給コンベアトリップ、正逆転するも復旧せず。
58	江戸川	1号炉	休炉	H15.9.30	18:00	H15.9.30	19:00	H15.10.15	18:00	H15.10.16	18:00	1号炉後燃焼ストーカー下シュート閉塞のため、炉を停止する。(このまま中間点検に入る)
59	中央	1号炉	休炉	H15.10.2	14:23	H15.10.2	15:01	H15.10.3	17/31	H15.10.4	13:09	1号炉ストーカー下コンベア過電流トリップ。正転・逆転するも復旧せず、炉を停止する。
62	練馬	1号炉	休炉	H15.10.6	23:10	H15.10.7	0:10	H15.10.25	6:00	H15.10.25	18:00	1号炉後燃焼ストーカー下シュート閉塞のため、炉を停止する。(このまま中間点検に入る)
64	目黒	2号炉	休炉	H15.10.14	11:00	H15.10.14	12:23	H15.10.20	13:00	H15.10.21	13:30	主灰シュートブリッジのため休炉する。
66	京浜島	共通	休炉	H15.10.22	10:00	H15.10.22	10:00			H15.10.22	20:12	計装変換器盤内の電源装置故障。切替シュートが制御不能となった。
67	江戸川	1号炉	休炉	H15.10.23	13:00	H15.10.23	14:40	H15.10.25	18:00	H15.10.26	18:00	1号炉脱気器圧力制御弁作動不良(全開不能及び固着気味作動)のため、脱気器圧力制御不能

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
63	板橋	2号炉	休炉	H15.10.8	10:30	H15.10.13	5:00	H15.10.13	17:45	H15.10.13	22:50	シールファン軸受部より異音発生。グリスアップ実施するも解消できず。
65	溶融・板橋	2号炉	休炉	H15.10.14	14:33	H15.10.14	15:40			H15.10.16	2:41	主電極把持器Dの取付ボルトのスリーブが絶縁破壊をおこし溶断した。
66	溶融・板橋	共通		H15.10.16	4:03							No.2乾燥機排ガス処理ファン軸受より異音のため、ファンを停止した。
56	溶融・板橋	1号炉	休炉	H15.9.24	22:41					H15.10.3	19:12	1号溶融炉ダスト排出コンベア過電流トリップ。従動軸折損。
61	大田第二	3号炉	休炉	H15.10.3	0:00	H15.10.3	12:00	H15.10.10	17:03	H15.10.11	11:45	灰コンベア内で番線塊生成しており、灰コンベアが過負荷になっているため、炉を停止する。
60	練馬	1号炉	埋火	H15.10.2	17:12	H15.10.2	17:12	H15.10.2	19:20	H15.10.2	22:24	1号炉炉内圧力調節計不良。
55	渋谷	1号炉	休炉	H15.9.24	11:13	H15.9.24	21:30	H15.9.27	13:09	H15.9.27	22:41	アンモニア水ポンプ吐出不良。
57	溶融・多摩川		休炉	H15.9.26	0:06	H15.9.26	10:48	H15.9.26	17:30	H15.9.27	7:31	鉄分コンベア故障。テークアップユニット破損。
51	中防・不燃		休炉	H15.9.9	17:38	H15.9.9	17:47			H15.9.16	10:20	C系No.2供給コンベア電動機架台のボルト破断のため停止。
52	新江東	3号炉	休炉	H15.9.15	7:27	H15.9.15	10:00	H15.9.15	18:06	H15.9.15	20:19	主灰シュートブリッジのため炉を立下げろ。
53	中防・破碎		埋火	H15.9.17	6:41	H15.9.17	6:41	H15.9.17	9:00	H15.9.17	10:06	洗煙汚水設備・冷却ファンモータ端子ボックスにおいて、焼損・地絡が発生し、該当部分の遮断器が動作した。400V電源系が全て停電したため、焼却炉が停止した。
54	中防・破碎		埋火	H15.9.15	19:30	H15.9.19	23:45	H15.9.21	16:04	H15.9.21	18:10	減温装置 灰払い落とし装置(上部側)においた、反駆動側にあるリミットが作動していないため、炉を停止する。
47	板橋	共通	休炉	H15.8.30	16:13					H15.8.30	21:05	灰溶融フィーダ地絡方向(67G)が発生し、特高変圧器2次側遮断器(52S)及び灰溶融設備遮断器(52F13)がトリップし、溶融設備が緊急停止となり、タービン単独運転に移
49	多摩川	2号炉	休炉	H15.9.2	20:00	H15.9.3	12:56	H15.9.8	17:24	H15.9.9	6:32	2号炉風箱付近より熱風の吹出しを確認。さらに回転ストーカ炉内のごみが異常に多いことを確認。原因調査のため炉を立下げろ。
42	中防・不燃		休炉	H15.8.24	18:00					H15.9.1	9:05	D系回転式破碎機Vブリー軸受け損傷のため、運転停止。
44	大田第二	2号炉	休炉	H15.8.15	0:00	H15.8.29	17:00	H15.9.5	17:00	H15.9.6	9:00	脱硝設備内に塩の固着と予測される差圧の増加が進み、炉の稼働に問題が生じているため、停止して点検補修する。
46	有明	共通		H15.8.30	13:00					H15.9.2	19:30	灰積出ホッパNo.2電動カットゲート駆動装置の支持ユニオンピンが剪断し、駆動装置が脱落した。
48	多摩川	1号炉	休炉	H15.9.1	15:00	H15.9.1	18:51	H15.9.5	16:37	H15.9.6	6:14	1号炉主蒸気配管自動エア抜き弁、前弁の1次側フランジより蒸気漏れのため、炉を立下げろ。
50	中防・不燃		休炉	H15.9.6	3:40					H15.9.6	21:30	C系回転式破碎機下のシュート鋼板の一部が一部が脱落、下流側排出コンベアが閉塞した。
35	大田第二	1号炉	休炉	H15.8.8	17:30	H15.8.8	18:00	H15.8.25	17:00	H15.8.26	8:40	後燃ストーカ(2L)動作せず、休炉する。
43	中防・不燃		休炉	H15.8.26	17:50					H15.8.27	21:08	C系No.2供給コンベア電動機のショックリレーが動作し緊急停止。チェーンとレール間に鉄塊噛み込みが見えられたため停止し、原因物を除去し再起動するも、電動機/減
45	中防・破碎		埋火	H15.8.29	5:00	H15.8.31	3:00	H15.8.31	19:00	H15.8.31	22:50	灰払い落とし装置(下部側)において、主軸の反駆動側にあるリミットが、作動していないため、炉を休止したところ、駆動側ボルトが破損していた。
29	大田第二	3号炉	休炉	H15.7.23	9:15	H15.7.23	11:00	H15.8.18	17:00	H15.8.19	9:40	回転キルン入口側(上流側)の面タッチシール部からのガス漏れにより、停止して補修する。
38	墨田	1号炉		H15.8.13	7:12					H15.8.13	22:00	灰クレーン巻上げインバータトリップ(基盤の異常)

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
39	多摩川	2号炉	休炉	H15.8.14	11:14	H15.8.14	12:49	H15.8.21	18:15	H15.8.22	3:07	2号炉ろ過式集じん器ダスト搬出機(2)故障のため、炉を立下げる。
40	溶融・多摩川		休炉	H15.8.18	11:53	H15.8.18	12:44	H15.8.20	18:48	H15.8.21	21:16	灰溶融炉用集じん器ダスト搬出装置つまり
41	中防・破碎		埋火	H15.8.23	2:40	H15.8.23	11:59	H15.8.23	14:46	H15.8.23	17:57	炉・ボイラーステーションシステム異常発生。(基盤故障)脱気器及びボイラーの自動制御不能。基盤交換時に炉を停止する必要があるため、一時運転中止。
36	豊島	1号炉	休炉	H15.8.9	14:30	H15.8.9	16:46	H15.8.11	19:09	H15.8.12	3:48	供給機落口においてごみブリッジ発生のため、炉を立下げる。
37	北	1号炉	休炉	H15.8.10	19:35	H15.8.10	21:10	H15.8.12	20:00	H15.8.13	11:00	排ガス中和側飛灰供給装置故障(ロータリーバルブ)及び飛灰混練機故障のため、炉を立下げる。
33	溶融・多摩川		休炉	H15.8.1	13:58	H15.8.1	15:46	H15.8.3	22:06	H15.8.5	1:47	灰溶融炉用集じん器下部ダスト排出装置につまり
34	新江東	1号炉	休炉	H15.8.5	4:30	H15.8.5	8:00	H15.8.9	21:00	H15.8.10	13:07	主灰シュートブリッジのため、立下げを開始した。
19	大田第二	2号炉	休炉	H15.6.7	11:00	H15.6.7	12:15	H15.7.30	17:42	H15.7.31	17:25	回転キルン入口側(上流側)の面タッチシール部からのガス漏れにより、停止して補修する。
31	溶融・多摩川		休炉	H15.7.25	8:11	H15.7.25	10:55	H15.7.26	16:52	H15.7.27	20:21	灰溶融炉集じん器下部ダスト排出装置につまり
32	多摩川	1号炉	休炉	H15.7.31	14:44	H15.7.31	15:29	H15.8.1	20:34	H15.8.2	7:09	ストーカ下コンベアがトリップ。復旧作業でコンベア操作中、テール側の軸受が破断した。
27	杉並	1号炉	休炉	H15.7.21	12:50	H15.7.21	14:30	H15.7.21	15:10	H15.7.21	18:30	主灰シュートブリッジにより、炉の停止作業に入った。
28	多摩川	1号炉	休炉	H15.7.22	21:45	H15.7.22	23:00	H15.7.23	17:12	H15.7.24	7:54	主灰搬出ゲート(下段)の作業用油圧シリンダが、取付架台と共に固定座から脱落しているのを発見。固定ボルト4本中2本破損して抜けていた。復旧作業中、油圧ホース
30	江戸川	共通		H15.7.24	15:00					H15.7.26	12:00	1号ごみクレーンバケットの油圧ポンプ吐出側配管の亀裂により、漏油。修理を要すると判断し、使用停止。
24	大田第二	1号炉	休炉	H15.7.6	16:49	H15.7.6	22:55	H15.7.17	17:00	H15.7.18	17:41	後燃焼ストーカ3L動作しないため、休炉する。
26	足立	共通		H15.7.10	14:00					H15.7.21	18:00	蒸気タービン立上げ中に同期投入した直後、逆電力リレーが動作し、52TGが解列する現象が発生したため、立上げ中止。
25	足立	2号炉	休炉	H15.7.6	10:20	H15.7.7	13:00	H15.7.9	14:12	H15.7.10	8:22	蒸気式ガス再加熱器のヘッダー部より蒸気漏れが発生した。
23	北	1号炉	休炉	H15.7.1	9:29	H15.7.1	9:29	H15.7.1	15:00	H15.7.2	6:00	炉・ボイラ制御用コンピュータ、リンク(DCSとシーケンサ間のデータ回線)故障により、炉・ボイラ自動停止。
20	新江東	共通		H15.6.8	20:00					H15.6.10	10:54	2号ごみクレーンが、横行用コンバータの故障により、運転操作不能となった。4号ごみクレーンの同部品と入れ替えを行った。(前々週分追加)
22	足立	2号炉	休炉	H15.6.16	15:26	H15.6.16	17:06	H15.6.19	18:35	H15.6.20	10:10	減温水噴霧エア用定流量弁の内部スプリングが破損し、減温塔内への噴霧水が鉄砲水となり、底部コンベアに堆積した。
21	豊島	1号炉	休炉	H15.6.9	4:44	H15.6.9	13:00	H15.6.10	21:39	H15.6.11	4:19	ろ過式集じん器出口ばいじんスイッチ作動のため、炉を停止して、内部調査を行う。
13	大田第二	1号炉	休炉	H15.5.18	0:23	H15.5.18	0:28	H15.6.2	17:00	H15.6.3	10:35	ボイラ左側壁第二旗形管(蒸気管)破孔のため。
14	溶融・板橋	2号炉	休炉	H15.5.20	19:31					H15.5.30	22:35	2号溶融炉炉内圧力が上昇したため、ホールドし点検したところ、溶融炉とガス冷却塔管のガスダクトの一部が閉塞しているのが判った。(前週分追加)
17	光が丘	1号炉	休炉	H15.5.29	11:00	H15.6.1	8:00	H15.6.3	1:00	H15.6.3	13:00	1号炉蒸気再加熱器の蒸気配管のエア抜き配管の取付け溶接部より蒸気漏れが発生した。
18	中防・不燃		休炉	H15.5.31	9:00					H15.6.4	9:00	D系破碎機内の酸素濃度値が上限を超えたため、停止。酸素濃度計校正ガス配管亀裂のため。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
10	大田第二	3号炉	休炉	H15.5.8	17:00	H15.5.8	17:00	H15.5.23	17:00	H15.5.24	11:00	回転キルン入口側の面タッチシール部からのガス漏洩のため。(前週分追加)
15	溶融・板橋	1号炉	休炉	H15.5.24	12:02					H15.5.26	18:15	1号溶融炉内圧力上昇。排ガスラインが2号溶融炉と同じ様に閉塞していると判断し、ホールド運転とする。
16	港	共通		H15.5.28	10:13					H15.5.28	11:17	3号ごみクレーン巻上げブレーキ用シーケンスリレー接点不良により、バケットが3号炉投入ホッパ上に落下し、ワイヤーが全て解け出た。
7	有明	1号炉	休炉	H15.4.25	14:02	H15.4.25	16:40	H15.5.13	20:00	H15.5.14	8:40	1号炉No.1ボイラ下シュートロータリーバルブトリップ。普及できないため、立下げを行う。(前週分追加)
11	足立	2号炉	埋火	H15.5.12	23:55	H15.5.13	2:40			H15.5.13	20:50	ろ過式集じん機下部バドルコンベアトリップ。灰を掻き出し復旧。
12	大田第一	2号炉	休炉	H15.5.13	11:15	H15.5.13	12:30	H15.5.15	12:00	H15.5.16	2:15	クリンカが生成され、ストーカ上に堆積。大きく成長しており、シュート部で詰まる可能性があるため、停止して除去する。
4	大田第二	1号炉	休炉	H15.4.19	17:00	H15.4.19	17:00	H15.4.25	17:00	H15.4.26	9:28	回転キルン入口側の面タッチシール部からのガス漏洩のため。(前々週分追加)
9	北	1号炉	休炉	H15.4.21	19:26	H15.5.7	13:00	H15.5.8	13:00	H15.5.8	22:00	シフティングダンパーの駆動装置動作不良。炉室に燃焼用空気漏出。
5	新江東	3号炉	休炉	H15.4.21	10:00	H15.4.23	0:00	H15.4.26	4:27	H15.4.26	18:29	3号炉脱気器入口弁付近より蒸気漏れのため。(前週分追加)
8	光が丘	共通	埋火	H15.5.2	17:07	H15.5.2	17:08	H15.5.2	17:29	H15.5.2	21:47	排ガス処理用冷却水循環ポンプストレナ詰まりにより、噴霧用圧縮機が冷却水断で停止したため、IDF、タービン発電機が停止。ストレナ清掃により復旧。
81	新江東	1号炉	休炉	H15.3.29	10:00	H15.3.29	11:30	H15.4.21	21:37	H15.4.22	11:59	第2、3パス仕切壁水管下部のキャスト打設部より、水漏れが確認されたため停止する。
6	千歳	1号炉	休炉	H15.4.24	11:13	H15.4.24	12:12	H15.4.25	10:54	H15.4.26	3:42	ボイラ下シュート部コンベアにライニングキャストブルの剥離物の詰まり。
82	江戸川	2号炉	休炉	H15.3.31	13:30	H15.3.31	14:24	H15.4.10	17:27	H15.4.11	14:46	2号炉脱気器圧力逃がし配管破損のため(前週分追加)
3	大田第二	2号炉	休炉	H15.4.11	21:00	H15.4.12	10:00	H15.4.14	17:00	H15.4.15	8:34	2号炉塩化水素除去設備減湿水槽上部点検口より排ガス漏れがあり、停止して補修する。
1	江戸川	1号炉	休炉	H15.4.1	10:30	H15.4.1	11:30	H15.4.5	17:00	H15.4.6	13:45	1号炉ボイラダストシュート部ガス漏れ調査のため(前週分追加)
2	千歳	共通	休炉	H15.4.10	16:30	H15.4.10	18:28	H15.4.10	21:49	H15.4.11	3:25	1、2号ごみクレーンが、シーケンサ異常により運転不能になった。
平成14年度(2002年度)												
82	江戸川	2号炉	休炉	H15.3.31	13:30	H15.3.31	14:24	H15.4.10	17:27	H15.4.11	14:46	2号炉脱気器圧力逃がし配管破損のため(前週分追加)
81	新江東	1号炉	休炉	H15.3.29	10:00	H15.3.29	11:30	H15.4.21	21:37	H15.4.22	11:59	第2、3パス仕切壁水管下部のキャスト打設部より、水漏れが確認されたため停止する。
80	北	共通		H15.3.26	6:13					H15.3.26	10:05	火格子制御盤内部シーケンサー通信エラーが発生したため、蒸発量不足となりタービントリップした。
77	大田第二	3号炉	休炉	H15.3.5	8:03	H15.3.5	10:30	H15.3.10	17:03	H15.3.11	10:03	後燃ストーカ動作が不調なため、停止して補修する。
78	千歳	1号炉	休炉	H15.3.3	10:00	H15.3.12	14:49	H15.3.13	17:05	H15.3.14	7:24	タンク出口配管及び管台の溶接部周りに亀裂が生じたため、停止して補修する。
79	千歳	共通		H15.3.15	20:21					H15.3.16	1:37	タービン入口蒸気圧力低下のため、タービントリップ。高圧蒸気ため、蒸気流量等のデータは、正常であった。(17日にメカ調査)

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
75	江戸川	1号炉	休炉	H15.3.1	15:50	H15.3.3	0:24	H15.3.8	16:18	H15.3.9	14:21	クリンカが落下しストーカの動作が不良となった。
76	江戸川	2号炉	休炉	H15.3.3	19:50	H15.3.3	20:09	H15.3.6	17:54	H15.3.7	15:23	ボイラ下フラップダンパのシュート部に穴あきが発生し、炉内圧制御が不能となったので停止して補修する。
73	杉並	1号炉	休炉	H15.2.13	8:00	H15.2.13	12:00	H15.2.16	14:00	H15.2.17	10:00	塩化水素除去設備バイパスライン入口のフランジから、排ガス漏れが生じたため停止して補修する
74	豊島	1号炉	休炉	H15.2.13	11:38	H15.2.13	14:23	H15.2.17	11:00	H15.2.17	17:28	減温塔ダスト搬出スクレーパが過負荷トリップし正転・逆転操作を試みたが復旧できないため停止する。
72	大田第二	3号炉	休炉	H15.2.7	14:16	H15.2.7	18:00					後燃ストーカ動作が不調なため、停止して補修する。なお、引き続き定期点検補修に入る。
71	豊島	1号炉	休炉	H15.1.31	13:40	H15.2.5	9:03	H15.2.13	4:40	H15.2.13	11:48	内部で詰まりが発生し、砂及び不純物が排出されなくなったので停止して解除する。
70	練馬	共通	埋火	H15.2.3	13:58	H15.2.3	13:58	H15.2.3	15:10	H15.2.3	17:10	東電点検のため単独運転に移行したが、蒸気量が不安定となりタービントリップし全停電となった。(15:10 2号炉、17:10 1号炉復旧)
68	足立	共通		H15.1.25	4:45							蒸気タービン油清浄器差圧H警報及びタービン軽故障が連続発報したため、タービンを停止した。(引き続き中間点検に入る)
69	板橋	2号炉	休炉	H15.1.29	15:09	H15.1.29	19:30	H15.1.31	17:19	H15.2.1	12:37	主灰スクリーン解除をするため、非常用ラインに切り替えた。解除後、通常ラインに戻すため切替ダンパを操作したが、切替が出来なかった。調査の結果シュートの詰まり
66	光が丘	1号炉	休炉	H14.12.25	10:55	H15.1.20	8:00	H15.1.23	1:05	H15.1.23	18:00	シリンダから油圧漏れがあり、ストーカ渋滞が多発したため停止して補修する。
67	千歳	1号炉	休炉	H15.1.25	10:30	H15.1.25	18:00					洗煙反応塔水噴霧ノズル不良のためシュートに水が留まり、灰が固着したため停止して補修する。
65	大田第二	3号炉	休炉	H15.1.5	15:07	H15.1.5	19:42	H15.1.9	17:00	H15.1.10	8:08	灰コンベア立ち上がり部に、番線が堆積したため停止して除去する。
63	溶融・大田	2号炉	休炉	H14.12.31	9:41	H14.12.31	9:41					水砕水循環ポンプの軸受が破損した。(引き続き定期補修工事に入る。)
64	板橋	2号炉		H15.1.4	10:00			H15.1.4	17:00	H15.1.5	16:00	立上前点検時にボイラ及びエコマイザ下部シュートの閉塞を発見した。閉塞解除後立上を開始する。
58	大田第一	3号炉	休炉	H14.12.13	17:00	H14.12.13	17:00	H14.12.23	12:00	H14.12.24	2:41	乾燥ストーカのジョイントロットのシール不良のため停止して補修する。
61	中央	2号炉	休炉	H14.12.14	11:00	H14.12.19	10:00	H14.12.23	17:45	H14.12.24	13:12	ガス再加熱器入口蒸気配管より蒸気漏れが発生したため、停止して補修する。
62	溶融・板橋	1号炉	休炉	H14.12.26	15:52	H14.12.26	15:52			H14.12.27	18:00	湿灰により、受入灰スクリーン及び受入灰コンベア内が灰詰まりを起こした。
59	中央	1号炉	休炉	H14.12.15	22:13	H14.12.15	22:36	H14.12.18	17:57	H14.12.18	13:30	1号炉のボイラー灰搬出装置(スクリュウコンベア)がトリップしたが、正転・逆転等の処置では復旧できないため休炉して補修する。
60	千歳	1号炉	埋火	H14.12.11	21:45	H14.12.11	21:45			H14.12.12	3:00	乾燥ストーカが動作不良となり、後進端リミット位置まで動作しなくなった。
57	豊島	1号炉	休炉	H14.11.25	23:24	H14.11.26	5:33	H14.11.30	0:45	H14.11.30	7:17	焼却炉内壁に付着したクリンカが剥離し、流動不良が発生したため、休炉して除去する。
56	光が丘	2号炉	埋火	H14.11.20	19:00	H14.11.20	22:00	H14.11.21	18:30	H14.11.21	22:00	SGH行き蒸気配管流量計取り出し部のフランジより蒸気漏れが発生した。
54	渋谷	1号炉	休炉	H14.11.3	18:30	H14.11.3	19:20	H14.11.9	5:32	H14.11.9	16:58	ボイラー水管左側壁上部より外側に水漏れ。
55	大田第二	2号炉	休炉	H14.11.6	18:45	H14.11.6	20:50	H14.11.8	17:02	H14.11.9	16:16	油圧が上昇せず、フィーダーが動作しなくなったため停止し補修する。
48	新江東	3号炉	休炉	H14.10.27	16:48	H14.10.27	18:22	H14.10.29	9:38	H14.10.29	17:43	ホップブリッジ解除装置のプッシャー組が脱落し、ホッパー内に突出状態となったため休炉して補修する。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
49	中央	1号炉	休炉	H14.10.28	14:08	H14.10.28	14:57	H14.10.30	2:35	H14.10.30	21:41	1号炉のボイラー灰搬出装置(スクリーコンベア)がトリップしたが、正転・逆転等の処置では復旧できないため休炉して補修する。
50	墨田	1号炉	休炉	H14.10.28	17:50	H14.10.28	18:45					蒸発量に対し給水量が過多となり、ボイラ水管の漏洩の可能性があるとともに、炉の安定燃焼も困難となったため休炉して補修する。引き続き定期点検に入る。
51	大田第一	1号炉	埋火	H14.10.30	16:24	H14.10.30	16:24	H14.10.30	19:15	H14.10.30	20:20	復水タンクレベル下下限により緊急停止。
52	大田第一	2号炉	埋火	H14.10.30	16:24	H14.10.30	16:24	H14.10.30	19:40	H14.10.30	22:30	復水タンクレベル下下限により緊急停止。
53	大田第一	3号炉	埋火	H14.10.30	16:24	H14.10.30	16:24	H14.10.30	21:20	H14.10.30	23:30	復水タンクレベル下下限により緊急停止。
47	千歳	1号炉		H14.10.20	15:30					H14.10.22	19:15	ろ過式集じん器No.1-3室内る布破損のため、1-3室を閉鎖し運転。(集じん器の能力に併せ焼却量を落とした。)
45	江戸川	共通		H14.10.11	21:00					H14.10.14	11:00	2号ごみクレーンの非常上限リミットスイッチバーにワイヤ - が絡上不能となった。
46	足立	2号炉	埋火	H14.10.17	20:40					H14.10.18	15:20	供給フィーダの不調により、ごみの供給がスムーズに行えなくなった。
44	中央	1号炉	休炉	H14.10.2	21:14	H14.10.2	21:14	H14.10.3	22:03	H14.10.4	5:13	自動制御不調によるボイラドラム液面上上限により1号炉及びタービン非常停止した。
43	杉並	1号炉	休炉	H14.9.26	18:00	H14.9.26	18:30	H14.9.28	15:15	H14.9.29	17:00	第一乾燥段ストーカの駆動ロッド1本が脱落し、ごみの供給が出来なくなった。
42	足立	2号炉	休炉	H14.9.13	23:47	H14.9.16	15:00	H14.9.19	19:06	H14.9.20	16:55	ボイラ下部スクリーコンベア軸受部の冷却水管つまりのため、停止する。
38	江戸川	2号炉	休炉	H14.9.2	11:10	H14.9.2	15:02	H14.9.9	17:38	H14.9.10	17:38	助燃バーナ左側壁のボイラ水管から漏れがあるため、停止して補修する。
41	大田第二	1号炉	休炉	H14.8.30	10:00	H14.9.6	17:00	H14.9.11	17:00	H14.9.12	8:46	回転キルン出口左壁にクリンカが生成し、運転に支障があるため、停止して除去作業を行う。
37	新江東	2号炉	休炉	H14.8.28	10:00	H14.8.28	10:11	H14.9.2	21:26	H14.9.3	11:49	乾燥ストーカ渋滞が多発し、自動モードではストーカが作動しない状態となったため停止して補修する。
39	新江東	3号炉	休炉	H14.9.2	13:00	H14.9.2	13:45	H14.9.6	21:46	H14.9.7	12:34	燃焼ストーカL側油圧シリンダより多量に油漏れが発生したため、停止して補修する。
40	足立	共通		H14.9.4	9:30					H14.9.5	17:54	蒸気量が不足したため、タービンを停止した。タービン再立上げ時、主蒸気止め弁が動作不良を起こしたため、調査・補修のため引き続き停止した。
32	港	共通		H14.8.9	17:00					H14.8.28	16:15	2系タービンバイパスの圧力制御が不良なため、元弁閉とし蒸気量を落として運転中。
33	目黒	2号炉	休炉	H14.7.26	7:28	H14.8.16	0:00	H14.8.27	13:36	H14.8.28	23:36	2号炉No.2ボイラ下ホッパ及びシュートが閉塞気味のため、休炉して解除作業を行う。
35	有明	1号炉	休炉	H14.8.21	11:00	H14.8.21	16:05	H14.8.22	20:00	H14.8.23	13:44	SGH最下部蒸気配管から蒸気が漏れているため、休炉して補修する。
36	豊島	1号炉	休炉	H14.8.23	18:17	H14.8.27	9:00	H14.8.30	0:50	H14.8.30	6:50	砂循環ラインにある切替ダンパが動作不良のため補修する。
25	大田第二	1号炉	休炉	H14.8.3	21:30	H14.8.3	21:30	H14.8.12	17:00	H14.8.13	13:49	ボイラ水管が噴破したため、炉停止する。
34	世田谷	共通		H14.8.9	17:00					H14.8.14	18:30	タービン起動時、緊急遮断弁が固着して動作しなかったため、分解して補修する。
26	大田第一	2号炉	休炉	H14.8.4	1:52	H14.8.4	17:00	H14.8.7	19:20	H14.8.8	11:48	燃焼ストーカのストロークが、50mm前後で推移し正常値に復帰しない。
27	大田第一	1号炉	休炉	H14.8.4	1:52	H14.8.4	18:30	H14.8.8	17:00	H14.8.9	14:25	燃焼ストーカのストロークが、50mm前後で推移し正常値に復帰しない。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
28	世田谷	2号炉	休炉	H14.8.3	20:31	H14.8.5	7:15	H14.8.8	18:30	H14.8.9	15:45	流体軸受オイルクーラ破損、オイル漏れのため停止し補修する。
29	港	1号炉	埋火	H14.8.6	13:31	H14.8.6	14:44			H14.8.6	18:10	1号ごみクレーンがブレーキがかかった状態で走行不能となり、1号炉にごみ投入できない状態となった。
30	千歳	1号炉	休炉	H14.8.8	10:00	H14.8.8	13:02	H14.8.9	22:38	H14.8.10	16:15	脱硝装置用ガス再加熱器のドレン戻り配管より蒸気漏れがあるため停止して補修する。
31	葛飾	2号炉	休炉	H14.7.31	16:50	H14.7.31	17:30	H14.8.1	19:45	H14.8.2	15:00	主灰シュート詰まり解除のため休炉する。前週分追加
22	北	1号炉	休炉	H14.7.20	23:55	H14.7.21	0:50	H14.7.23	20:00	H14.7.24	18:00	集じん器下部No.2ダストコンベアのチェーン断裂のため。
24	有明	1号炉	埋火	H14.7.26	10:44	H14.7.26	10:44			H14.7.26	14:20	ろ過式集じん器、逆洗用電磁弁空気漏れのため。
19	港	1号炉	休炉	H14.7.14	14:02	H14.7.14	19:29	H14.7.16	21:00	H14.7.17	9:30	No.1ダストコンベア故障のため、休炉して補修する。
20	北	1号炉	埋火	H14.7.15	11:18	H14.7.15	11:30			H14.7.15	18:10	冷却吸収塔入口ダンパ操作用電磁弁故障のため。
21	世田谷	2号炉	埋火	H14.7.16	14:00	H14.7.19	8:30			H14.7.19	16:45	2号炉FDFモータ部から異音・振動が発生しているため補修する。
23	渋谷	1号炉	休炉	H14.7.20	1:00	H14.7.20	2:54	H14.7.20	15:23	H14.7.20	17:31	給じん機内に詰まったごみ解除のため。
11	溶融・大田	1号炉	休炉	H14.6.6	16:30	H14.6.6	16:40					溶融炉スプレー炉蓋冷却水が溶融炉内に漏水したため。6/7から引き続き定期補修工事(8/30まで)。
17	世田谷	2号炉	埋火	H14.6.24	10:00	H14.7.1	10:40			H14.7.1	13:08	主燃段火格子右側油圧シリンダより油漏れ。
18	世田谷	1号炉	埋火	H14.6.24	10:00	H14.7.4	10:30			H14.7.4	11:40	主燃段火格子右側油圧シリンダより油漏れ。
16	北	1号炉	休炉	H14.6.26	11:15	H14.6.26	11:30	H14.6.27	20:00	H14.6.28	18:00	ろ過式集じん器下部集合コンベアチェーンが切断したため。
14	大田第二	1号炉	休炉	H14.6.16	0:02	H14.6.16	0:02	H14.6.17	17:00	H14.6.18	16:37	排ガス処理設備用空気圧縮機の電源トリップしたため、運転状況確認のため休炉する。
15	大田第二	2号炉	休炉	H14.6.16	0:02	H14.6.16	0:02	H14.6.17	9:00	H14.6.18	7:28	排ガス処理設備用空気圧縮機の電源トリップしたため、運転状況確認のため休炉する。
12	江戸川	1号炉	休炉	H14.6.6	10:00	H14.6.9	20:00	H19.6.11	18:00	H14.6.12	18:00	排ガス循環ファン回転数制御装置油漏れ補修のため。
13	杉並	2号炉	埋火	H14.6.12	5:45	H14.6.12	6:15			H14.6.12	17:00	空冷壁ファン電動機が地絡により停止したため補修する。
8	渋谷	1号炉	休炉	H14.5.21	10:37	H14.5.21	10:37	H14.5.29	19:46	H14.5.30	7:16	ボイラ水管左側壁上部より水漏れ
9	豊島	2号炉	休炉	H14.5.27	2:35	H14.5.27	2:46	H14.5.28	13:48	H14.5.28	17:09	2号クレーンに障害が発生しごみ投入不可となる。炉内温度確保のため、助燃バーナを起動しようとしたが点火不調のため炉停止する。
10	墨田	1号炉	休炉	H14.5.25	4:00	H14.5.25	9:50	H17.5.25	19:34	H14.5.26	19:00	立上げ時、No.2減温塔ストレーナ手前から漏水。
5	新江東	1号炉	休炉	H14.4.29	22:04	H14.4.30	10:48	H14.5.9	20:55	H14.5.10	12:53	スートブロー7R動作不良のため停止し補修する。
7	江戸川	2号炉	休炉	H14.5.5	14:00	H14.5.7	14:00	H14.5.8	17:50	H14.5.9	17:50	IDFのドレン抜き配管の損傷を補修するため炉停止する。
3	大田第二	1号炉	休炉	H14.4.14	5:00	H14.4.14	9:30	H14.4.26	17:00	H14.4.27	10:19	ボイラ水管が噴破したため、炉停止する。

東京23区「清掃工場故障週報」【平成14年度(2002年度)から直近まで】データベース

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				日	時	日	時	日	時	日	時	
6	有明	1号炉	休炉	H14.5.1	4:00	H14.5.1	9:00	H14.5.4	20:00	H14.5.5	8:00	SGH加熱管ヘッダー部より蒸気漏れが発生したため停止して補修する。
4	光が丘	2号炉	休炉	H14.4.19	10:00	H14.4.27	8:00	H14.4.29	22:00	H14.4.29	22:00	右側空冷壁レンガ脱落のため停止して補修する。
2	大田第二	2号炉	休炉	H14.4.10	13:30	H14.4.10	17:00	H14.4.15	12:00	H14.4.15	12:00	キャストブル耐火物が脱落したため、炉停止して補修を行う。
1	世田谷	2号炉	埋火	H14.4.1	8:25	H14.4.1	8:25			H14.4.1	23:55	2号IDF流体軸受油漏れにより、炉停止する。